

小学生年代の全国大会に関する調査

(中央競技団体、都道府県スポーツ少年団)

小学生年代の全国大会に関する意識調査

(単位スポーツ少年団)

2023年1月

公益財団法人日本スポーツ協会

日本スポーツ少年団

< 目次 >

◆ 調査の背景.....	2
◆ 小学生年代の全国大会に関する調査・小学生年代の全国大会に関する意識調査	
<< 概 要 版 >>	
・調査の概要.....	4
・Ⅰ. 主催する大会の実施状況.....	7
・Ⅱ. 小学生年代の全国規模の大会に対する考え方.....	9
◆ 小学生年代の全国大会に関する調査・小学生年代の全国大会に関する意識調査	
<< 全 体 版 >>	
	※16～18 ページに全体版の目次を記載
◆ 調査票	
・小学生年代の全国大会に関する調査	
「中央競技団体」.....	79
「都道府県スポーツ少年団」.....	87
・小学生年代の全国大会に関する意識調査	
「単位スポーツ少年団<指導者・役員・スタッフ・団員・保護者>」.....	95

調査の背景

実施背景

日本スポーツ少年団は、これまでスポーツ少年団の理念に基づき、全国スポーツ少年団競技別交流大会(以下、「全国競技別交流大会」という。)を実施してきたが、勝利を目指すことを重視した出場チームの選定など、スポーツ少年団の理念にそぐわない事例も見受けられるようになってきている。さらに、近年のスポーツ少年団活動において、競技志向の高まり、勝利至上主義による行き過ぎた指導や過度なトレーニングが顕在化してきている。

スポーツ少年団の課題の整理や課題解決のための取組について検討することを目的に2021年4月に設置された「スポーツ少年団緊急対策プロジェクト」においても、全国競技別交流大会の在り方について検討することが提言された。また、日本スポーツ協会スポーツ医・科学委員会が発表した「スポーツ少年団の活動実態調査と活動プログラムに関する研究(1990)」や「発育期のスポーツ活動ガイド(2021)」において、子どもたちへの過度な負担を避けるため小学生年代の全国規模の競技会を推奨していない。

このような状況を受けて日本スポーツ少年団では、2022年2月に取りまとめた「スポーツ少年団改革プラン 2022」に基づき、全国競技別交流大会を中止とするのか、新たな交流大会のカタチとするか、今後の全国競技別交流大会の在り方について検討することとなった。

小学生年代の全国大会に関する調査

(中央競技団体・都道府県スポーツ少年団) ■

小学生年代の全国大会に関する意識調査

(単位スポーツ少年団)

概要版

調査の概要

(1) 調査目的

- 中央競技団体や都道府県スポーツ少年団、単位スポーツ少年団が小学生年代を対象とした全国大会、全国競技別交流大会に関して、それぞれの立場でどのような考えや意見をもっているのかを明らかにする。
- 現在、中央競技団体が実施している小学生年代を対象とした全国規模の大会および都道府県スポーツ少年団が実施している小学生年代を対象とした都道府県の大会ならびに単位スポーツ少年団(以下、単位団という。)の活動実態を把握する。
- 上記2点を踏まえ、今後の全国競技別交流大会の在り方の検討材料とする。

(2) 調査対象

小学生年代の全国大会に関する調査

- ① 中央競技団体(67 団体:JSPO 加盟団体 61、JSPO 準加盟団体 6)
- ② 都道府県スポーツ少年団(47 団体)

小学生年代の全国大会に関する意識調査

- ③ 単位団 27, 384 団

(指導者、役員、スタッフ、保護者、団員(過去に全国競技別交流大会に参加した高校生・大学生(リーダー)を想定)、2022年9月13日時点登録完了の単位団)

(3) 調査方法

調査票は Google フォームを用いて作成し、オンラインで回答・回収を行った。

対象ごとの調査票の送付方法は以下のとおりとした。

- ① 中央競技団体：
代表メールアドレス宛に回答フォームの URL を電子メールにて通知した。役員、担当委員会委員長等に所定のオンラインフォームからの回答を依頼した。
- ② 都道府県スポーツ少年団：
代表メールアドレス、担当者メールアドレスに電子メールにて通知した。本部長、副本部長、担当部会長等に所定のオンラインフォームから回答を依頼した。
- ③ 単位団：
スポーツ少年団登録システムを用いて、登録されているメールアドレス(代表メールアドレスおよび連絡先メールアドレスの最大 5 つ)に電子メールにて送付し、所定のオンラインフォームから回答を依頼した。

(4) 調査期間

- ① 中央競技団体:2022 年 9 月 12 日～10 月 24 日
- ② 都道府県スポーツ少年団:2022 年 9 月 12 日～10 月 17 日
- ③ 単位団:2022 年 9 月 13 日～10 月 3 日

(5) 回答数

	①中央競技団体	②都道府県スポーツ少年団	③単位団
対象数	67団体 (加盟団体61、準加盟団体6)	47団体	27,384団
回答数	65団体 (加盟団体59、準加盟団体6)	47団体	6,443名 ※

※「③単位団への調査」は、当該団への連絡先として登録されているメールアドレス宛(最大 5 つ)に送付した。そのため、「回答数」については対象の単位団から得られた回答者の人数合計であり、同一単位団の複数名から回答されている分を含んでいる。

※以下のページより、「①中央競技団体」における調査結果の図表は ①中央競技団体、「②都道府県スポーツ少年団」における調査結果の図表は ②都道府県スポーツ少年団、「③単位団」における調査結果の図表は ③単位団 として示す。

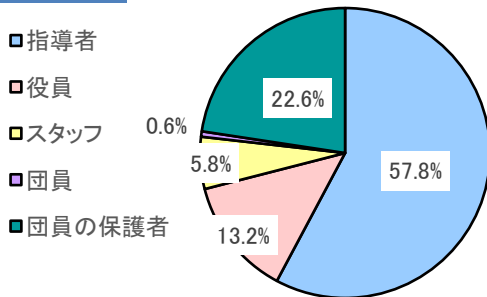
回答者属性【③単位団】

③単位団

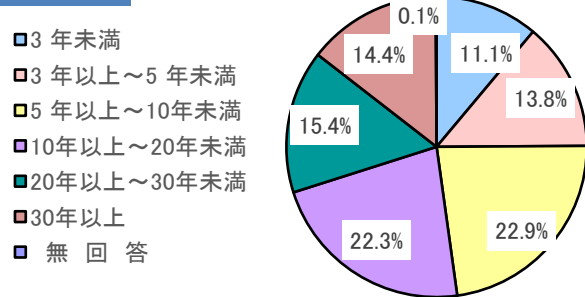
都道府県 (n=6443)

埼玉県	451	岐阜県	188	福井県	127	福岡県	103	島根県	64
茨城県	340	山形県	173	広島県	127	神奈川県	101	奈良県	61
北海道	298	愛知県	164	兵庫県	120	富山県	101	長崎県	44
静岡県	242	岩手県	162	大分県	120	山梨県	90	鳥取県	33
宮城県	225	福島県	158	長野県	119	沖縄県	89	佐賀県	30
鹿児島県	224	栃木県	151	新潟県	117	愛媛県	86	高知県	26
山口県	208	宮崎県	142	京都府	117	石川県	79	熊本県	24
滋賀県	194	東京都	135	大阪府	114	和歌山県	79		
秋田県	191	千葉県	133	香川県	111	青森県	78		
群馬県	190	岡山県	133	三重県	108	徳島県	73		

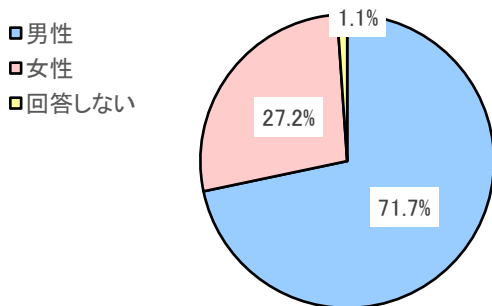
登録区分 (n=6443)



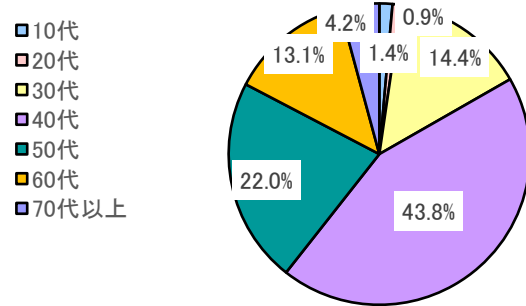
活動年数 (n=6443)



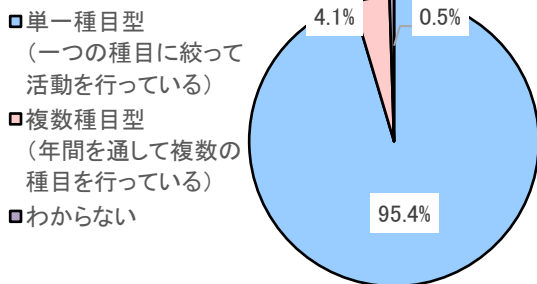
性別 (n=6443)



年代 (n=6443)



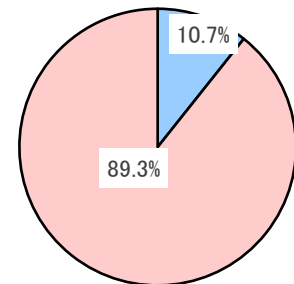
活動タイプ (n=6443)



日本スポーツ少年団
推奨活動範囲 (n=6032)

- 推奨活動範囲内
- 範囲外(それ以外)

※「日本スポーツ少年団推奨活動範囲」の目安として、平日1日2時間程度、休日・祝日では1日3時間程度、1週間に2、3回としている。



I

主催する大会の実施状況

中央競技団体は、小学生年代を対象とした全国規模の大会を75.4%が主催していた。都道府県スポーツ少年団は、小学生年代を対象とした都道府県規模の大会を91.5%が主催していた(図1)。

年間の大会数は、中央競技団体は、約8割が「1つ」「2つ」の大会であった。都道府県スポーツ少年団は81.4%が「6つ以上」の大会であり、様々な種目の大会を実施していることが想定される(図2)。参加人数においては、中央競技団体、都道府県スポーツ少年団ともに「501人以上」が参加する大規模な大会が一番多かった。(図3)。大会の趣旨については、中央競技団体、都道府県スポーツ少年団ともに「チャンピオンシップと選手間の交流を組み合わせた大会」が4割を上回っていた(図4)。大会の参加要件については、中央競技団体が「予選会の成績」、都道府県スポーツ少年団は「希望すれば出場可能」でそれぞれ5割を上回っていた(図5)。

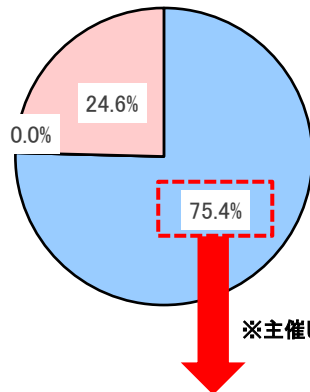
今後の大会実施予定は、中央競技団体では87.6%が「引き続き実施することが決定している」と回答した。都道府県スポーツ少年団では、「引き続き実施することが決定している」が56.0%、「未定」が32.4%と回答した(図6)。

現在の主催大会実施状況

①中央競技団体

(図1)主催有無 (n=65)

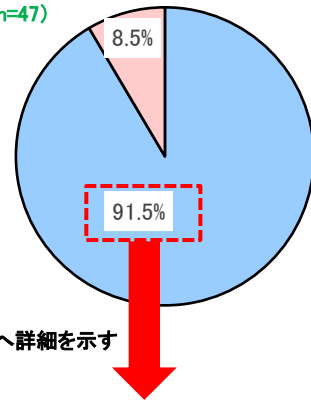
- 主催している
- 過去に主催していたが、現在は主催していない
- 実施していない



②都道府県スポーツ少年団

(図1)主催有無 (n=47)

- 主催している
- 主催していない

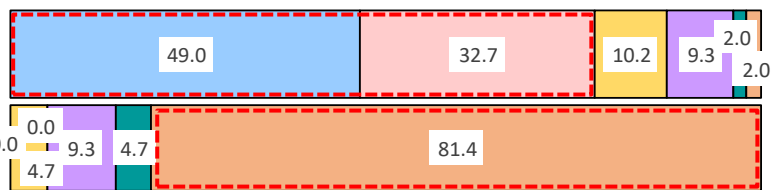


※主催している大会について、以下へ詳細を示す

(図2)大会数



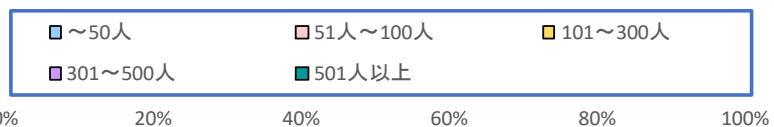
①中央競技団体 (n=49)



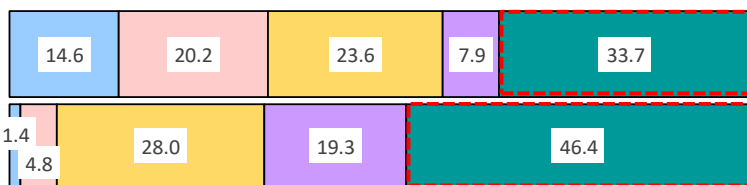
②都道府県スポーツ少年団 (n=43)



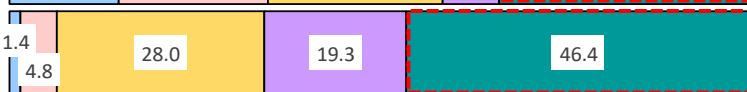
(図3)参加人数



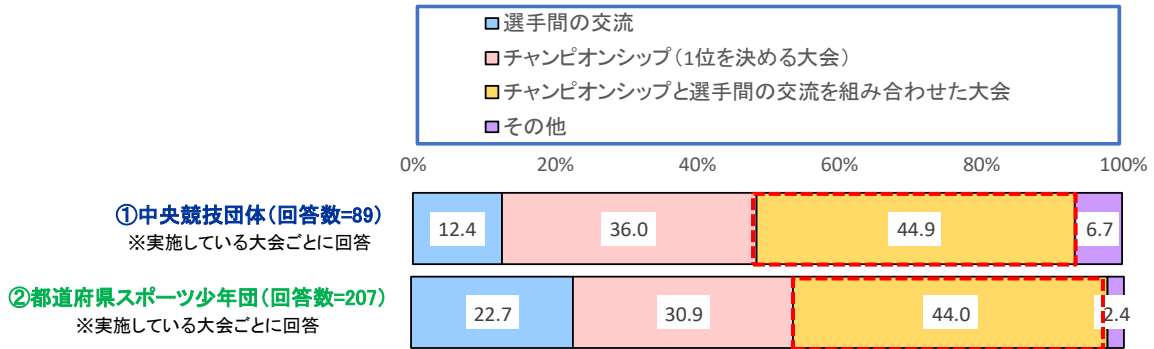
①中央競技団体 (回答数=89)
※実施している大会ごとに回答



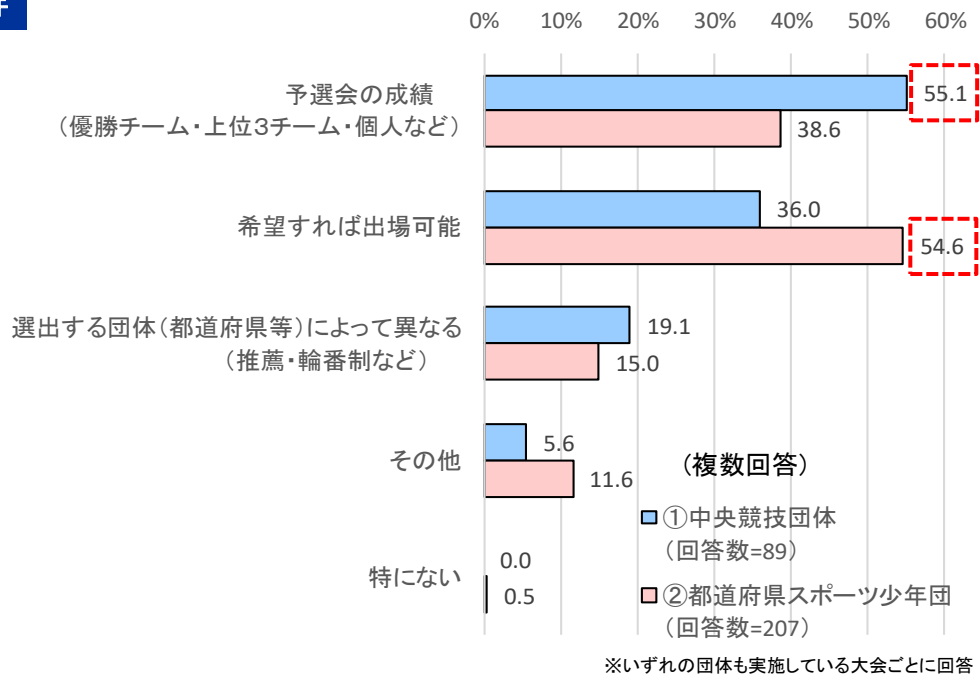
②都道府県スポーツ少年団 (回答数=207)
※実施している大会ごとに回答



(図 4)大会趣旨



(図 5)参加要件

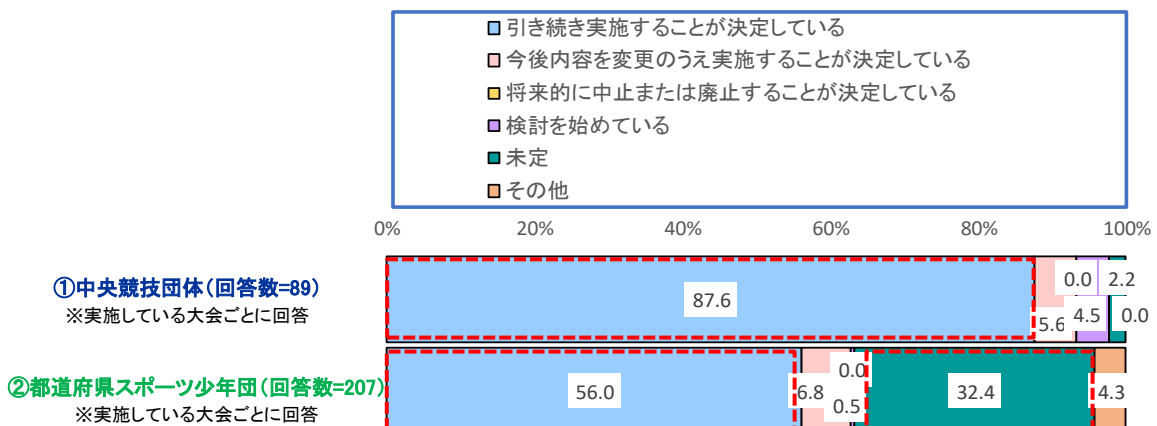


今後の大会実施予定

①中央競技団体

②都道府県スポーツ少年団

(図 6)今後の実施予定



Ⅱ

小学生年代の全国規模の大会に対する考え方

単位団において、小学生年代の全国規模の大会について「必要である」の回答は、地域ブロック別では四国が 68.2%で最も高く、年代別では 70 代(38.8%)から 20 代(76.3%)まで年代が下がるにつれ高くなっていった(図 7)。また、所属する単位団の現在の活動(日数、時間)を、“減らしたい”と回答している方より、“増やしたい”と回答している方が、「必要である」の回答がいずれも高くなっていった(図 8)。

中央競技団体、都道府県スポーツ少年団、単位団における全国規模の大会の必要有無を比較すると、「必要である」は中央競技団体 76.9%、単位団 58.3%、都道府県スポーツ少年団 25.5%の順でバラつきが出ていた(図 9)。

「必要である」と回答した理由については、「小学生年代から夢や目標となる大会として必要であるから」が中央競技団体(90.0%)、単位団(86.1%)において最も高くなっていった。「全国から参加する選手や指導者等との交流の場として必要であるから」において、都道府県スポーツ少年団は 100%が回答(※サンプル数が少ないため参考値)したが、単位団では 42.0%の回答となった。「全国規模の大会があることで、チーム・単位団が大会主催団体に登録しようと思うから」において、主催側となる都道府県スポーツ少年団は 50%が回答(※サンプル数が少ないため参考値)したが、登録する側である単位団では、6.4%だった(図 10)。

「必要ではない」と回答した方の理由は、単位団では、「指導が勝つことを目指した指導に極端に偏り、不適切な指導につながるから」(67.5%)が最も高く、「大会で勝つことよりも競技そのものを楽しませたいから」(67.0%)が続いた(図 11)。また、小学生年代に必要な大会規模はどこまでかについては、単位団では、「都道府県規模の大会まで」が 5 割を超えて高くなっていった(図 12)。

その他、小学生大会の在り方についての考えに当てはまるものは、「参加する子どもが平等に試合に出場できるルールを整備し、多くの子どもが楽しめる大会にした方がよい」が中央競技団体(66.2%)、都道府県スポーツ少年団(61.7%)でそれぞれ高いが、単位団では 31.7%と低くなっていった(図 13)。

小学生年代の全国大会の必要有無 (「③単位団」詳細)

③単位団

「③単位団」における、小学生年代の全国大会の必要有無について、以下の属性、項目別にて示す。

(図 7)

【対象属性／項目】

Q1.都道府県(地域ブロック)	Q7.単位団の活動タイプ
Q3.登録区分	Q8.主な活動種目(14 種目) ※
Q4.スポーツ少年団での活動年数	Q9.単位団の大会成績は競技レベル
Q5.性別	Q10.回答者自身の競技スポーツ歴
Q6.年代	

※Q8 主な活動種目は回答数の多かった上位 14 種目を分析対象とした。

(図 8)

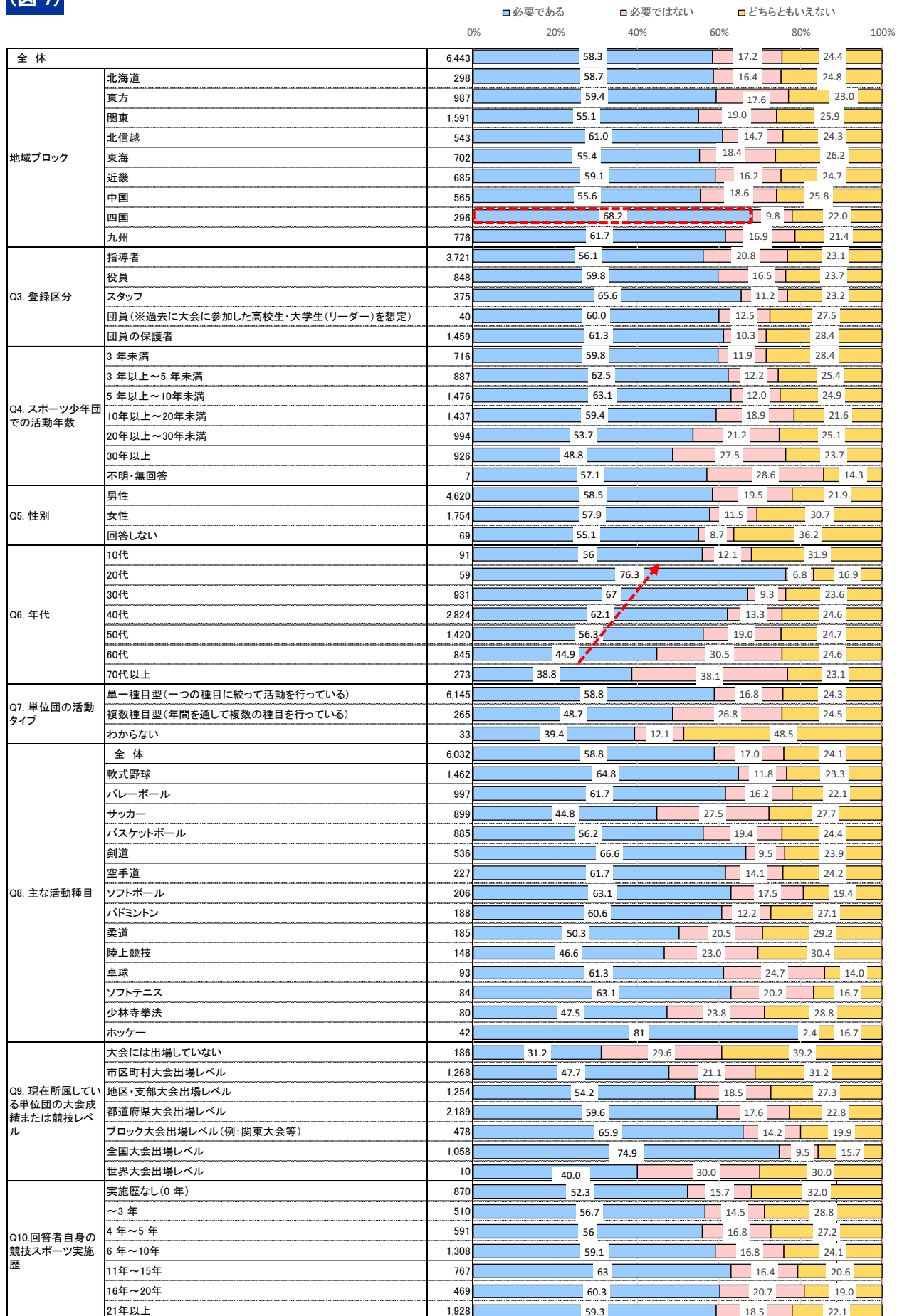
【対象属性／項目】

Q11.回答者自身の過去最高スポーツ成績	Q16.活動日数について
Q12.単位団の活動日数	Q17.活動時間について
Q13.単位団の 1 回の平均活動時間	Q18.活動種目 (競技別交流大会 5 種目とそれ以外)
Q14.1 カ月あたりの平均試合日数	Q12. × Q13. (「日本スポーツ少年団推奨活動範囲」※ の状況)
Q15.単位団が活動で目指していること	

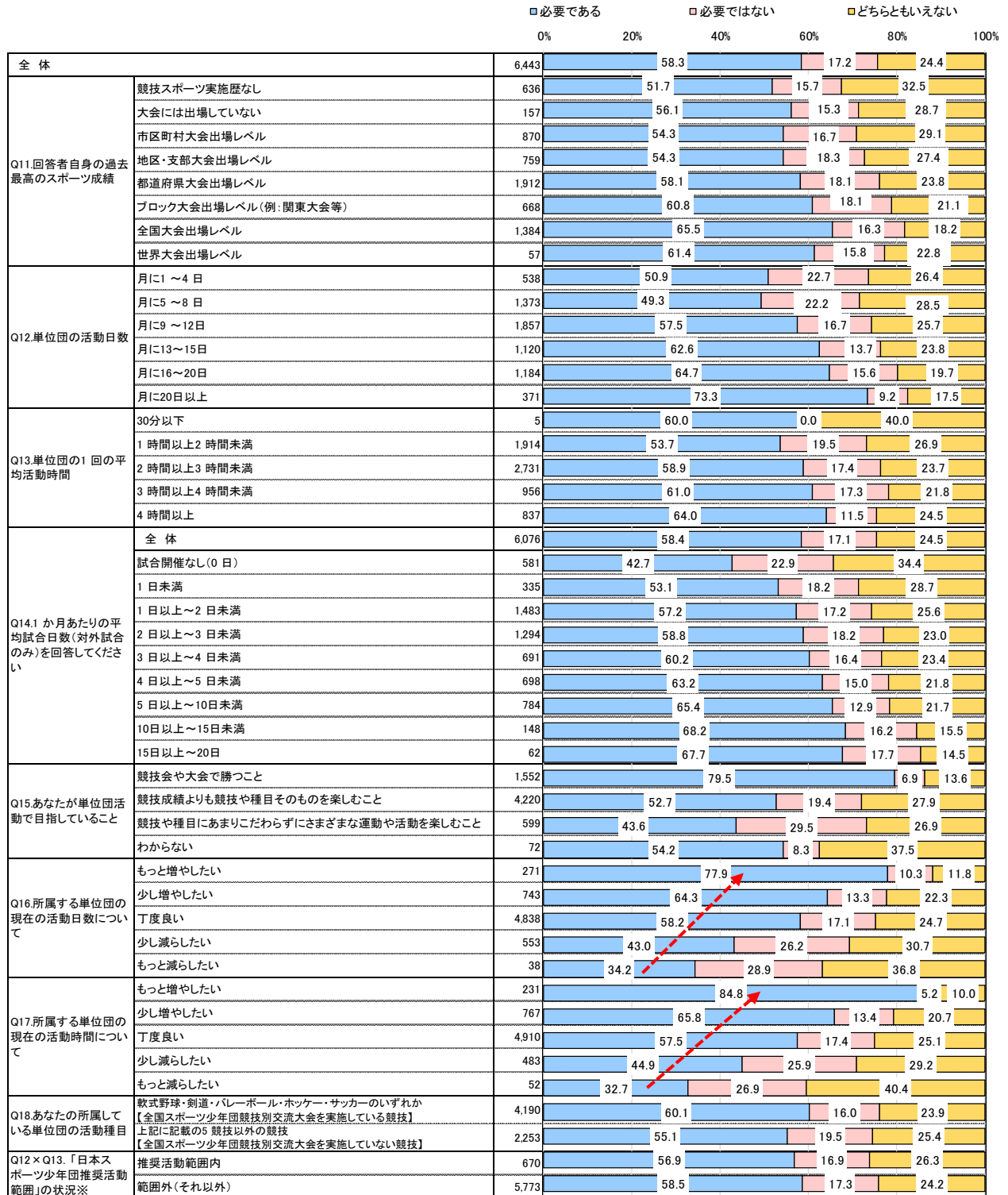
※「日本スポーツ少年団推奨活動範囲」の目安として、平日 1 日 2 時間程度、休日・祝日では 1 日 3 時間程度、1 週間に 2、3 回としている。

⇒グラフ表は「図 7」次ページ、「図 8」次々ページにて記載

(図 7)

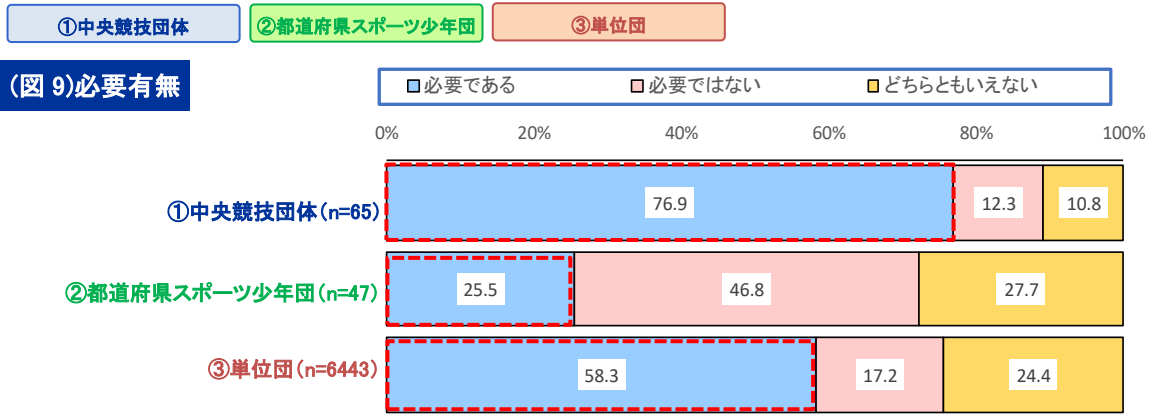


(図 8)

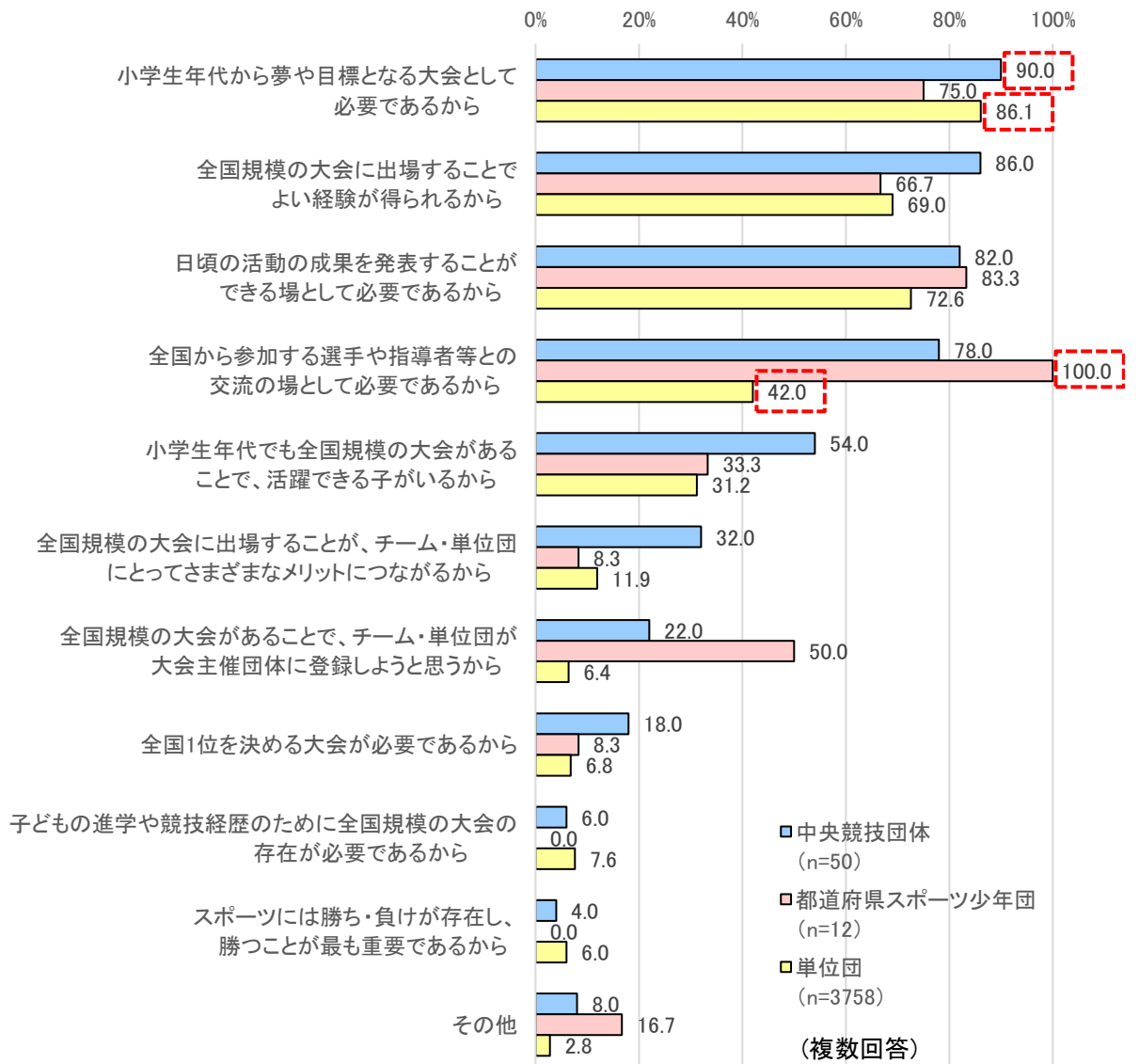


※ Q12×Q13 日本スポーツ少年団推奨活動範囲:1日あたり2～3時間程度、1週間に2～3日

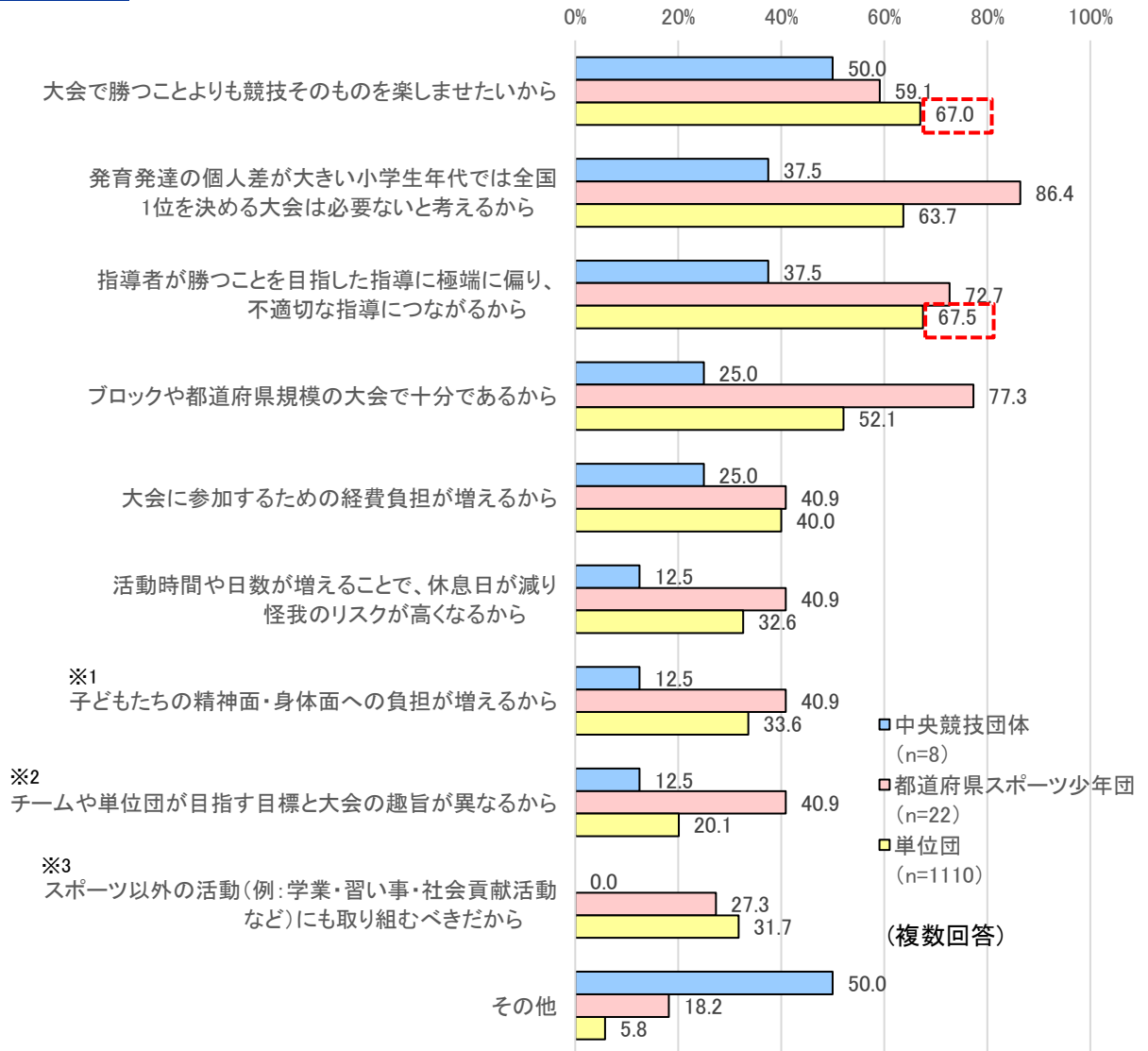
小学生年代の全国大会の必要有無 (①中央競技団体／②都道府県スポーツ少年団／③単位団 比較)



(図 10)必要理由 (対象者:「全国規模の大会の必要有無」:必要である)



(図 11)不要理由 (対象者:「全国規模の大会の必要有無」:必要ではない)

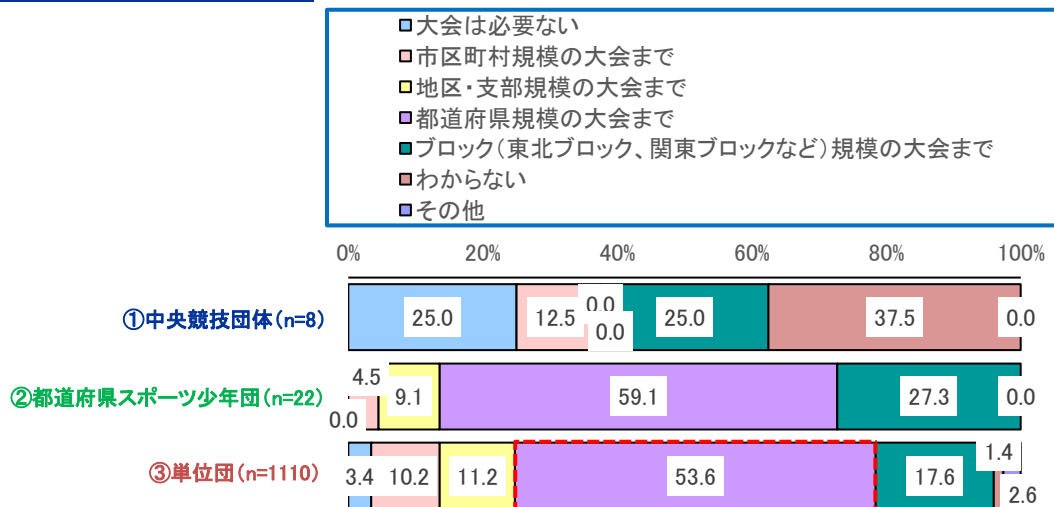


※1 都道府県スポーツ少年団/単位団 「団員の精神面・身体面への負担が増えるから」

※2 単位団 「単位団が目指す目標と大会の趣旨が異なるから」

※3 都道府県スポーツ少年団/単位団 「スポーツ以外の活動(例:学業・習い事・社会貢献活動など)にも取り組ませたいから」

(図 12)小学生年代に必要な大会規模 (対象者:「全国規模の大会の必要有無」:必要ではない)



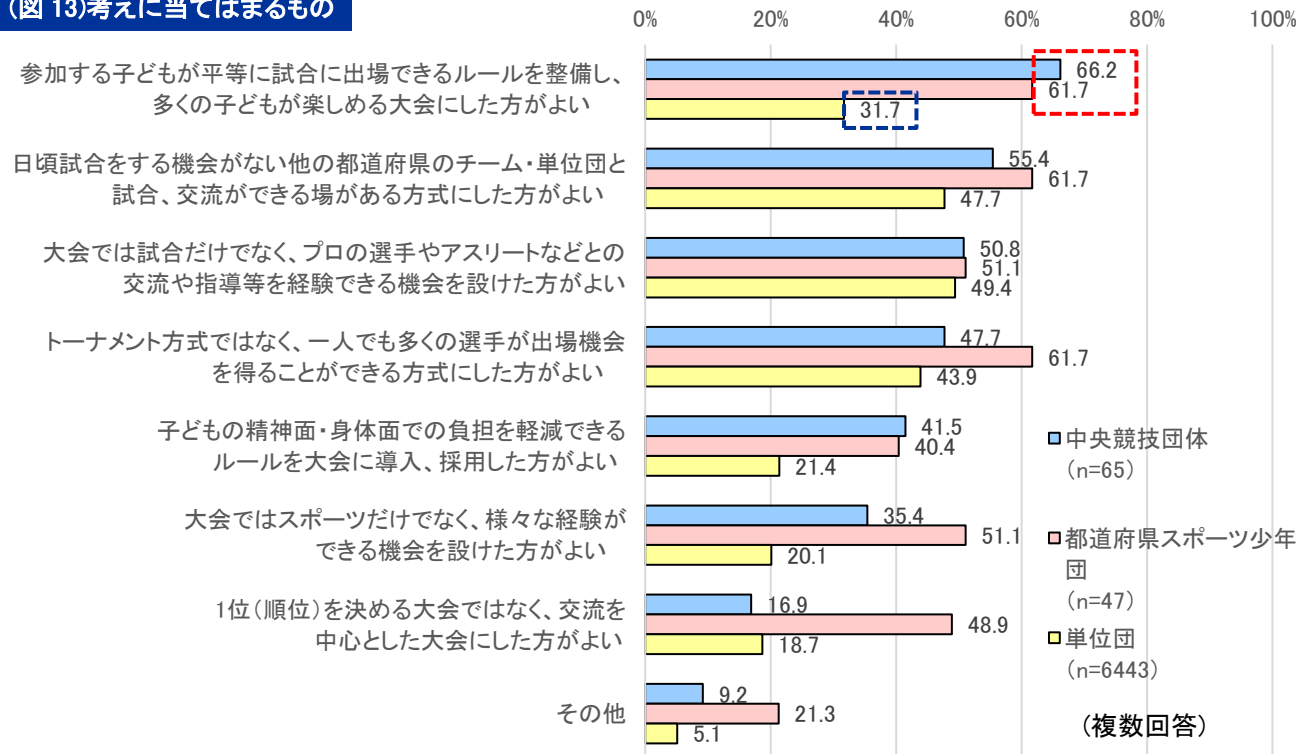
小学生年代における大会の在り方

①中央競技団体

②都道府県スポーツ少年団

③単位団

(図 13)考えに当てはまるもの



小学生年代の全国大会に関する調査

(中央競技団体、都道府県スポーツ少年団)

小学生年代の全国大会に関する意識調査

(単位スポーツ少年団)

全体版

〈 全体版目次 〉

■調査概要	19
■調査結果	21
<①中央競技団体>	21
1. 団体情報	21
Q2. 小学生年代の人数(最新の登録者数・会員数・競技者数など)	21
2. 貴団体が主催する全国規模の大会とその実施状況	21
Q6. 小学生年代を対象とする全国規模の大会主催有無	21
Q7. 小学生年代を対象とした全国規模の大会の年間主催回数	22
Q8. 主催大会のそれぞれの趣旨	22
Q9. 主催大会のそれぞれの参加人数	22
Q10. 主催大会のそれぞれにおける要項等に定める大会への参加要件	23
3. 大会の今後について	23
Q11. 主催大会の今後の実施予定	23
4. 過去に主催していたが現在主催していない団体の意向	23
※該当団体無しのため、省略(Q14～Q16)	
5. 全国規模の大会の必要性について	24
Q17. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無	24
Q18-1. 小学生年代における全国規模の大会の必要理由	25
Q18-2. 小学生年代における全国規模の大会の不要理由	25
Q19. 小学生年代に必要な大会規模の範囲	26
Q20. 小学生年代の全ての大会の在り方に対する考え方	26
<②都道府県スポーツ少年団>	27
1. 貴団体が主催する都道府県規模の大会とその実施状況	27
Q5. 小学生年代を対象とする都道府県規模の大会の主催有無	27
Q6. 小学生年代を対象とした都道府県規模大会の年間主催回数	27
Q7. 実施種目	28
Q8. 主催大会のそれぞれの趣旨	29
Q9. 主催大会のそれぞれの参加人数	29
Q10. 主催大会のそれぞれにおける要項等に定める大会への参加要件	29

2. 大会の今後について	30
Q11. 主催大会の今後の実施予定.....	30
3. 全国規模の大会の必要性について	30
Q15. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無.....	30
Q16-1. 小学生年代における全国規模の大会の必要理由.....	31
Q16-2. 小学生年代における全国規模の大会の不要理由.....	31
Q17. 小学生年代に必要な大会規模の範囲	32
Q18. 小学生年代の全ての大会の在り方に対する考え方.....	32
<③単位スポーツ少年団>	33
1. 基本情報(回答者属性)	33
Q1. 都道府県.....	33
Q3. 登録区分/Q4. スポーツ少年団での活動年数/Q5. 性別.....	34
Q6. 年代/Q7. 活動タイプ	35
Q8. 活動種目	36
Q9. 現在所属している単位団の大会成績または競技レベル	37
Q10. 回答者自身の競技スポーツ実施歴.....	37
Q11. 回答者自身の過去最高のスポーツ成績.....	37
2. 普段の単位団の活動内容.....	38
Q12. 単位団の活動日数	38
Q13. 単位団の1回の平均活動時間	40
Q14. 1か月あたりの平均試合日数(対外試合のみ)	42
Q15. 単位団活動で目指していること	43
Q16. 所属する単位団の現在の活動日数についての考え方	44
Q17. 所属する単位団の現在の活動時間についての考え方	46
Q18. 所属している単位団の活動種目	48
3. 全国スポーツ少年団競技別交流大会に関して.....	48
Q19. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の認知状況.....	48
Q20. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の“趣旨”の認知状況	49
Q21. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加有無.....	50
Q22. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加意向.....	51
Q23. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加意向「有」理由	52
Q24. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加意向「無」理由	53
Q25. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の開催継続の意向	53

4. 全国規模大会の必要性について	54
Q28. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無.....	54
Q29. 小学生年代における全国規模の大会の必要理由.....	68
Q30. 小学生年代における全国規模の大会の不要理由.....	69
Q31. 小学生年代に必要な大会規模の範囲	70
Q32. 小学生年代の全ての大会の在り方に対する考え方.....	74
【全対象共通設問 比較】～ 全国規模の大会の必要性について ～	
＜中央競技団体＞＜都道府県スポーツ少年団＞＜単位スポーツ少年団＞	75
「小学生年代における全国規模の大会の必要有無」.....	75
「小学生年代における全国規模の大会の必要理由」.....	75
「小学生年代における全国規模の大会の不要理由」.....	76
「小学生年代に必要な大会規模の範囲」.....	77
「小学生年代の全ての大会の在り方に対する考え方」.....	77

■調査概要

(1) 調査目的

- 中央競技団体や都道府県スポーツ少年団、単位スポーツ少年団が小学生年代を対象とした全国大会、全国競技別交流大会に関して、それぞれの立場でどのような考えや意見をもっているのかを明らかにする。
- 現在、中央競技団体が実施している小学生年代を対象とした全国規模の大会および都道府県スポーツ少年団が実施している小学生年代を対象とした都道府県の大会ならびに単位スポーツ少年団(以下、単位団という。)の活動実態を把握する。
- 上記2点を踏まえ、今後の全国競技別交流大会の在り方の検討材料とする。

(2) 調査対象

小学生年代の全国大会に関する調査

- ① 中央競技団体(67 団体:JSPO 加盟団体 61、JSPO 準加盟団体 6)
- ② 都道府県スポーツ少年団(47 団体)

小学生年代の全国大会に関する意識調査

- ③ 単位団 27, 384 団

(指導者、役員、スタッフ、保護者、団員(過去に全国競技別交流大会に参加した高校生・大学生(リーダー)を想定)、2022年9月13日時点登録完了の単位団)

(3) 調査方法

調査票は Google フォームを用いて作成し、オンラインで回答・回収を行った。

対象ごとの調査票の送付方法は以下のとおりとした。

- ① 中央競技団体：
代表メールアドレス宛に回答フォームの URL を電子メールにて通知した。役員、担当委員会委員長等に所定のオンラインフォームからの回答を依頼した。
- ② 都道府県スポーツ少年団：
代表メールアドレス、担当者メールアドレスに電子メールにて通知した。本部長、副本部長、担当部会長等に所定のオンラインフォームから回答を依頼した。
- ③ 単位団：
スポーツ少年団登録システムを用いて、登録されているメールアドレス(代表メールアドレスおよび連絡先メールアドレスの最大 5 つ)に電子メールにて送付し、所定のオンラインフォームから回答を依頼した。

(4) 調査期間

- ① 中央競技団体:2022 年 9 月 12 日～10 月 24 日
- ② 都道府県スポーツ少年団:2022 年 9 月 12 日～10 月 17 日
- ③ 単位団:2022 年 9 月 13 日～10 月 3 日

(5) 回答数

	①中央競技団体	②都道府県スポーツ少年団	③単位団
対象数	67団体 (加盟団体61、準加盟団体6)	47団体	27,384団
回答数	65団体 (加盟団体59、準加盟団体6)	47団体	6,443名 ※

※「③単位団への調査」は、当該団への連絡先として登録されているメールアドレス宛(最大 5 つ)に送付した。そのため、「回答数」については対象の単位団から得られた回答者の人数合計であり、同一単位団の複数名から回答されている分を含んでいる。

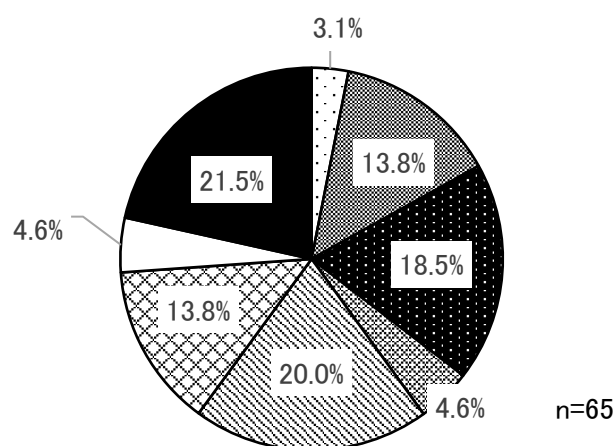
■調査結果

<①中央競技団体>

1. 団体情報

Q2. 小学生年代の人数(最新の登録者数・会員数・競技者数など)

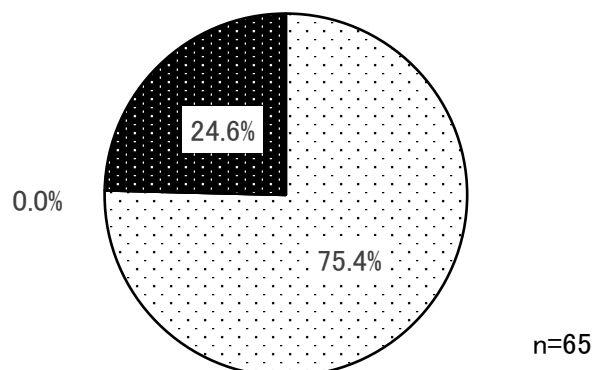
- | | |
|-------------------|---------------------|
| □ 0人 | ■ 100人未満 |
| ■ 100～500人未満 | ■ 500～1,000人未満 |
| ■ 1,000～10,000人未満 | ■ 10,000～100,000人未満 |
| □ 100,000人以上 | ■ 無回答 |



2. 貴団体が主催する全国規模の大会とその実施状況

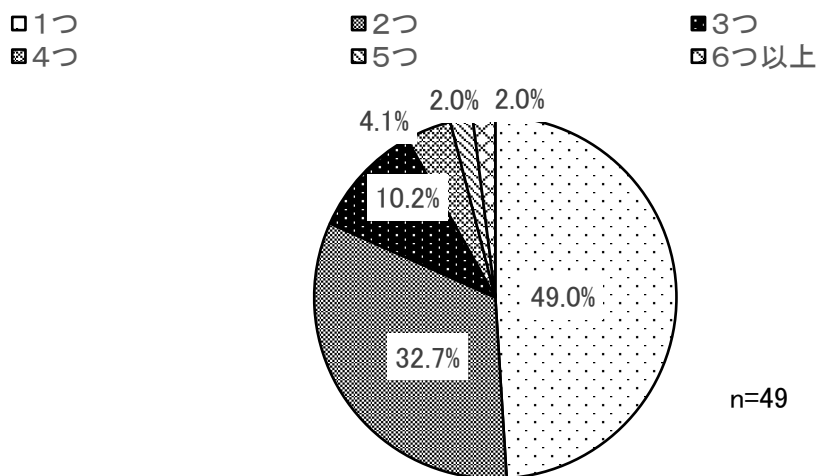
Q6. 小学生年代を対象とする全国規模の大会の主催有無

- | |
|-------------------------|
| □ 主催している |
| ■ 過去に主催していたが、現在は主催していない |
| ■ 実施していない |



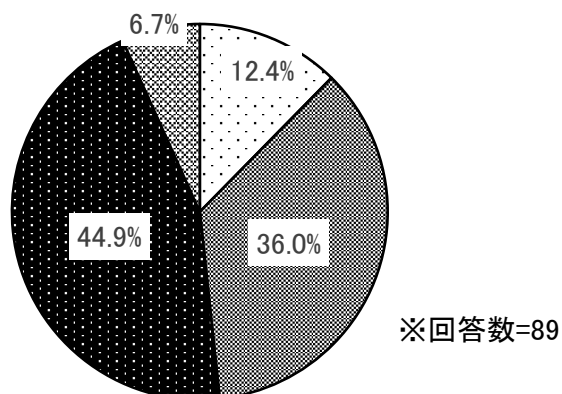
Q7. 小学生年代を対象とした全国規模の大会の年間主催回数

(対象者: Q6=主催している)



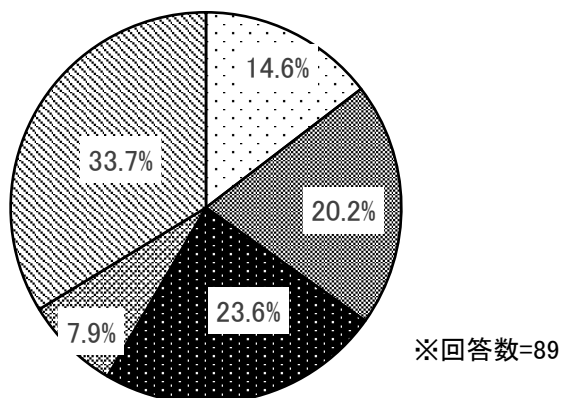
Q8. 主催大会のそれぞれの趣旨(対象者: Q6=主催している)

- 選手間の交流
- チャンピオンシップ(1位を決める大会)
- チャンピオンシップと選手間の交流を組み合わせた大会
- その他



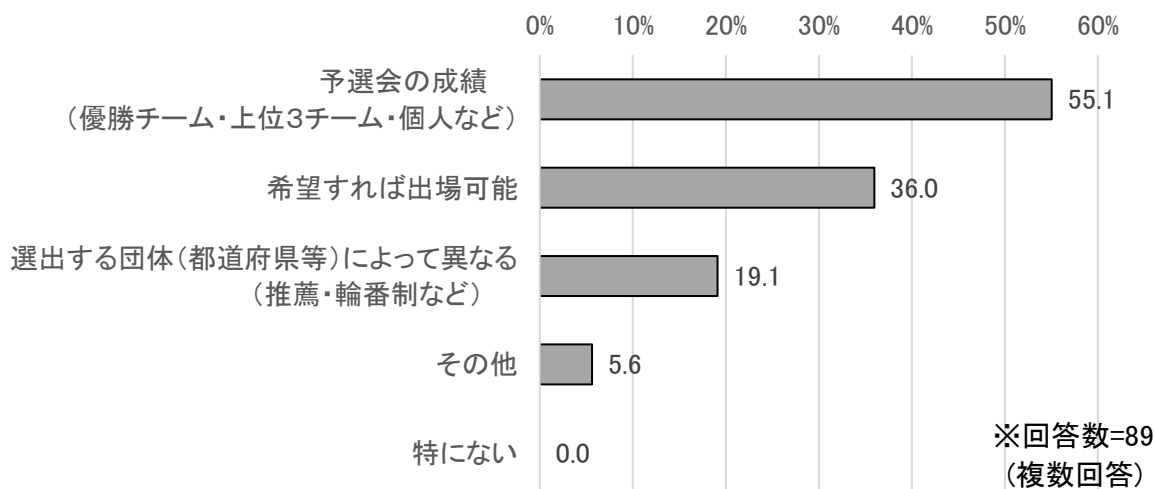
Q9. 主催大会のそれぞれの参加人数(対象者: Q6=主催している)

- ~50人
- 101~300人
- 51人~100人
- 301~500人
- 501人以上



Q10. 主催大会のそれぞれにおける要項等に定める大会への参加要件

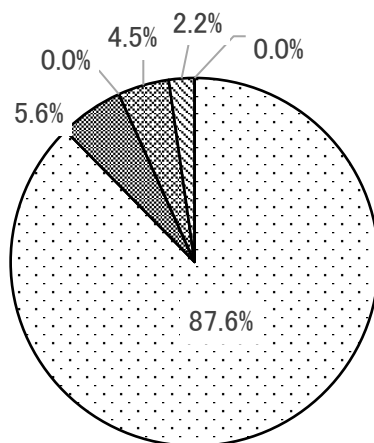
(対象者: Q6=主催している)



3. 大会の今後について

Q11. 主催大会の今後の実施予定(対象者: Q6=主催している)

- 引き続き実施することが決定している
- ▨ 今後内容を変更のうえ実施することが決定している
- 将来的に中止または廃止することが決定している
- ▩ 検討を始めている
- 未定
- その他



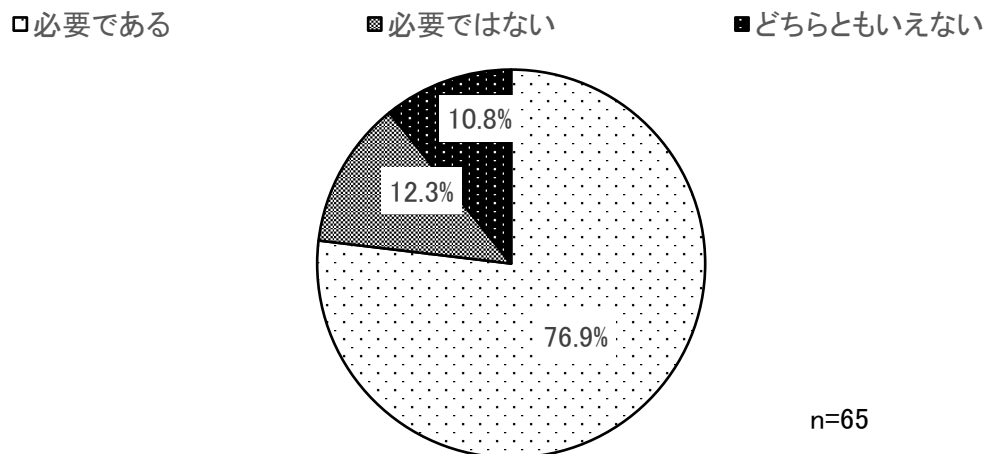
※回答数=89

4. 過去に主催していたが現在主催していない団体の意向

※該当団体無しのため、省略(Q14~Q16)

5. 全国規模の大会の必要性について

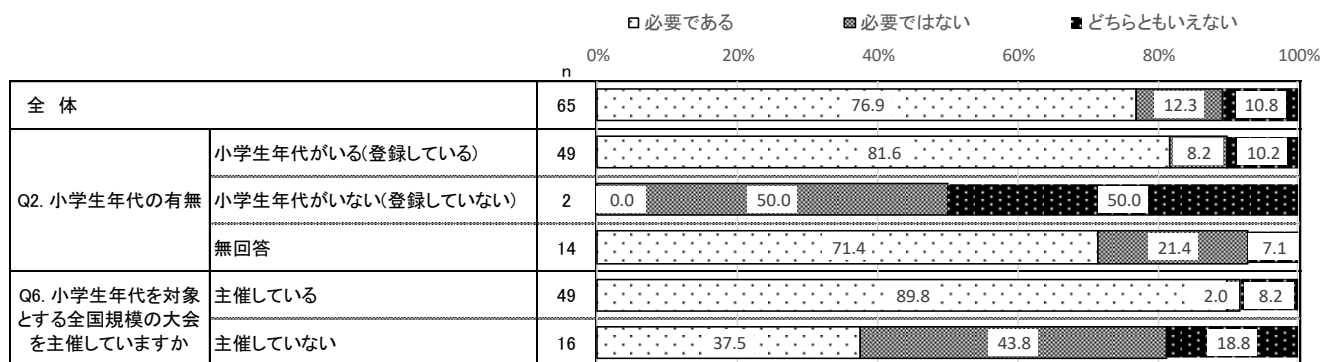
Q17. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無



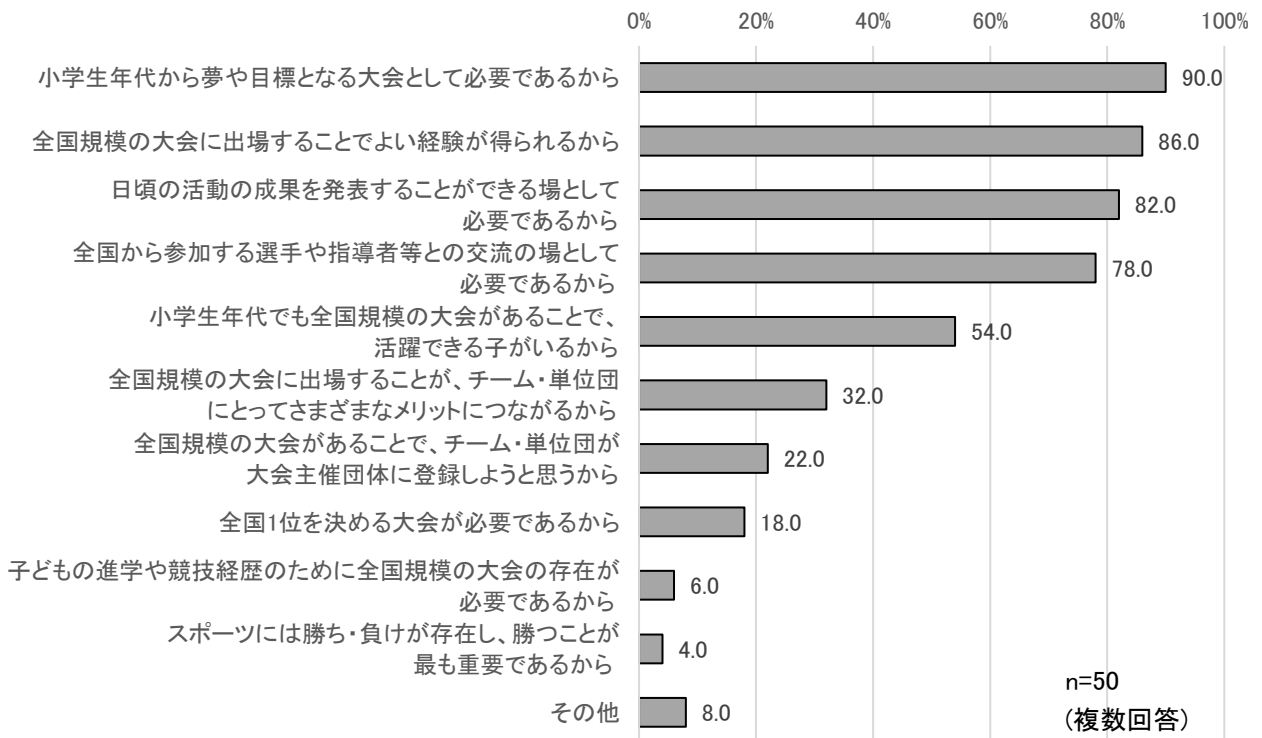
[クロス] Q17. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無 ×

Q2. 小学生年代の有無

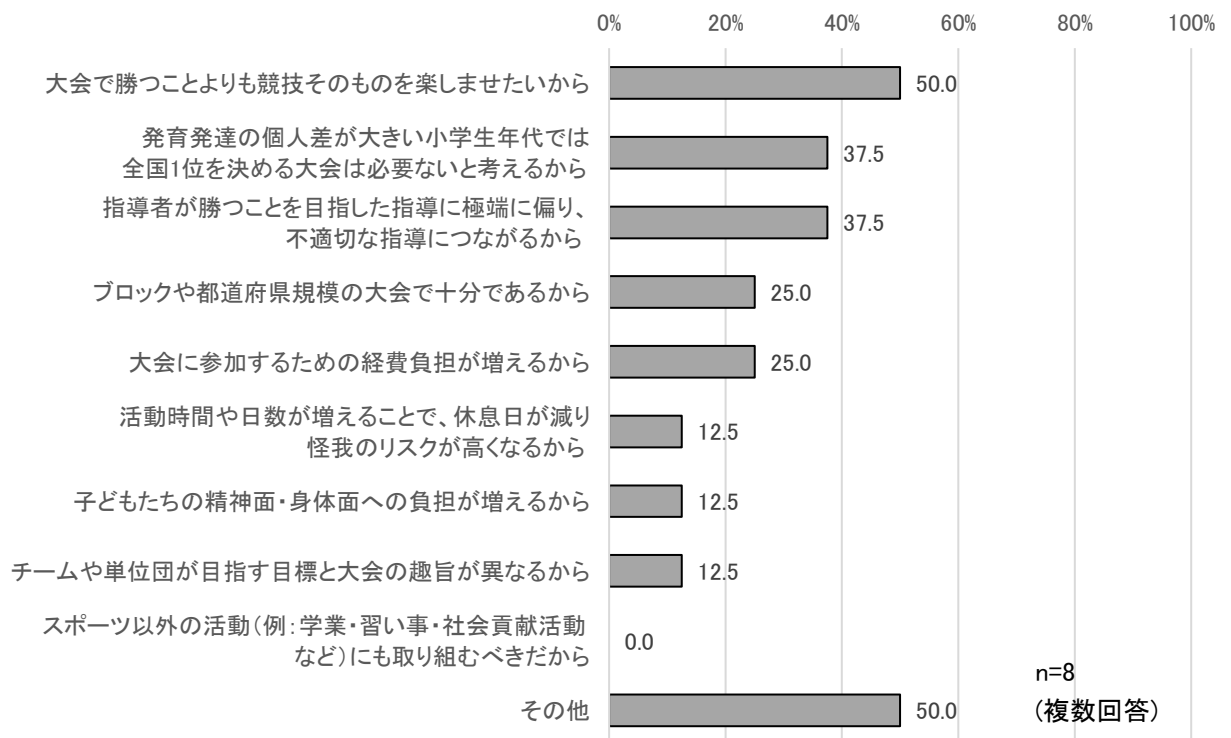
Q6. 小学生年代を対象とする全国規模の大会の主催有無



Q18-1. 小学生年代における全国規模の大会の必要理由(対象者:Q17=必要である)

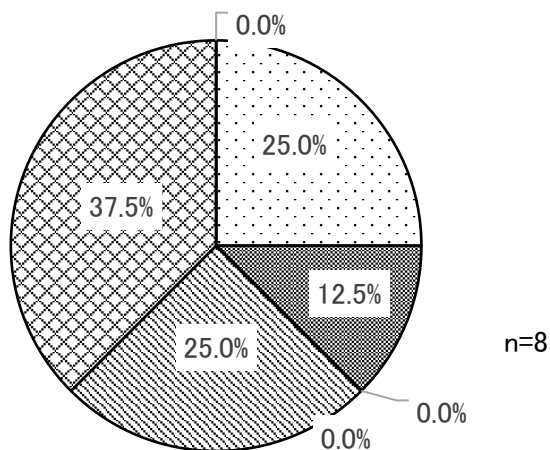


Q18-2. 小学生年代における全国規模の大会の不要理由(対象者:Q17=必要ではない)

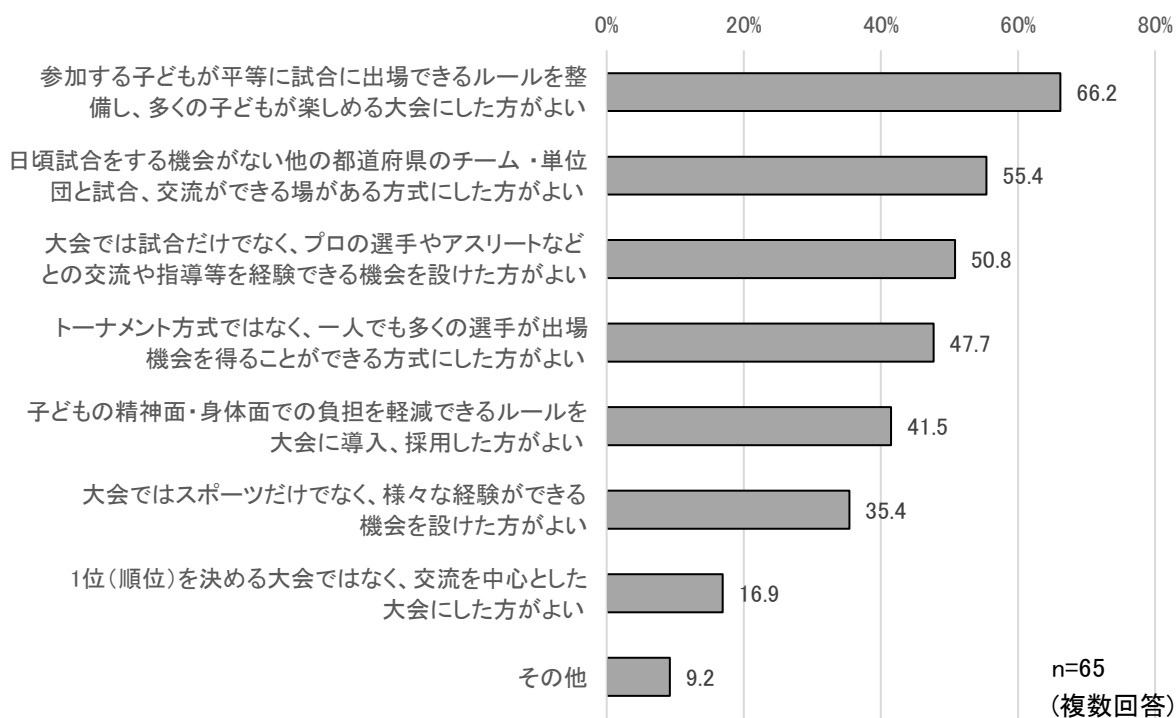


Q19. 小学生年代に必要な大会規模の範囲(対象者:Q17=必要ではない)

- 大会は必要ない
- ▨市区町村規模の大会まで
- 地区・支部規模の大会まで
- ▩都道府県規模の大会まで
- ▨ブロック(東北ブロック、関東ブロックなど)規模の大会まで
- ▩わからない
- その他



Q20. 小学生年代の全ての大会の在り方に対する考え方

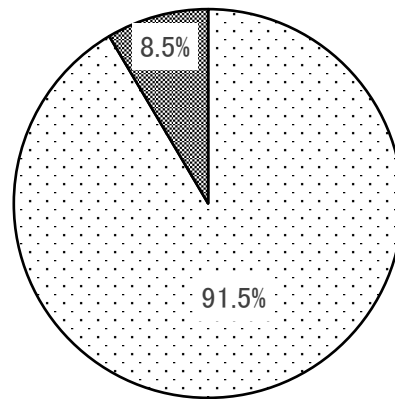


<②都道府県スポーツ少年団>

1. 貴団体が主催する都道府県規模の大会とその実施状況

Q5. 小学生年代を対象とする都道府県規模の大会の主催有無

□ 主催している ■ 主催していない

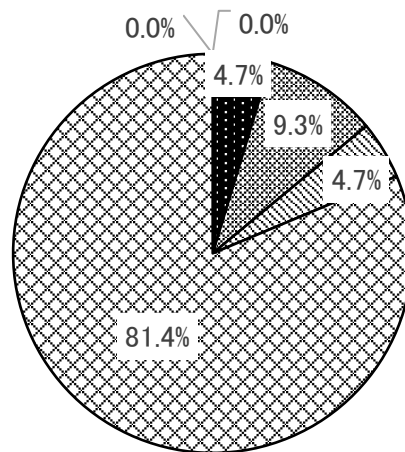


n=47

Q6. 小学生年代を対象とした都道府県規模大会の年間主催回数

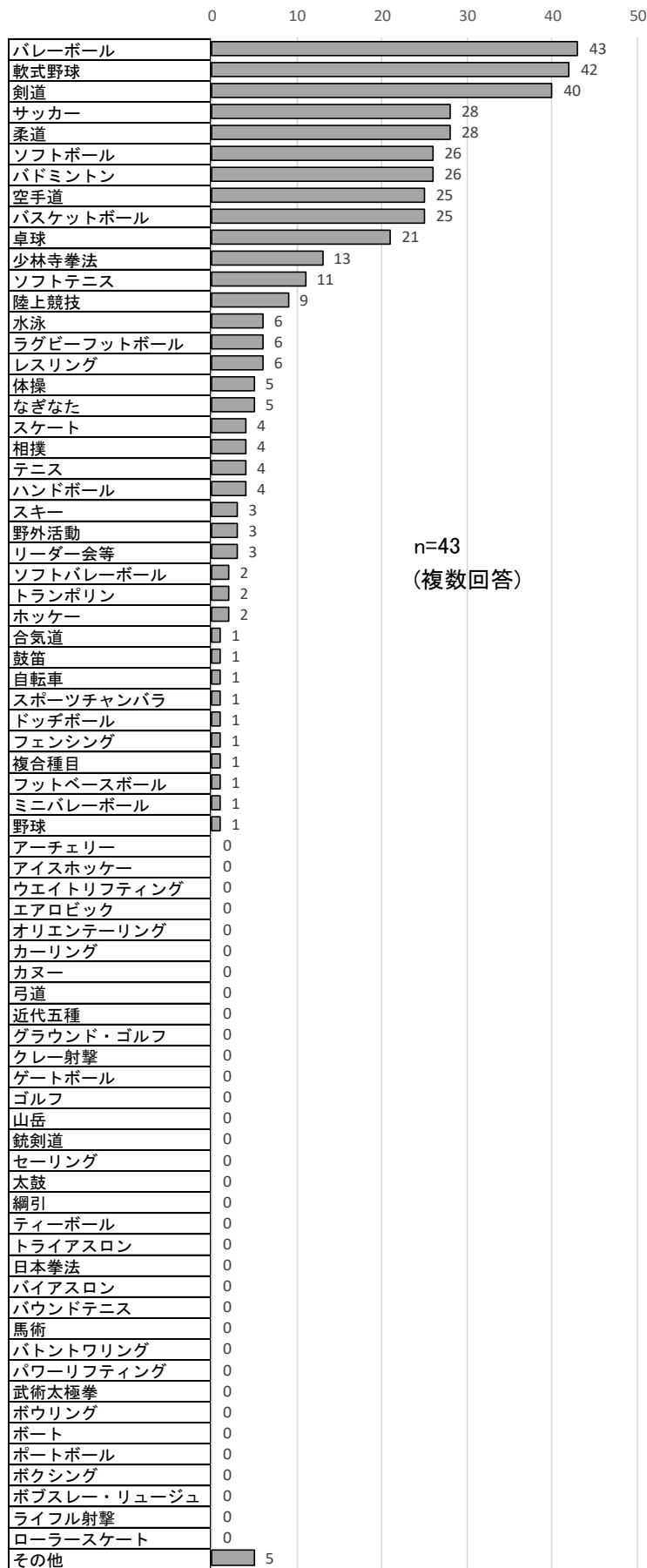
(対象者: Q5=主催している)

□ 1つ ■ 2つ ■ 3つ
 ■ 4つ ■ 5つ ■ 6つ以上



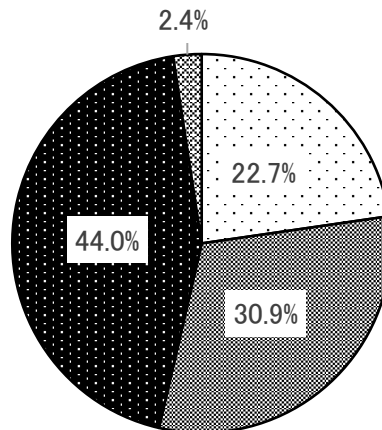
n=43

Q7. 実施種目（対象者:Q5=主催している）



Q8. 主催大会のそれぞれの趣旨（対象者：Q5=主催している）

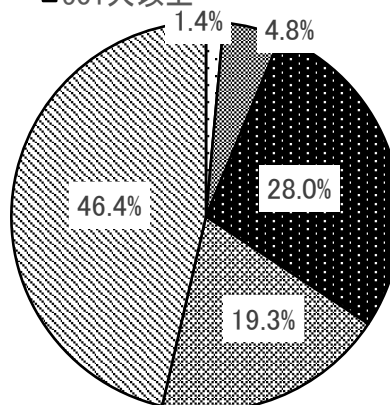
- 選手間の交流
- ▨チャンピオンシップ（1位を決める大会）
- チャンピオンシップと選手間の交流を組み合わせた大会
- ▩その他



※回答数=207
（実施している大会ごとに回答）

Q9. 主催大会のそれぞれの参加人数（対象者：Q5=主催している）

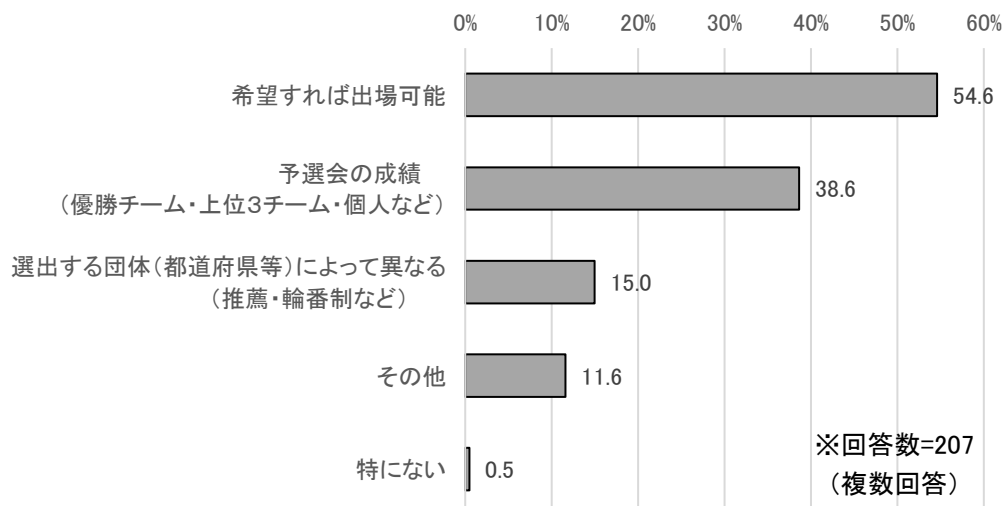
- ～50人
- ▨51人～100人
- 101～300人
- ▩301～500人
- ▨501人以上



※回答数=207
（実施している大会ごとに回答）

Q10. 主催大会のそれぞれにおける要項等に定める大会への参加要件

（対象者：Q5=主催している）

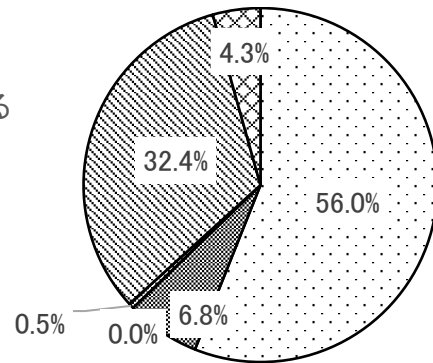


※回答数=207
（複数回答）

2. 大会の今後について

Q11. 主催大会の今後の実施予定（対象者:Q5=主催している）

- 引き続き実施することが決定している
- 今後内容を変更のうえ実施することが決定している
- 将来的に中止または廃止することが決定している
- 検討を始めている
- 未定
- その他



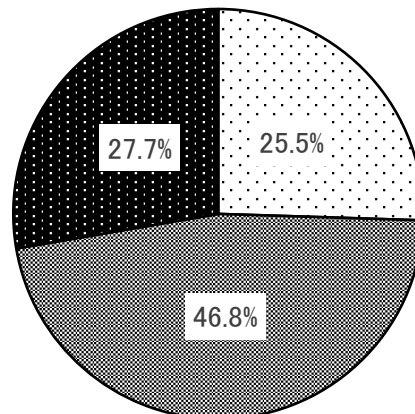
※回答数=207

(実施している大会ごとに回答)

3. 全国規模の大会の必要性について

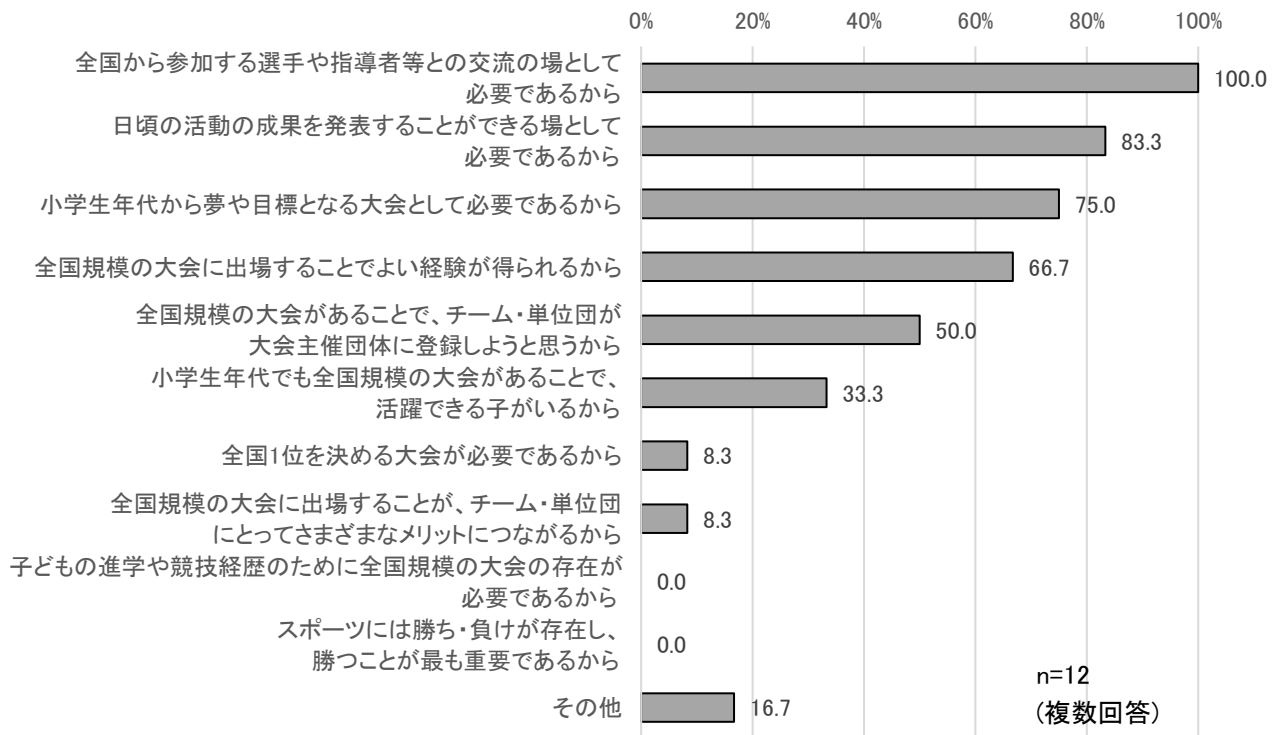
Q15. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無

- 必要である
- 必要ではない
- どちらともいえない

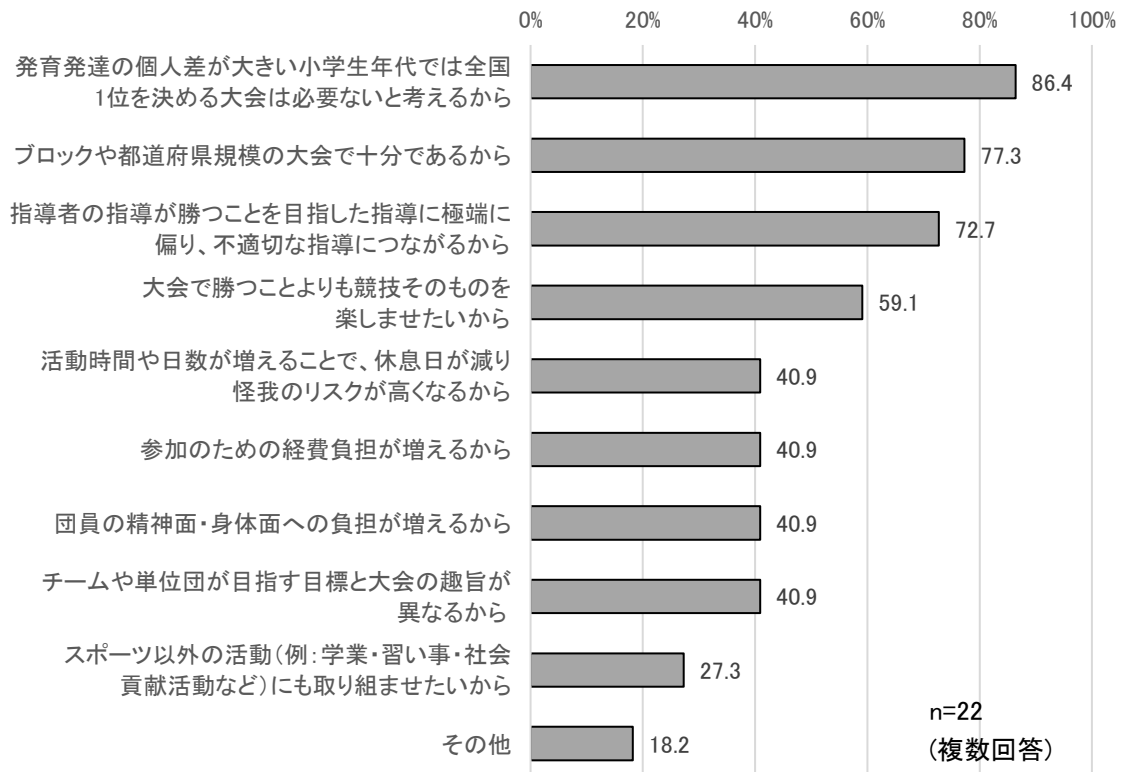


n=47

Q16-1. 小学生年代における全国規模の大会の必要理由 (対象者: Q15=必要である)

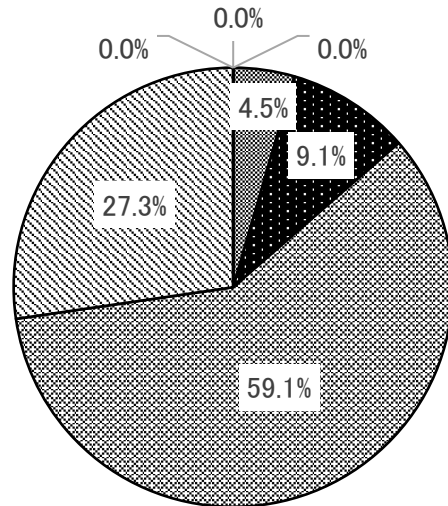


Q16-2. 小学生年代における全国規模の大会の不要理由 (対象者: Q15=必要ではない)



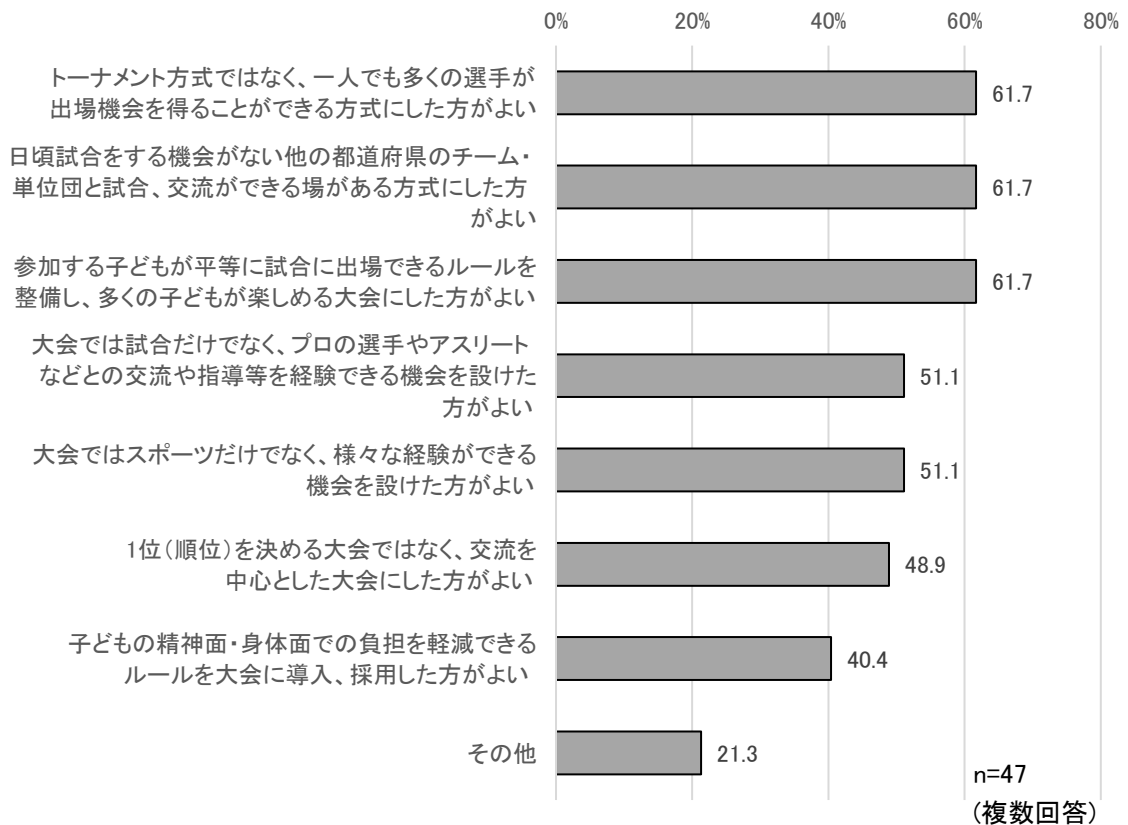
Q17. 小学生年代に必要な大会規模の範囲 (対象者:Q15=必要である)

- 大会は必要ない
- ▨ 市区町村規模の大会まで
- 地区・支部規模の大会まで
- ▩ 都道府県規模の大会まで
- ▧ ブロック(東北ブロック、関東ブロックなど)規模の大会まで
- ▦ わからない
- その他



n=22

Q18. 小学生年代の全ての大会の在り方に対する考え方

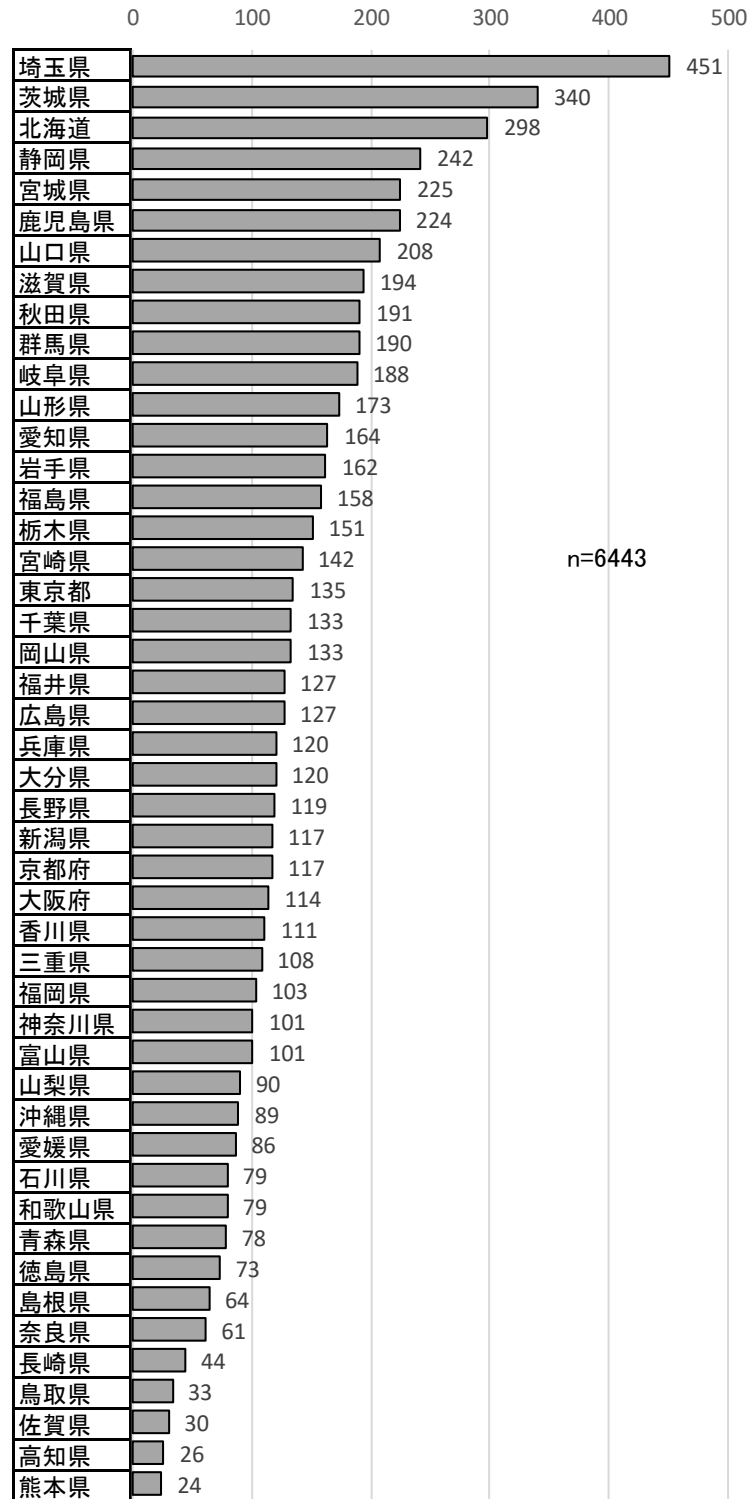


n=47
(複数回答)

<③単位スポーツ少年団>

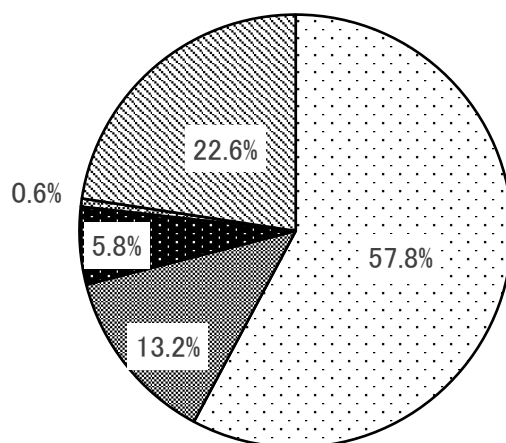
1. 基本情報(回答者属性)

Q1. 都道府県



Q3. 登録区分

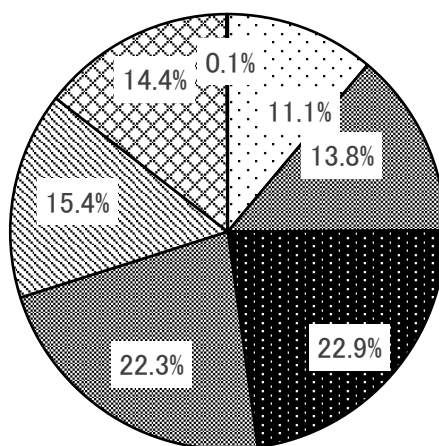
- 指導者
- ▨ 役員
- スタッフ
- ▩ 団員
- ▧ 団員の保護者



n=6443

Q4. スポーツ少年団での活動年数

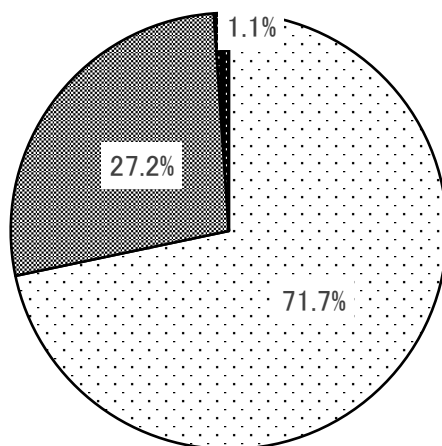
- 3年未満
- ▨ 3年以上～5年未満
- 5年以上～10年未満
- ▩ 10年以上～20年未満
- ▧ 20年以上～30年未満
- ▦ 30年以上
- 無回答



n=6443

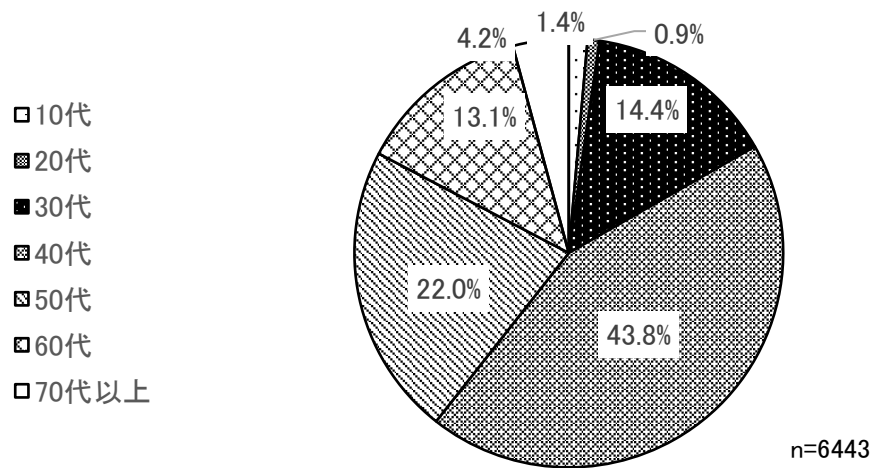
Q5. 性別

- 男性
- ▨ 女性
- 回答しない



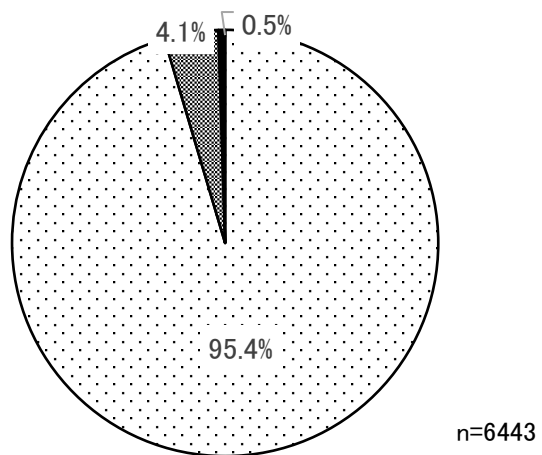
n=6443

Q6. 年代

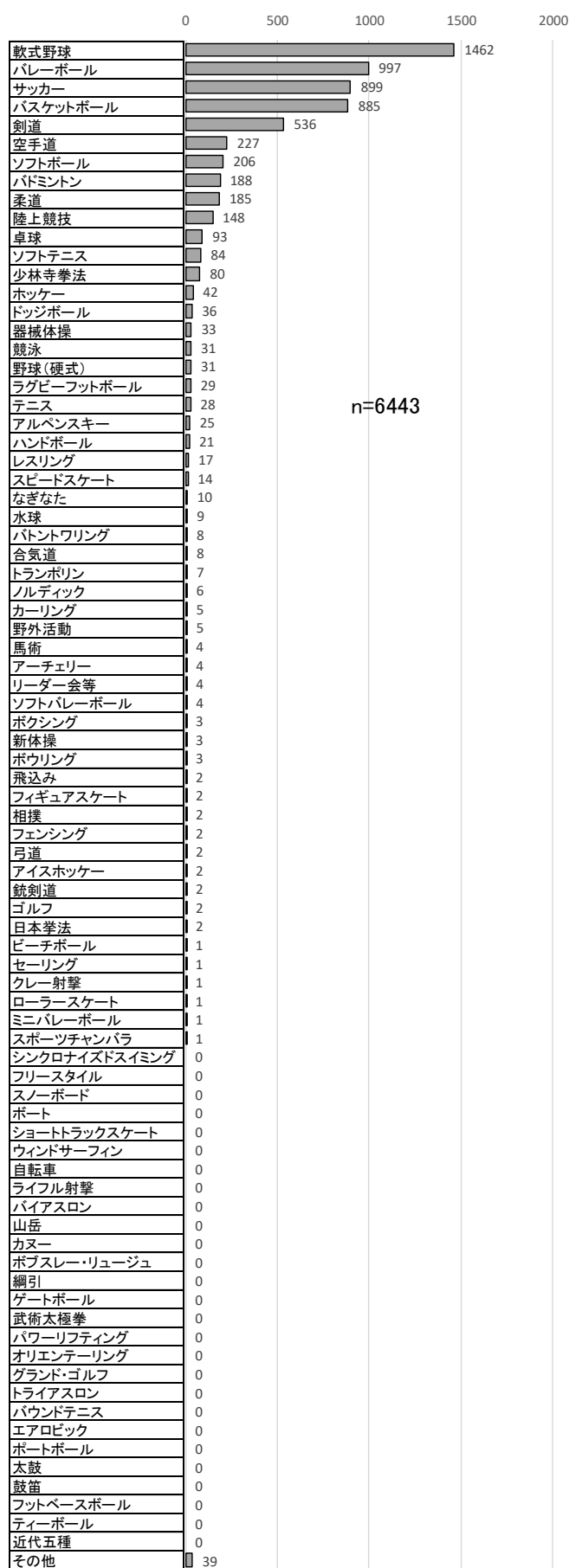


Q7. 活動タイプ

- 単一種目型 (一つの種目に絞って活動を行っている)
- 複数種目型 (年間を通して複数の種目を行っている)
- わからない

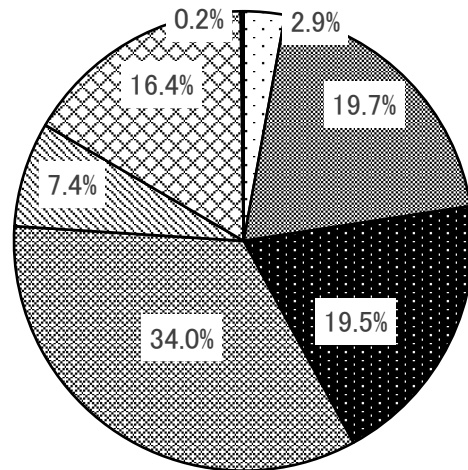


Q8. 活動種目



Q9. 現在所属している単位団の大会成績または競技レベル

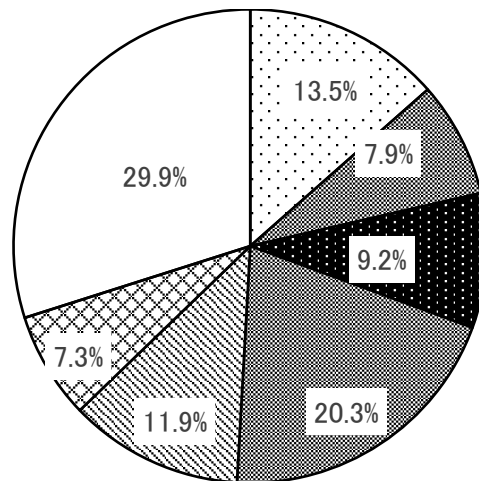
- 大会には出場していない
- ▨市区町村大会出場レベル
- 地区・支部大会出場レベル
- ▨都道府県大会出場レベル
- ▨ブロック大会出場レベル
(例: 関東大会等)
- ▨全国大会出場レベル
- 世界大会出場レベル



n=6443

Q10. 回答者自身の競技スポーツ実施歴

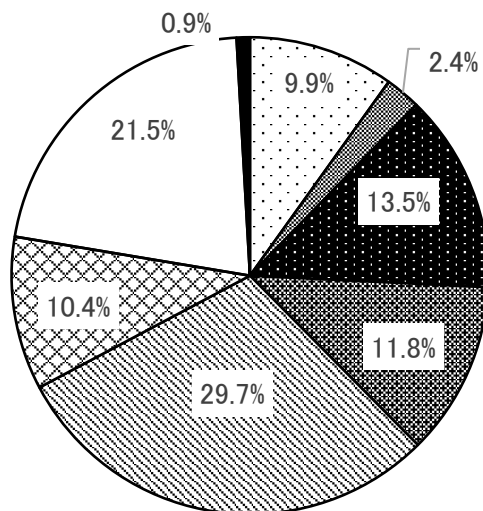
- 実施歴なし(0年)
- ▨～3年
- 4年～5年
- ▨6年～10年
- ▨11年～15年
- ▨16年～20年
- 21年以上



n=6443

Q11. 回答者自身の過去最高のスポーツ成績

- 競技スポーツ実施歴なし
- ▨大会には出場していない
- 市区町村大会出場レベル
- ▨地区・支部大会出場レベル
- ▨都道府県大会出場レベル
- ▨ブロック大会出場レベル
(例: 関東大会等)
- 全国大会出場レベル
- 世界大会出場レベル

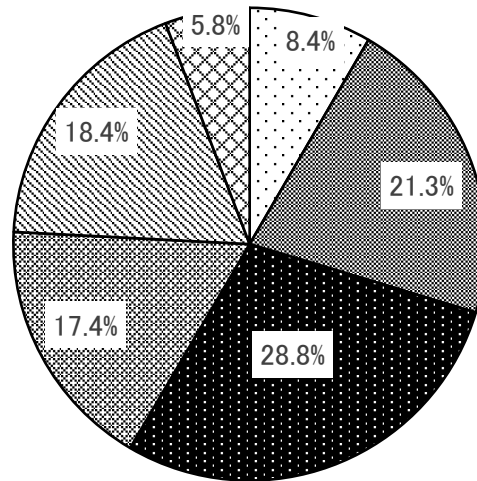


n=6443

2. 普段の単位団の活動内容

Q12. 単位団の活動日数

- 月に1～4日
- 月に5～8日
- 月に9～12日
- 月に13～15日
- 月に16～20日
- 月に21日以上

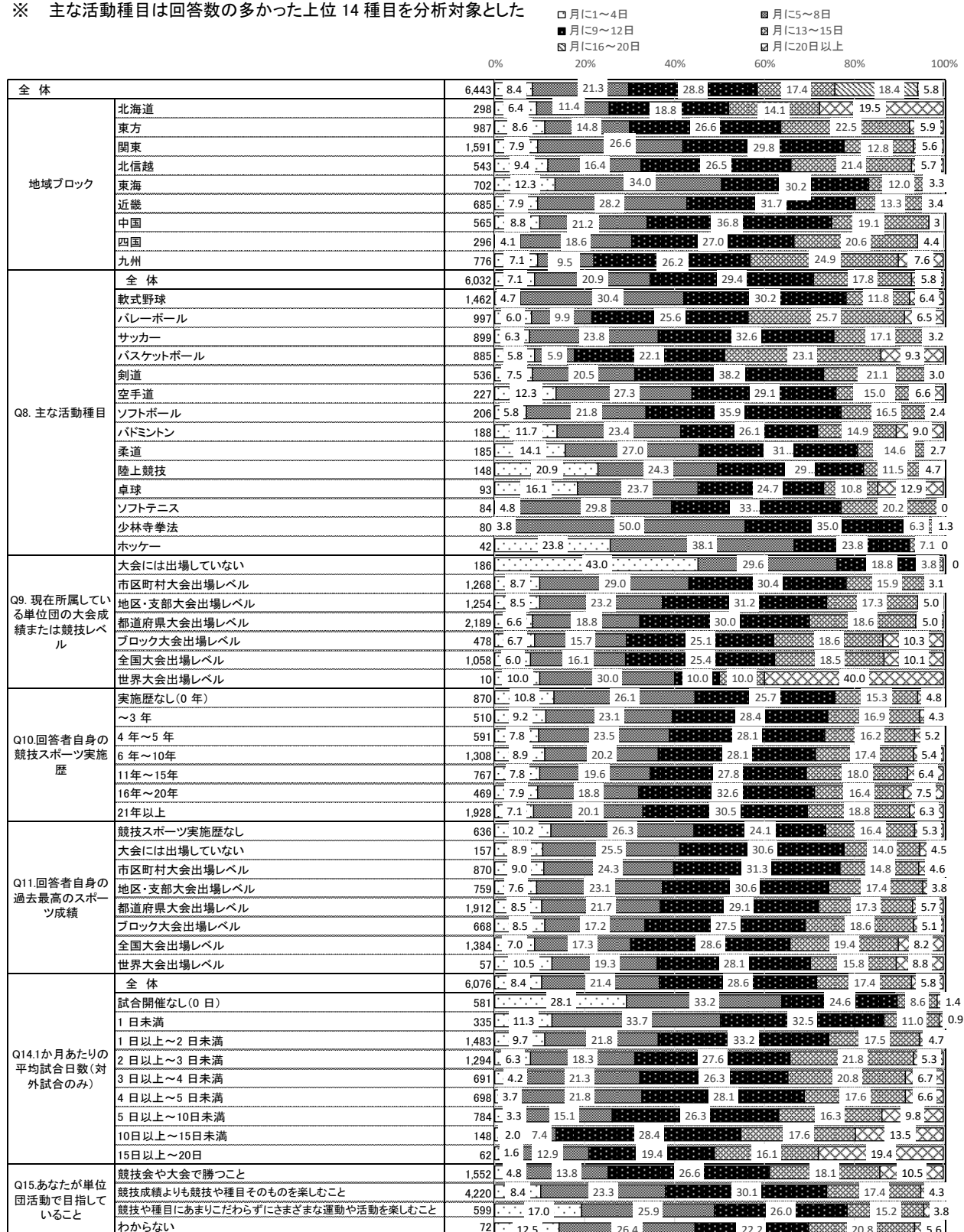


n=6443

[クロス] Q12. 単位団の活動日数 ×

- | | |
|--------------------|----------------------|
| Q1. 都道府県(地域ブロック) | Q11. 回答者の過去最高スポーツ成績 |
| Q8. 主な活動種目(14種目)* | Q14. 1か月あたりの平均試合日数 |
| Q9. 単位団の大会成績は競技レベル | Q15. 単位団が活動で目指していること |
| Q10. 回答者の競技スポーツ歴 | |

※ 主な活動種目は回答数の多かった上位 14 種目を分析対象とした



[クロス] Q12×Q13.日本スポーツ少年団活動範囲※1 の状況 ×

Q8. 主な活動種目(14種目)※2

Q18. あなたの所属している単位団の活動種目

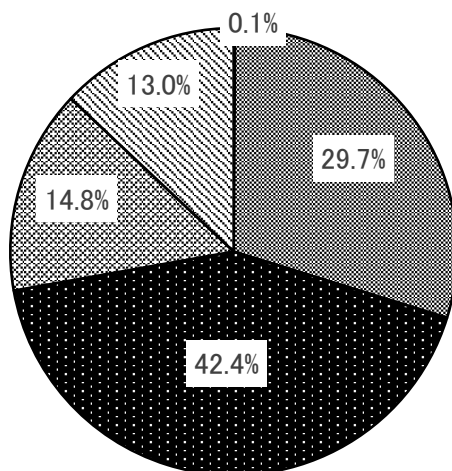
※1 日本スポーツ少年団推奨活動範囲(1日あたり2~3時間程度、1週間に2~3日)

※2 主な活動種目は回答数の多かった上位14種目を分析対象とした

		0%		20%		40%		60%		80%		100%	
		□ 推奨活動範囲内		■ 範囲外(それ以外)									
全体		6,443	10.4	89.6									
Q8. 主な活動種目	全体	6,032	10.7	89.3									
	軟式野球	1,462	4.4	95.6									
	バレーボール	997	13.7	86.3									
	サッカー	899	18.1	81.9									
	バスケットボール	885	13.3	86.7									
	剣道	536	8.4	91.6									
	空手道	227	10.1	89.9									
	ソフトボール	206	11.7	88.3									
	バドミントン	188	14.4	85.6									
	柔道	185	4.9	95.1									
	陸上競技	148	4.1	95.9									
	卓球	93	10.8	89.2									
	ソフトテニス	84	9.5	90.5									
	少林寺拳法	80	6.3	93.8									
	ホッケー	42	14.3	85.7									
Q18. あなたの所属している単位団の活動種目	軟式野球・剣道・バレーボール・ホッケー・サッカーのいずれか【全国スポーツ少年団競技別交流大会を実施している競技】	4,190	10.5	89.5									
	上記1.に記載の5競技以外の競技【全国スポーツ少年団競技別交流大会を実施していない競技】	2,253	10.1	89.9									

Q13. 単位団の1回の平均活動時間

- 30分以下
- 2時間以上3時間未満
- ▨ 1時間以上2時間未満
- ▩ 3時間以上4時間未満
- ▧ 4時間以上

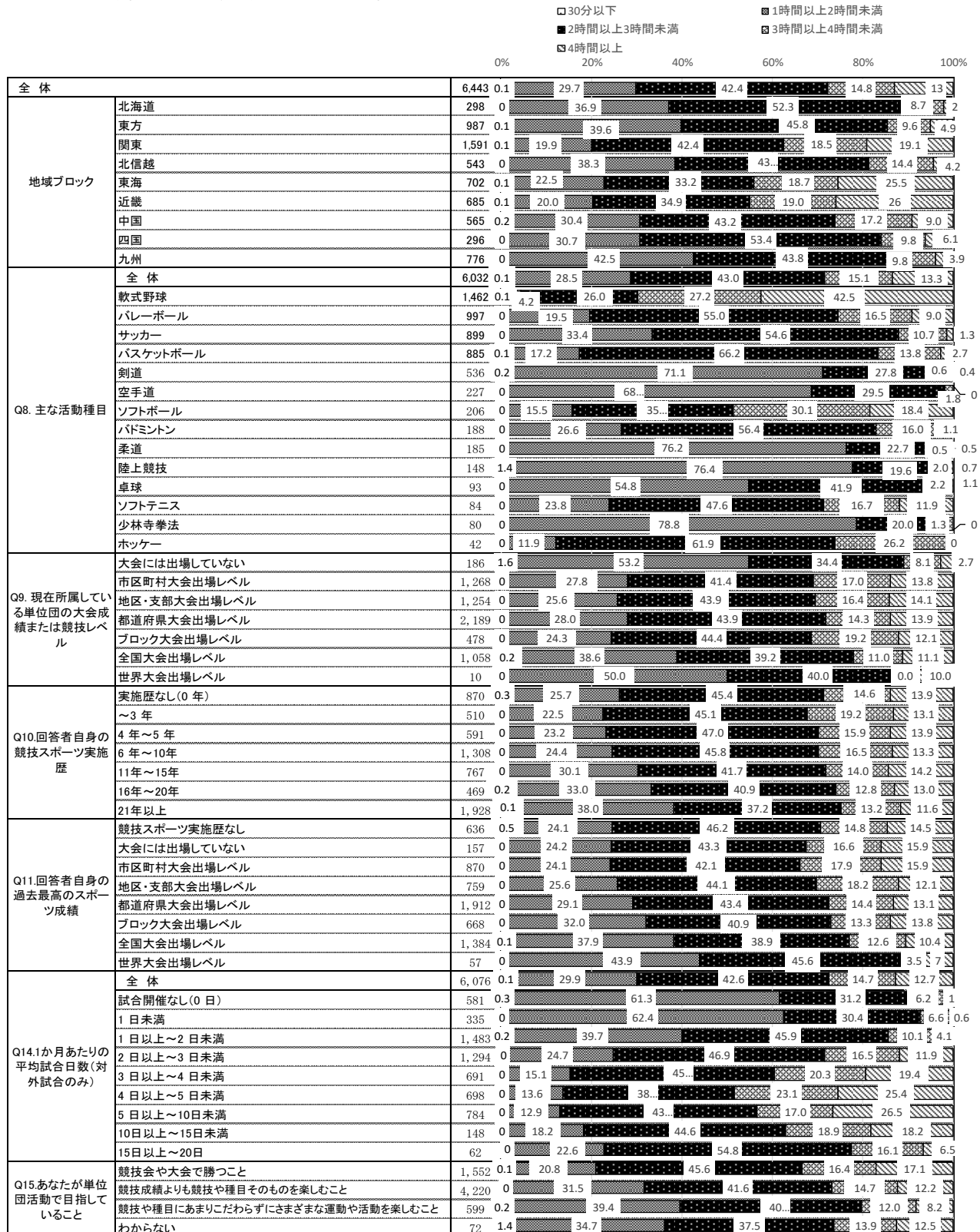


n=6443

[クロス] Q13. 単位団の1回の平均活動時間 ×

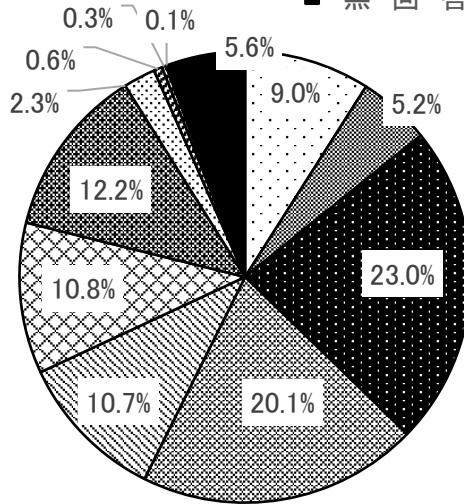
- | | |
|--------------------|----------------------|
| Q1. 都道府県(地域ブロック) | Q11. 回答者の過去最高スポーツ成績 |
| Q8. 主な活動種目(14種目)* | Q14. 1か月あたりの平均試合日数 |
| Q9. 単位団の大会成績は競技レベル | Q15. 単位団が活動で目指していること |
| Q10. 回答者の競技スポーツ歴 | |

※ 主な活動種目は回答数の多かった上位14種目を分析対象とした



Q14. 1 か月あたりの平均試合日数(対外試合のみ)

- 試合開催なし(0日)
- 1日以上～2日未満
- ▨ 3日以上～4日未満
- ▩ 5日以上～10日未満
- ▧ 15日以上～20日未満
- 25日以上
- ▩ 1日未満
- ▨ 2日以上～3日未満
- ▧ 4日以上～5日未満
- ▩ 10日以上～15日未満
- ▧ 20日以上～25日未満
- 無回答・不明



n=6443

※Q14. クロス集計の対象者は「0日(試合開催なし)～20日」に限定

[クロス] Q14. 1 か月あたりの平均試合日数(対外試合のみ) ×

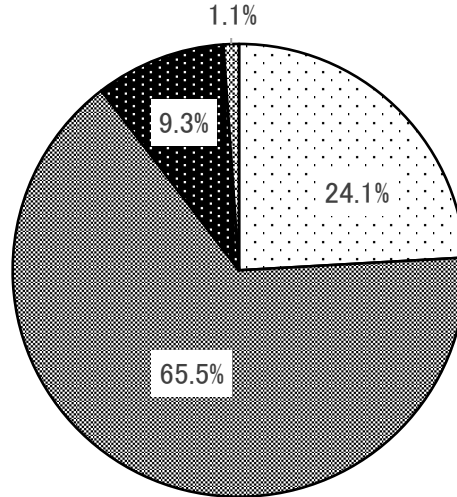
Q8. 主な活動種目(14種目)※
Q18. あなたの所属している単位団の活動種目

※ 主な活動種目は回答数の多かった上位 14 種目を分析対象とした



Q15. 単位団活動で目指していること

- 競技会や大会で勝つこと
- 競技成績よりも競技や種目そのものを楽しむこと
- 競技や種目にあまりこだわらずにさまざまな運動や活動を楽しむこと
- わからない

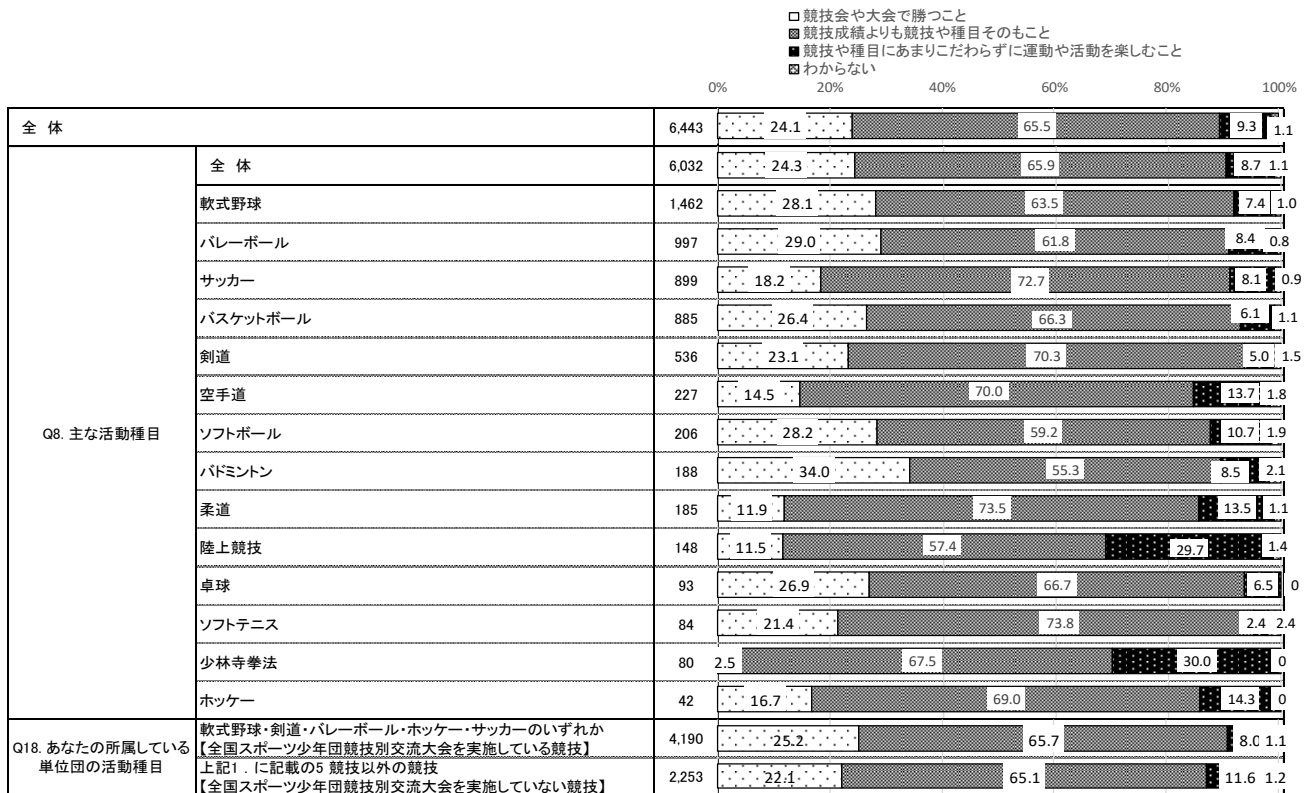


n=6443

[クロス] Q15. 単位団活動で目指していること×

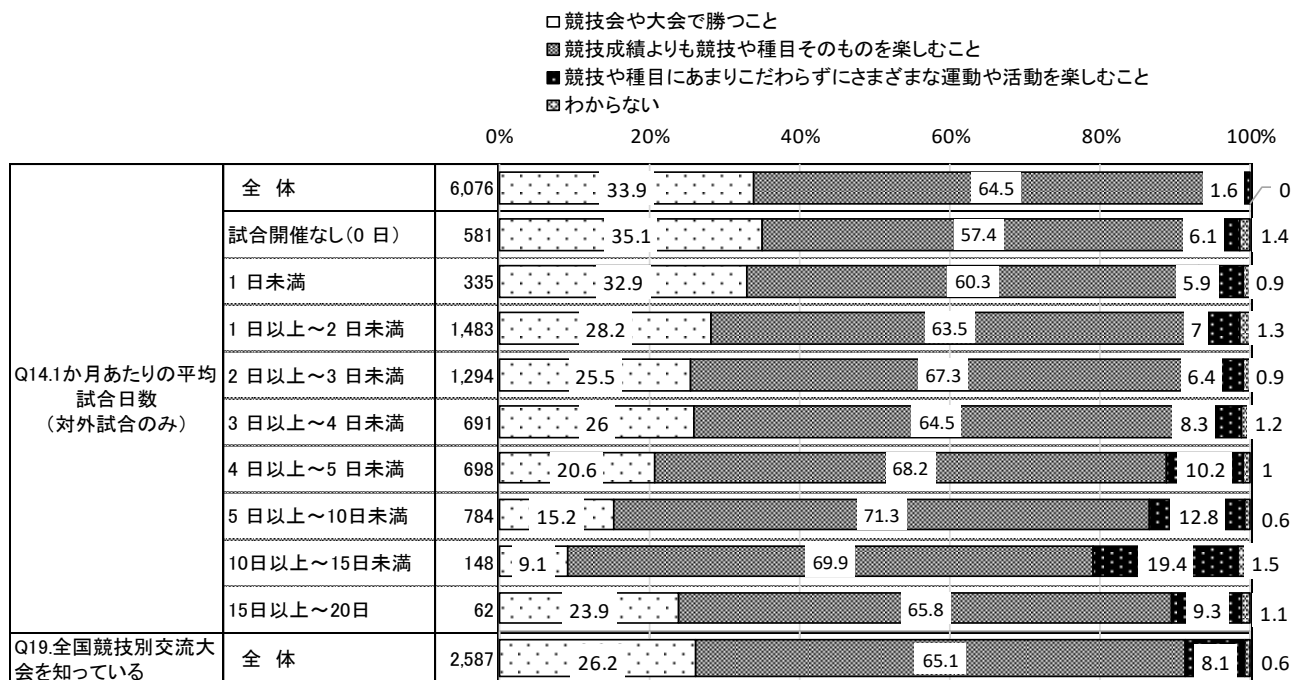
Q8. 主な活動種目(14種目)※
Q18. あなたの所属している単位団の活動種目

※ 主な活動種目は回答数の多かった上位 14 種目を分析対象とした



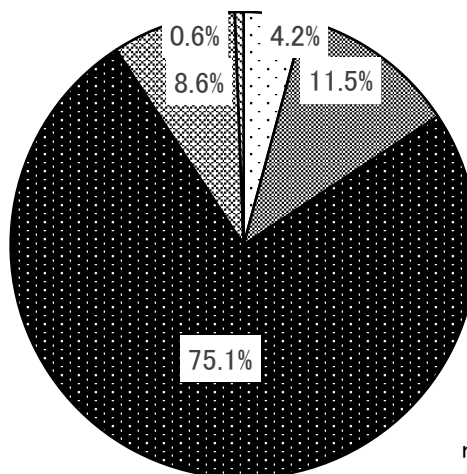
[クロス] Q15. 単位団活動で目指していること ×

Q14. 1か月あたりの平均試合日数
Q19.全国競技別交流大会を知ってる(知っている方のみ)



Q16. 所属する単位団の現在の活動日数についての考え方

- もっと増やしたい
- 少し増やしたい
- 丁度良い
- 少し減らしたい
- もっと減らしたい

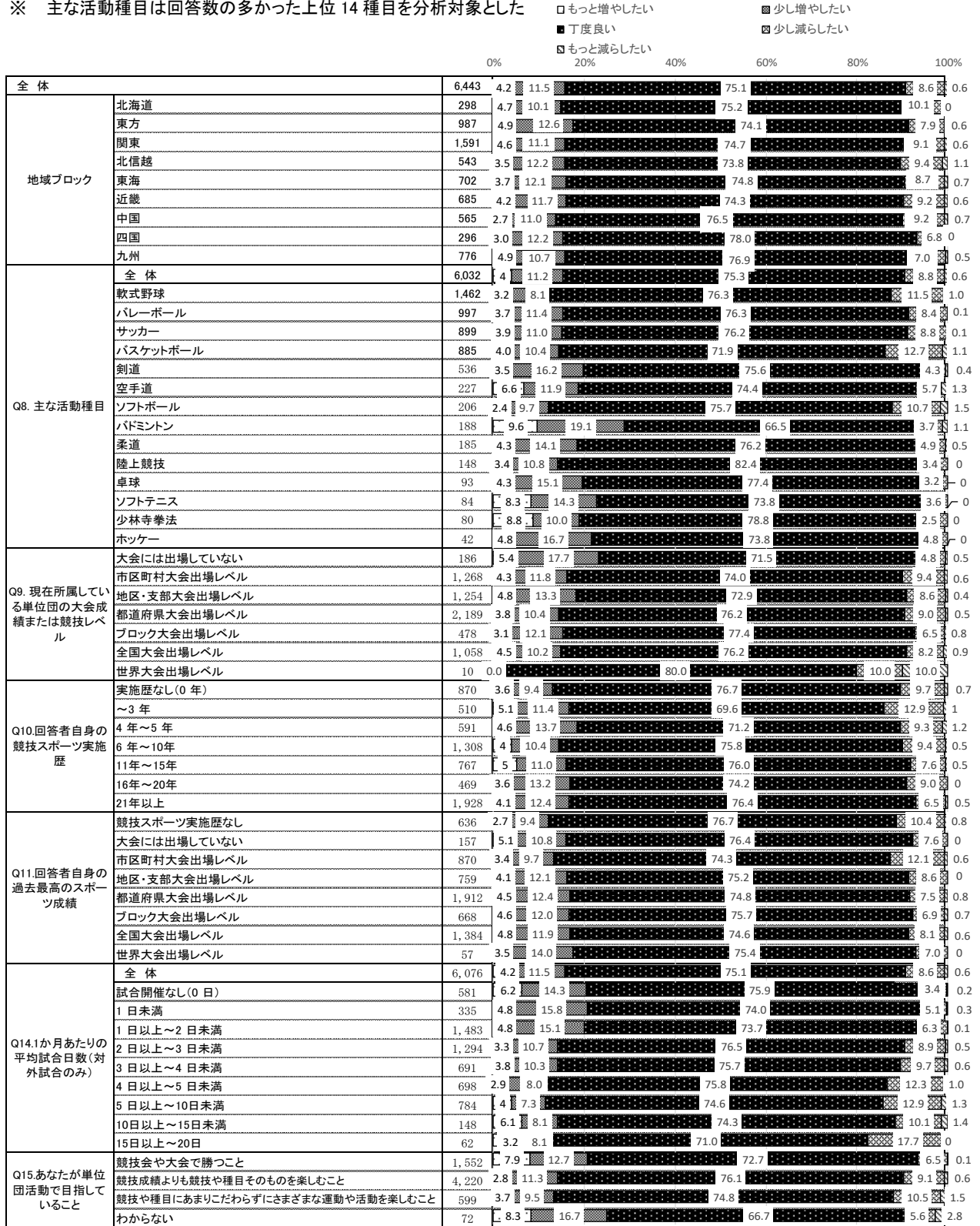


n=6443

[クロス] Q16. 所属する単位団の現在の活動日数についての考え方 ×

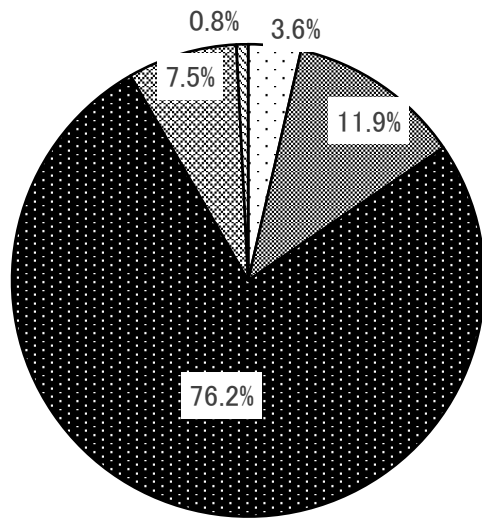
Q1. 都道府県(地域ブロック)	Q11. 回答者の過去最高スポーツ成績
Q8. 主な活動種目(14種目)*	Q14. 1カ月あたりの平均試合日数
Q9. 単位団の大会成績は競技レベル	Q15. 単位団が活動で目指していること
Q10. 回答者の競技スポーツ歴	

* 主な活動種目は回答数の多かった上位 14 種目を分析対象とした



Q17. 所属する単位団の現在の活動時間についての考え方

- もっと増やしたい
- ▨ 少し増やしたい
- 丁度良い
- ▩ 少し減らしたい
- ▧ もっと減らしたい

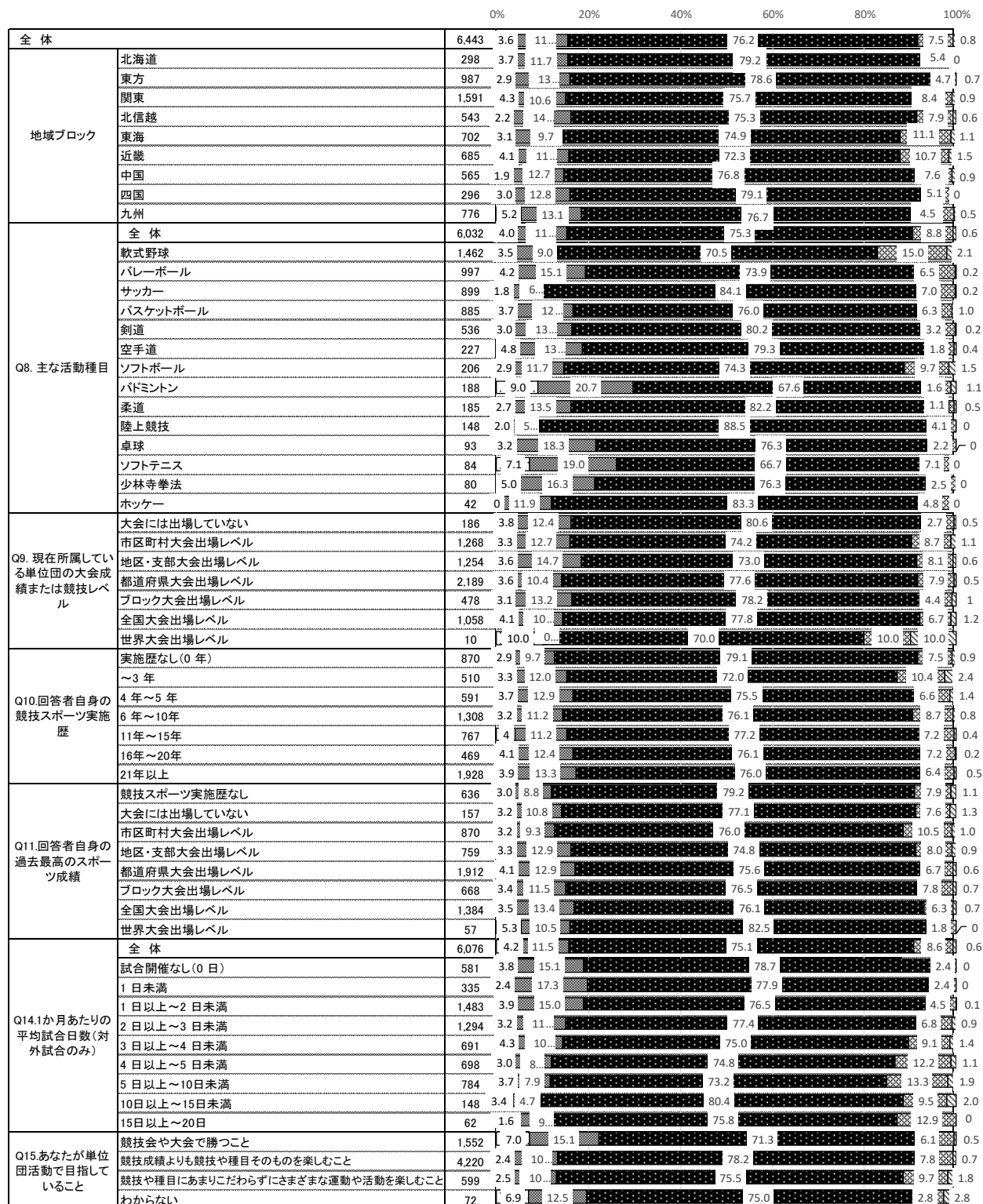


[クロス] Q17. 所属する単位団の現在の活動時間についての考え方 ×

Q1. 都道府県(地域ブロック) Q11. 回答者の過去最高スポーツ成績
 Q8. 主な活動種目(14種目)※ Q14. 1か月あたりの平均試合日数
 Q9. 単位団の大会成績は競技レベル Q15. 単位団が活動で目指していること
 Q10. 回答者の競技スポーツ歴

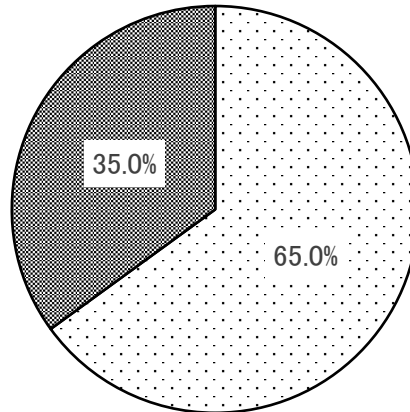
※ 主な活動種目は回答数の多かった上位14種目を分析対象とした

もっと増やしたい 少し増やしたい
 丁度良い 少し減らしたい
 もっと減らしたい



Q18. 所属している単位団の活動種目

- (1) 軟式野球・剣道・バレーボール・ホッケー・サッカー【全国競技別交流大会を実施している競技】
- (2) (1)に記載の5競技以外の競技【全国競技別交流大会を実施していない競技】

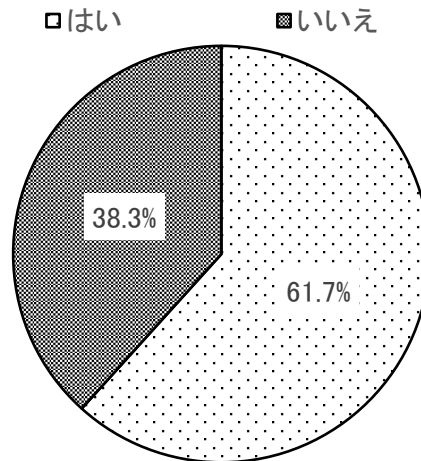


n=6443

3. 全国スポーツ少年団競技別交流大会に関して

Q19. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の認知状況

(対象者: Q18=軟式野球・剣道・バレーボール・ホッケー・サッカー【全国競技別交流大会を実施している競技】)

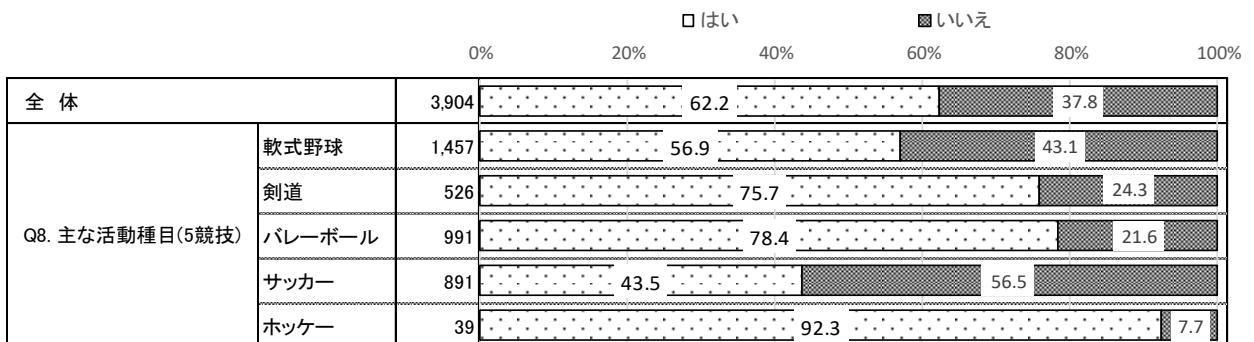


n=4190

[クロス] Q19. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の認知状況 ×

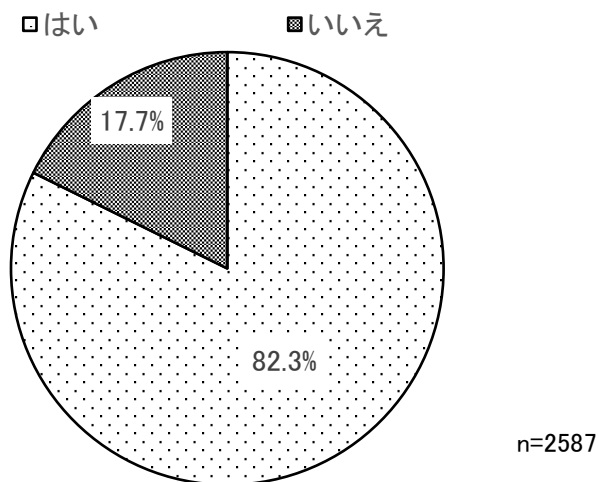
Q8. 主な活動種目(競技別交流大会5種目)※

※ 全国競技別交流大会を実施している5種目を分析対象とした



Q20. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の“趣旨”の認知状況

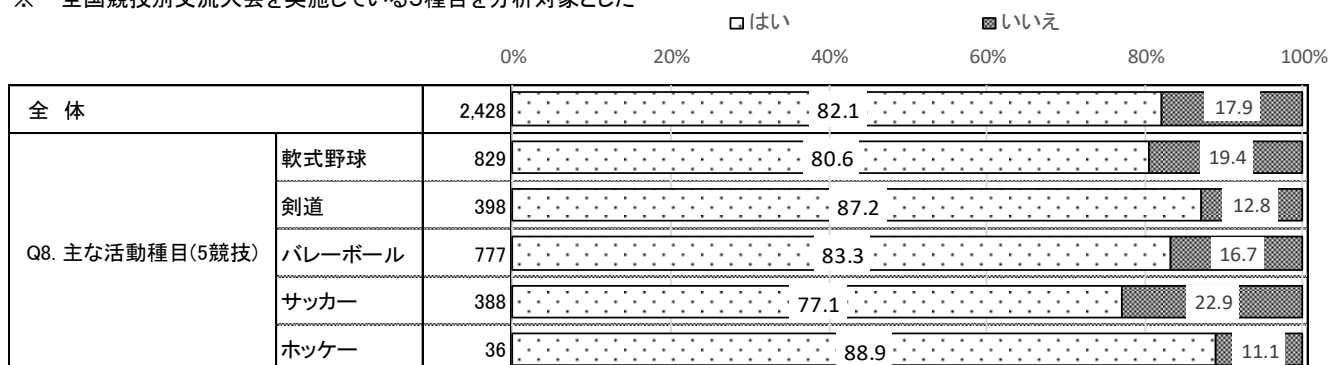
(対象者: Q19=「全国競技別交流大会 ※大会自体の認知」: 知っている(はい))



[クロス] Q20. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の“趣旨”の認知状況 ×

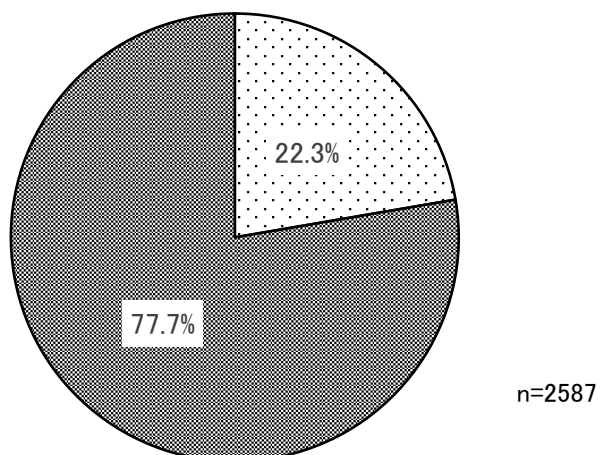
Q8. 主な活動種目(競技別交流大会 5 種目)※

※ 全国競技別交流大会を実施している5種目を分析対象とした



Q21. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加有無
 (対象者: Q19=「全国競技別交流大会」: 知っている(はい))

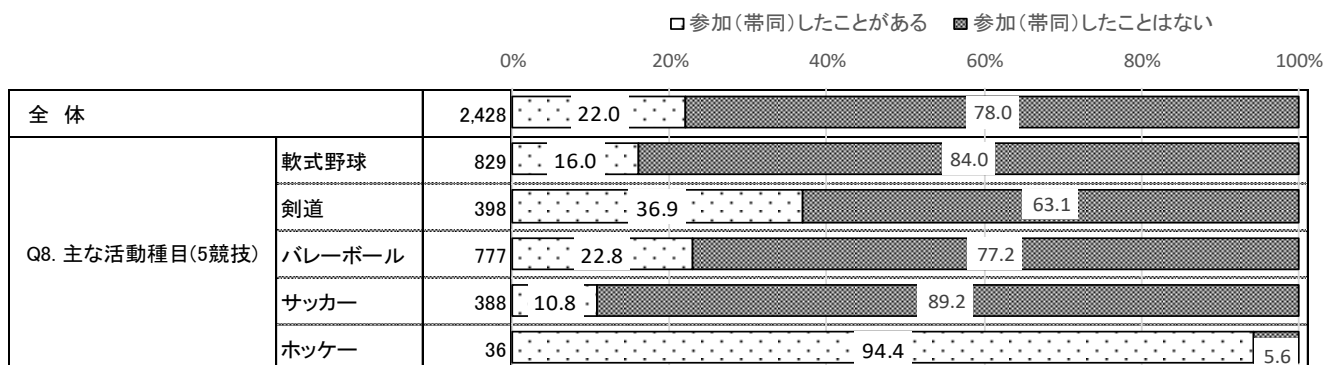
□ 参加(帯同)したことがある ■ 参加(帯同)したことはない



[クロス] Q21. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加有無 ×

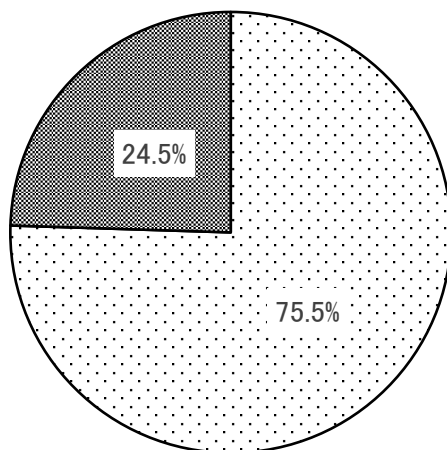
Q8. 主な活動種目(競技別交流大会 5 種目)*

※ 全国競技別交流大会を実施している5種目を分析対象とした



Q22. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加意向
 (対象者: Q19=「全国競技別交流大会」: 知っている(はい))

- はい: 参加させたいと思う
- いいえ: 参加させたいと思わない

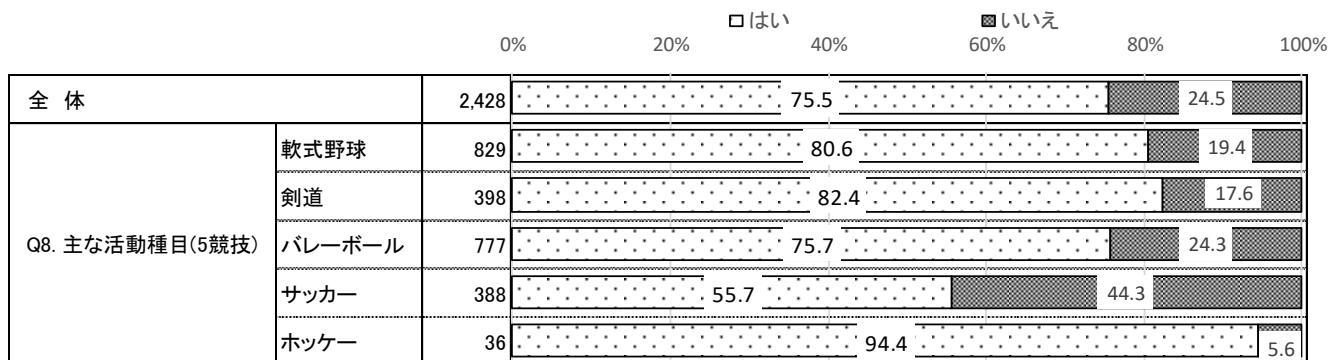


n=2587

[クロス] Q22. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加意向 ×

Q8. 主な活動種目(競技別交流大会 5 種目)*

* 全国競技別交流大会を実施している5種目を分析対象とした



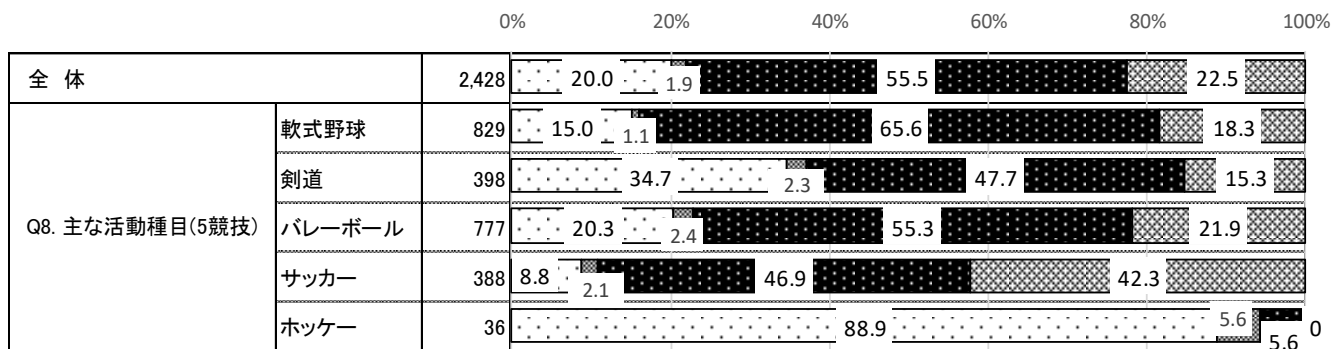
[クロス] Q21.全国競技別交流大会の参加有無×

Q22. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加意向×

Q8. 主な活動種目(競技別交流大会 5 種目)*

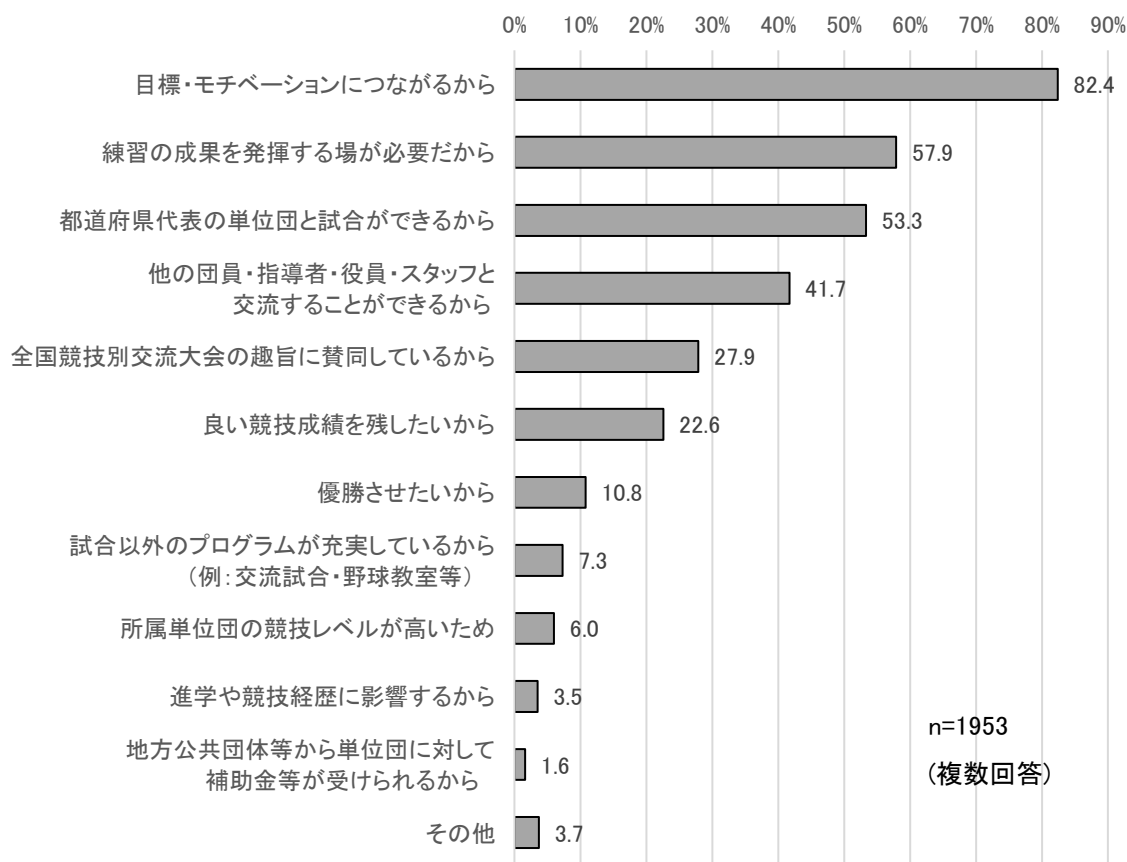
※ 全国競技別交流大会を実施している5種目を分析対象とした

- 参加(帯同)したことがある×「参加させたいと思う」
- ▣ 参加(帯同)したことがある×「参加させたいと思わない」
- 参加(帯同)したことはない×「参加させたいと思う」
- ▤ 参加(帯同)したことはない×「参加させたいと思わない」



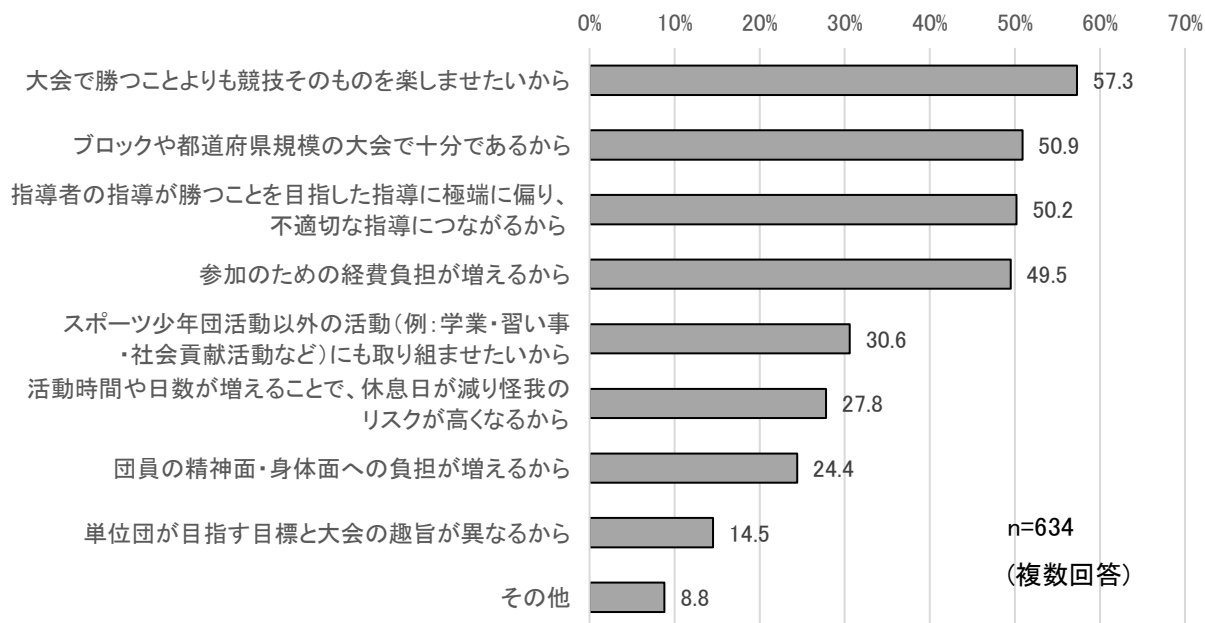
Q23. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加意向「有」の理由

(対象者: Q22=「全国競技別交流大会」: 参加意向「有」(はい))



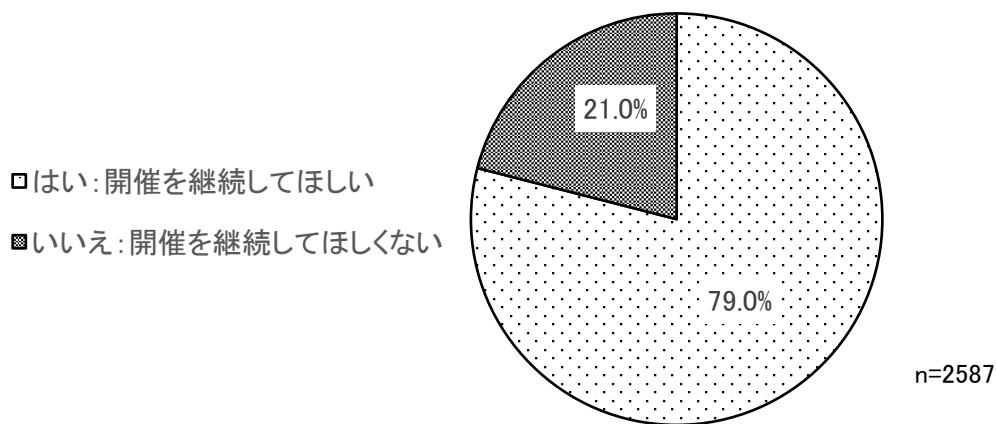
Q24. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の参加意向「無」の理由

(対象者: Q22=「全国競技別交流大会」: 参加意向「無」(いいえ))



Q25. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の開催継続の意向

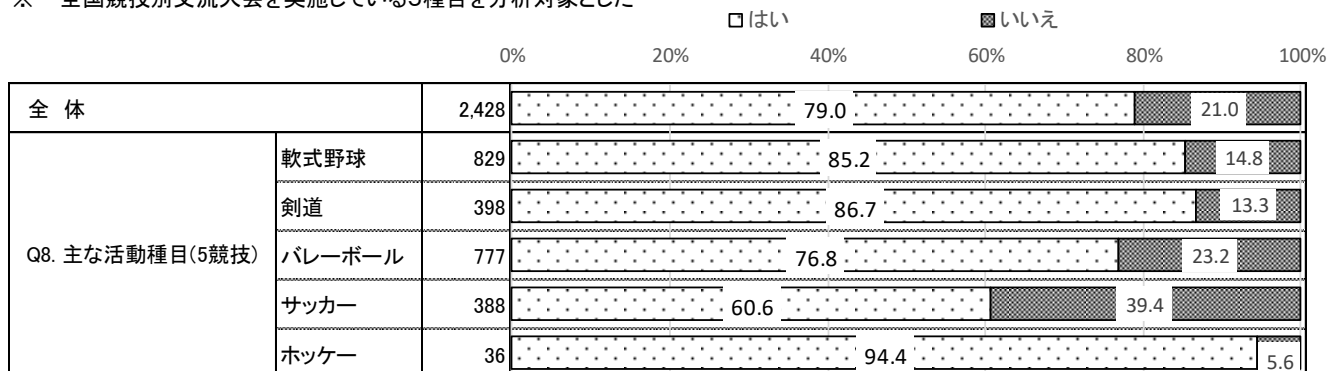
(対象者: Q19=「全国競技別交流大会」: 知っている(はい))



[クロス] Q25. 全国スポーツ少年団競技別交流大会の開催継続の意向 ×

Q8. 主な活動種目(競技別交流大会 5 種目) ※

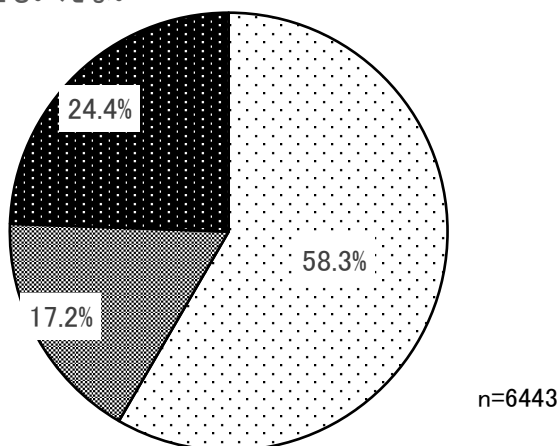
※ 全国競技別交流大会を実施している5種目を分析対象とした



4. 全国規模大会の必要性について

Q28. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無

□ 必要である
■ 必要ではない
■ どちらともいえない



[クロス] Q28. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無 ×

Q1.都道府県(地域ブロック)	Q7.単位団の活動タイプ
Q3.登録区分	Q8.主な活動種目(14 種目)※
Q4.スポーツ少年団での活動年数	Q9.単位団の大会成績は競技レベル
Q5.性別	Q10.回答者自身の競技スポーツ歴
Q6.年代	

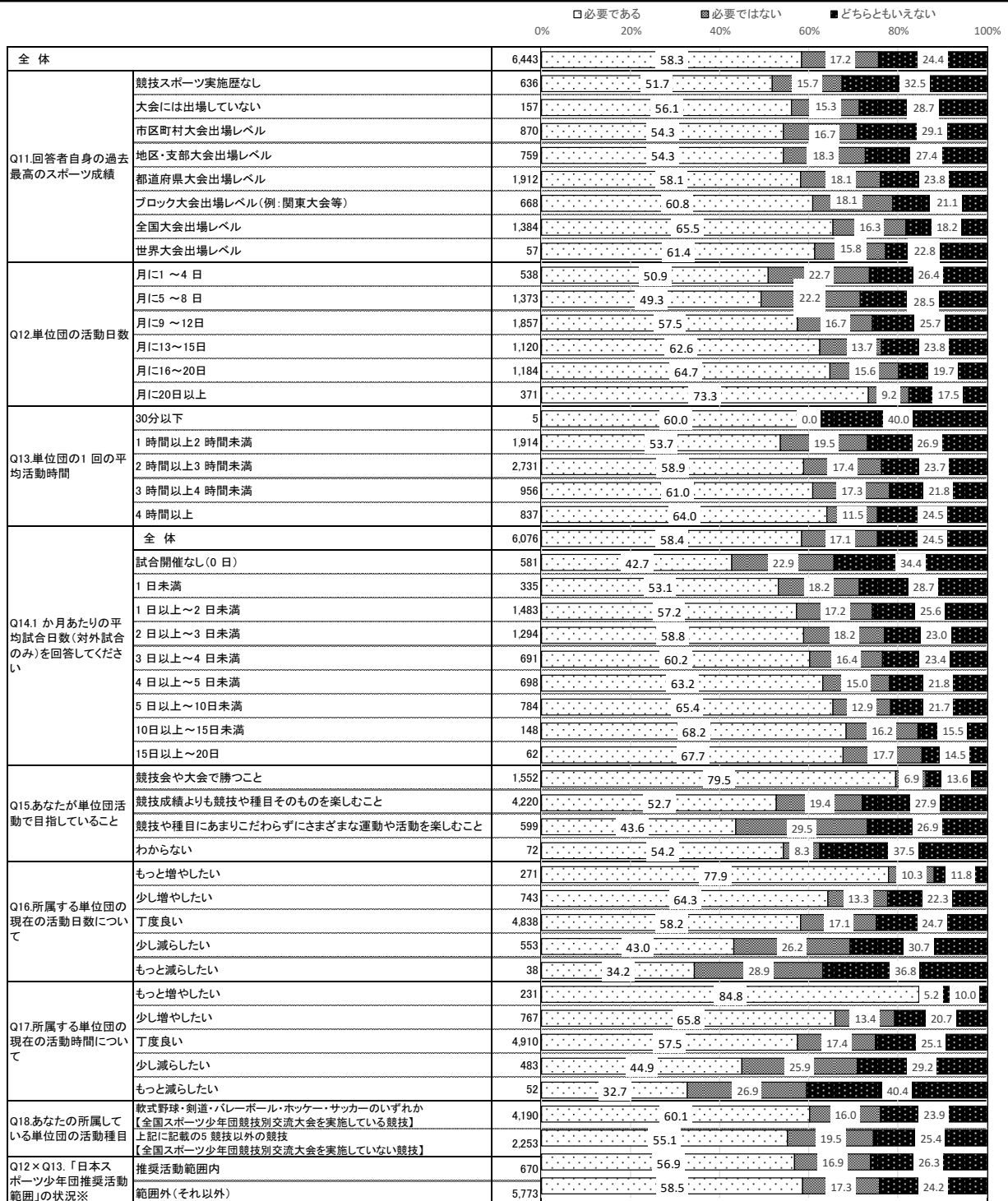
※ 主な活動種目は回答数の多かった上位 14 種目を分析対象とした

⇒グラフ表は次ページにて記載

			0%	20%	40%	60%	80%	100%
			□ 必要である	■ 必要ではない	■ どちらともいえない			
全体		6,443	58.3	17.2	24.4			
地域ブロック	北海道	298	58.7	16.4	24.8			
	東方	987	59.4	17.6	23.0			
	関東	1,591	55.1	19.0	25.9			
	北信越	543	61.0	14.7	24.3			
	東海	702	55.4	18.4	26.2			
	近畿	685	59.1	16.2	24.7			
	中国	565	55.6	18.6	25.8			
	四国	296	68.2	9.8	22.0			
	九州	776	61.7	16.9	21.4			
Q3. 登録区分	指導者	3,721	56.1	20.8	23.1			
	役員	848	59.8	16.5	23.7			
	スタッフ	375	65.6	11.2	23.2			
	団員(※過去に大会に参加した高校生・大学生(リーダー)を想定)	40	60.0	12.5	27.5			
	団員の保護者	1,459	61.3	10.3	28.4			
Q4. スポーツ少年団での活動年数	3年未満	716	59.8	11.9	28.4			
	3年以上～5年未満	887	62.5	12.2	25.4			
	5年以上～10年未満	1,476	63.1	12.0	24.9			
	10年以上～20年未満	1,437	59.4	18.9	21.6			
	20年以上～30年未満	994	53.7	21.2	25.1			
	30年以上	926	48.8	27.5	23.7			
	不明・無回答	7	57.1	28.6	14.3			
Q5. 性別	男性	4,620	58.5	19.5	21.9			
	女性	1,754	57.9	11.5	30.7			
	回答しない	69	55.1	8.7	36.2			
Q6. 年代	10代	91	56	12.1	31.9			
	20代	59	76.3	6.8	16.9			
	30代	931	67	9.3	23.6			
	40代	2,824	62.1	13.3	24.6			
	50代	1,420	56.3	19.0	24.7			
	60代	845	44.9	30.5	24.6			
	70代以上	273	38.8	38.1	23.1			
Q7. 単位団の活動タイプ	単一種目型(一つの種目に絞って活動を行っている)	6,145	58.8	16.8	24.3			
	複数種目型(年間を通して複数の種目を行っている)	265	48.7	26.8	24.5			
	わからない	33	39.4	12.1	48.5			
Q8. 主な活動種目	全体	6,032	58.8	17.0	24.1			
	軟式野球	1,462	64.8	11.8	23.3			
	バレーボール	997	61.7	16.2	22.1			
	サッカー	899	44.8	27.5	27.7			
	バスケットボール	885	56.2	19.4	24.4			
	剣道	536	66.6	9.5	23.9			
	空手道	227	61.7	14.1	24.2			
	ソフトボール	206	63.1	17.5	19.4			
	バドミントン	188	60.6	12.2	27.1			
	柔道	185	50.3	20.5	29.2			
	陸上競技	148	46.6	23.0	30.4			
	卓球	93	61.3	24.7	14.0			
	ソフトテニス	84	63.1	20.2	16.7			
	少林寺拳法	80	47.5	23.8	28.8			
	ホッケー	42	81	2.4	16.7			
Q9. 現在所属している単位団の大会成績または競技レベル	大会には出場していない	186	31.2	29.6	39.2			
	市区町村大会出場レベル	1,268	47.7	21.1	31.2			
	地区・支部大会出場レベル	1,254	54.2	18.5	27.3			
	都道府県大会出場レベル	2,189	59.6	17.6	22.8			
	ブロック大会出場レベル(例:関東大会等)	478	65.9	14.2	19.9			
	全国大会出場レベル	1,058	74.9	9.5	15.7			
	世界大会出場レベル	10	40.0	30.0	30.0			
Q10. 回答者自身の競技スポーツ実施歴	実施歴なし(0年)	870	52.3	15.7	32.0			
	～3年	510	56.7	14.5	28.8			
	4年～5年	591	56	16.8	27.2			
	6年～10年	1,308	59.1	16.8	24.1			
	11年～15年	767	63	16.4	20.6			
	16年～20年	469	60.3	20.7	19.0			
21年以上	1,928	59.3	18.5	22.1				

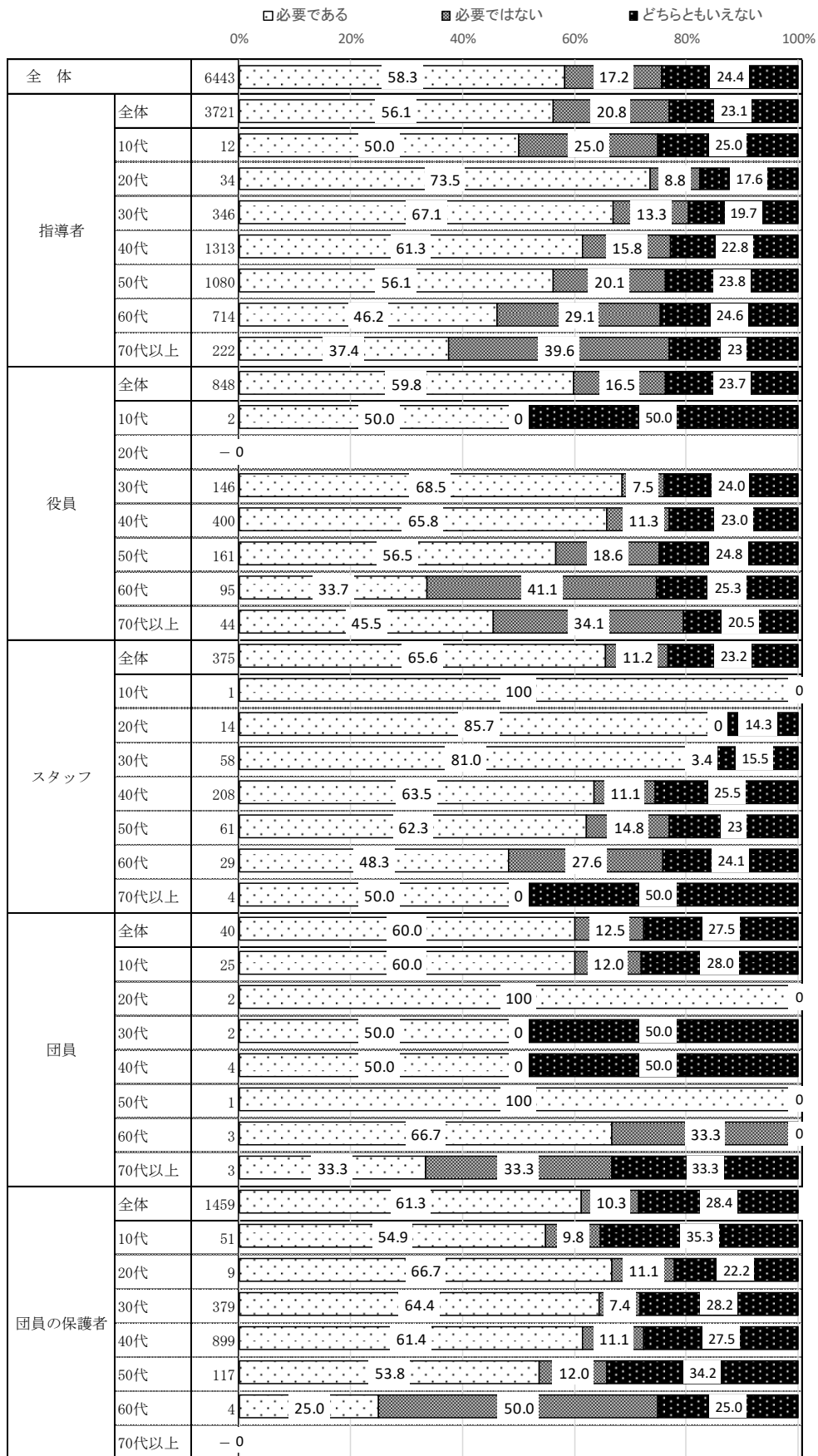
[クロス] Q28. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無 ×

Q11.回答者自身の過去最高スポーツ成績	Q17.活動時間について
Q12.単位団の活動日数	Q18.活動種目
Q13.単位団の1回の平均活動時間	(競技別交流大会5種目とそれ以外)
Q14.1 か月あたりの平均試合日数	Q12. × Q13. (日本スポーツ少年団推奨活動範囲の状況)
Q15.単位団が活動で目指していること	
Q16.活動日数について	

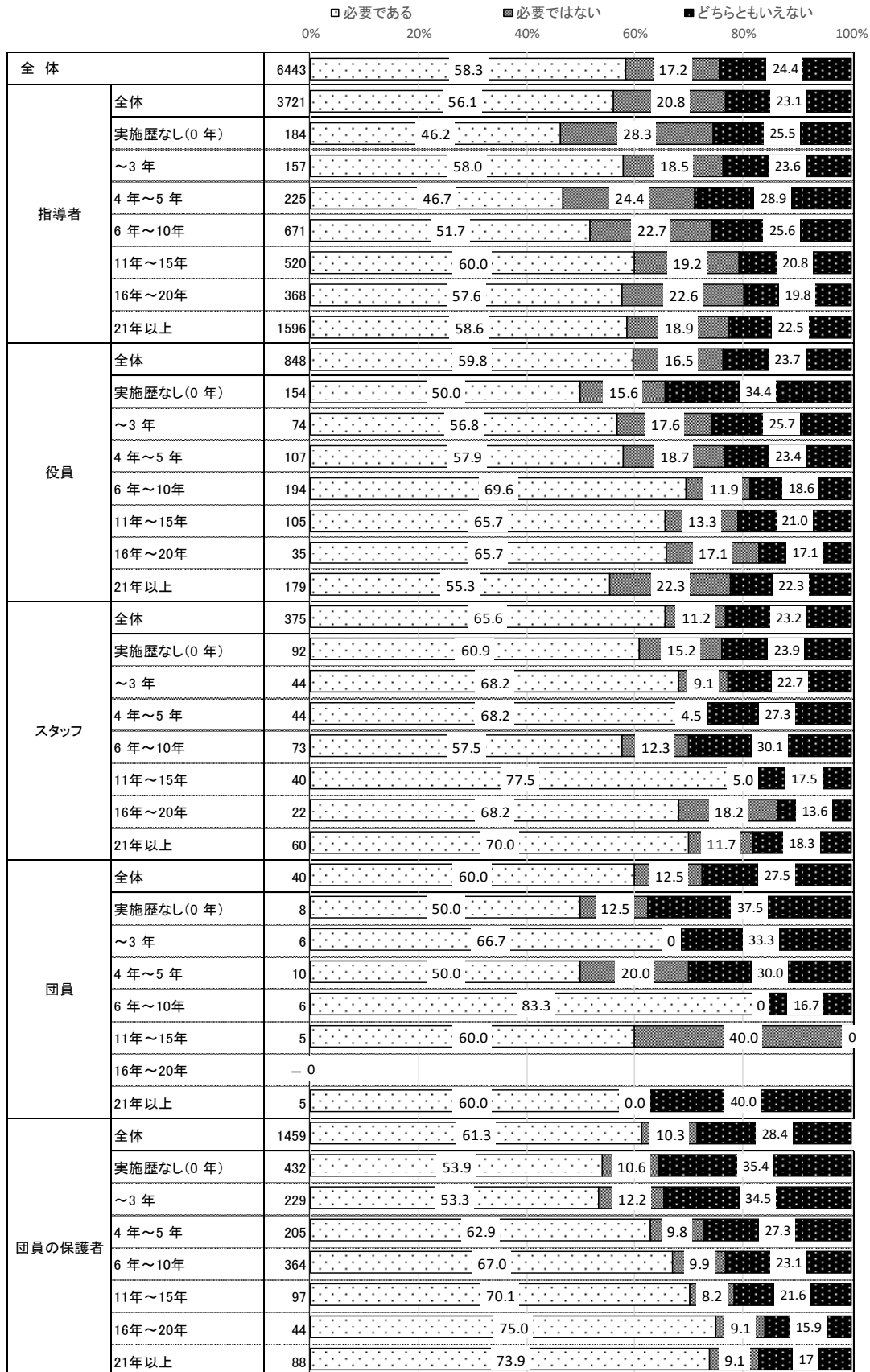


※ Q12 × Q13 日本スポーツ少年団推奨活動範囲: 1日あたり2~3時間程度、1週間に2~3日

[クロス] Q28. 小学生年代における全国規模の大会の必要有無 ×「登録区分×年代」

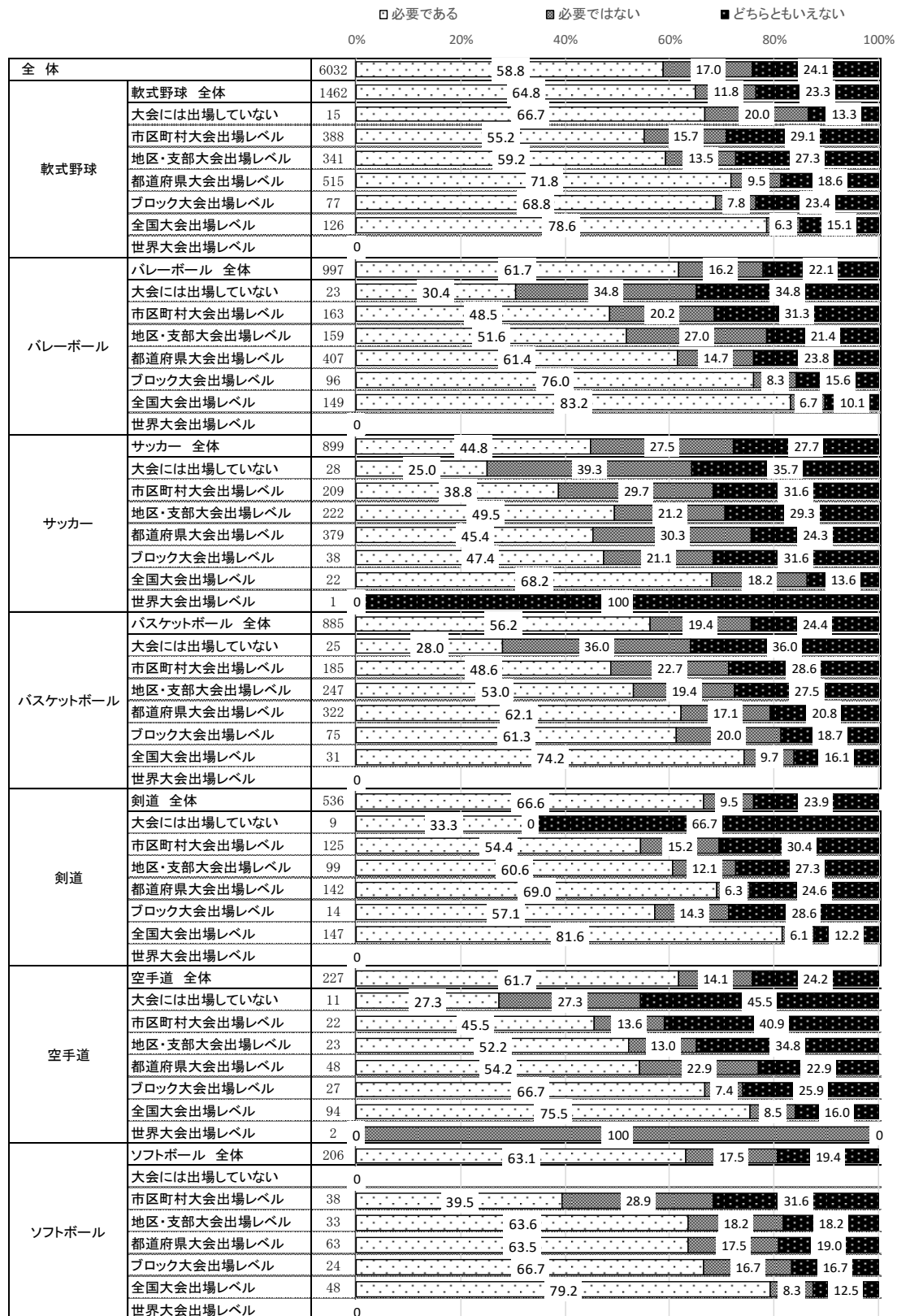


[クロス] Q28. 小学生年代における全国規模大会の必要有無 × 「登録区分×自身のスポーツ実施歴」

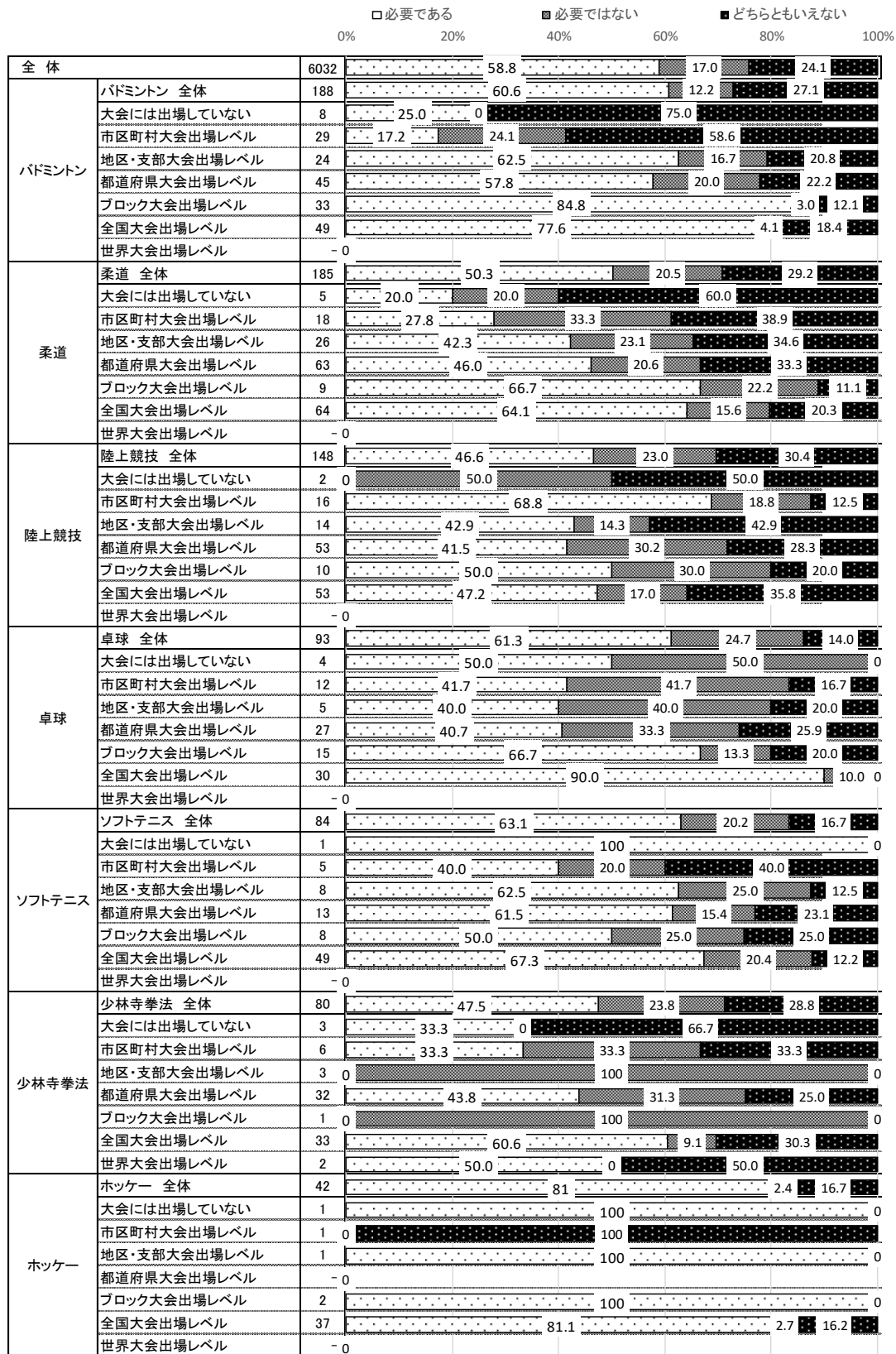


[クロス] Q28. 小学生年代における全国規模大会の必要有無 ×
「主な活動種目(14 種目)* × 単位団の大会成績」

※ 主な活動種目は回答数の多かった上位 14 種目を分析対象とした



⇒次ページにて残りの 7 種目を記載

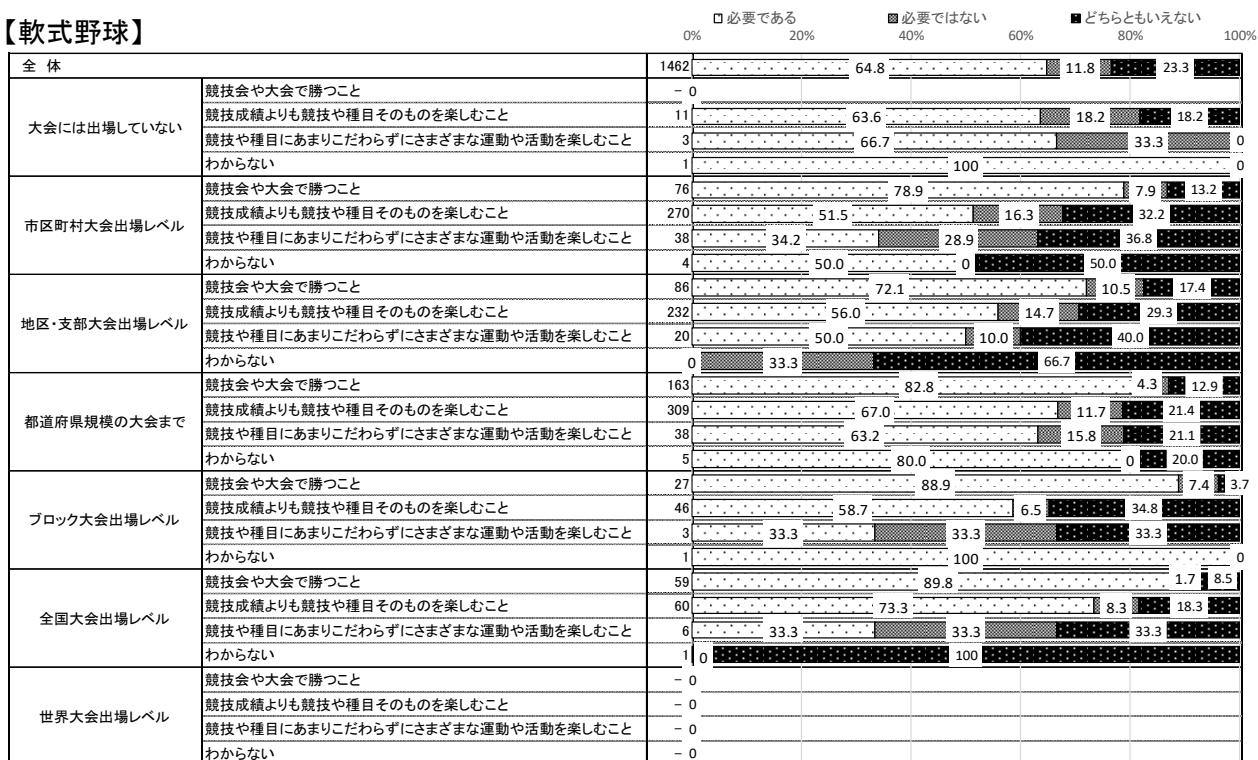


[クロス] Q28. 小学生年代における全国規模大会の必要有無 ×

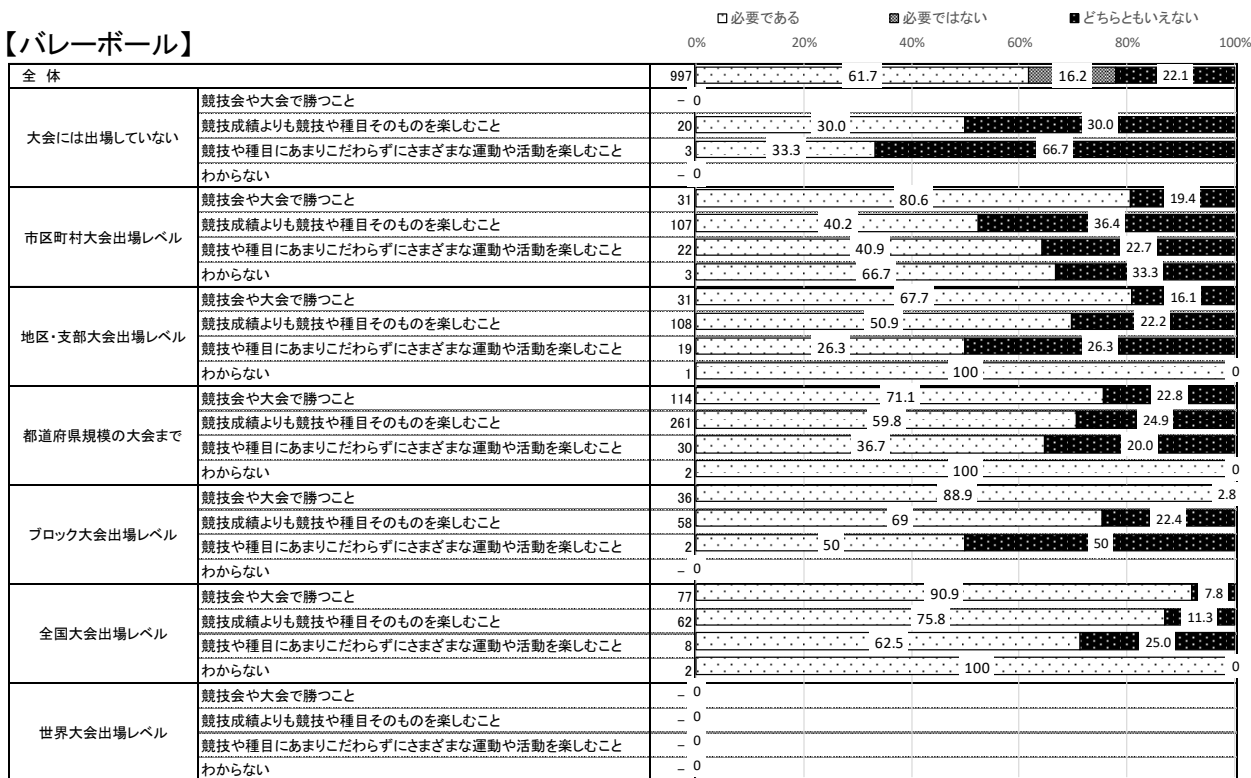
(主な活動種目:14 種目)* × 単位団の大会成績 × 単位団が活動で目指していること

※ 主な活動種目は回答数の多かった上位 14 種目を分析対象とした

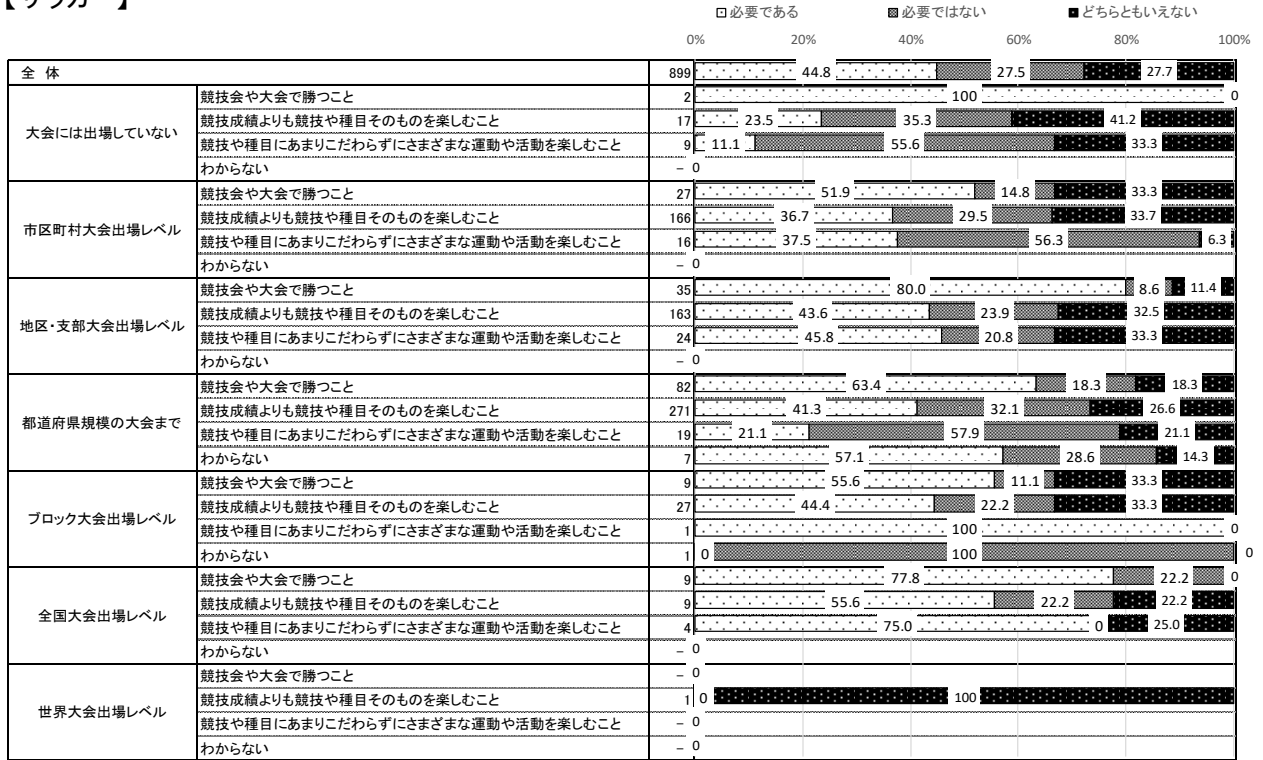
【軟式野球】



【バレーボール】



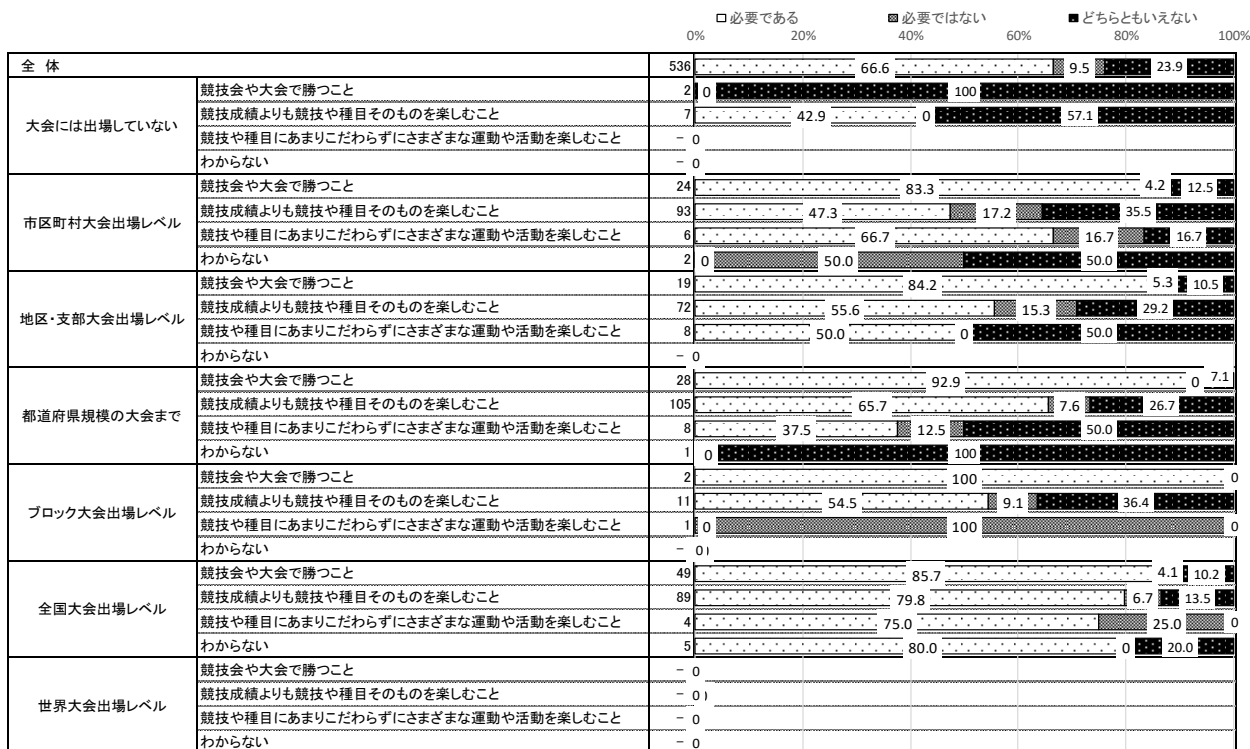
【サッカー】



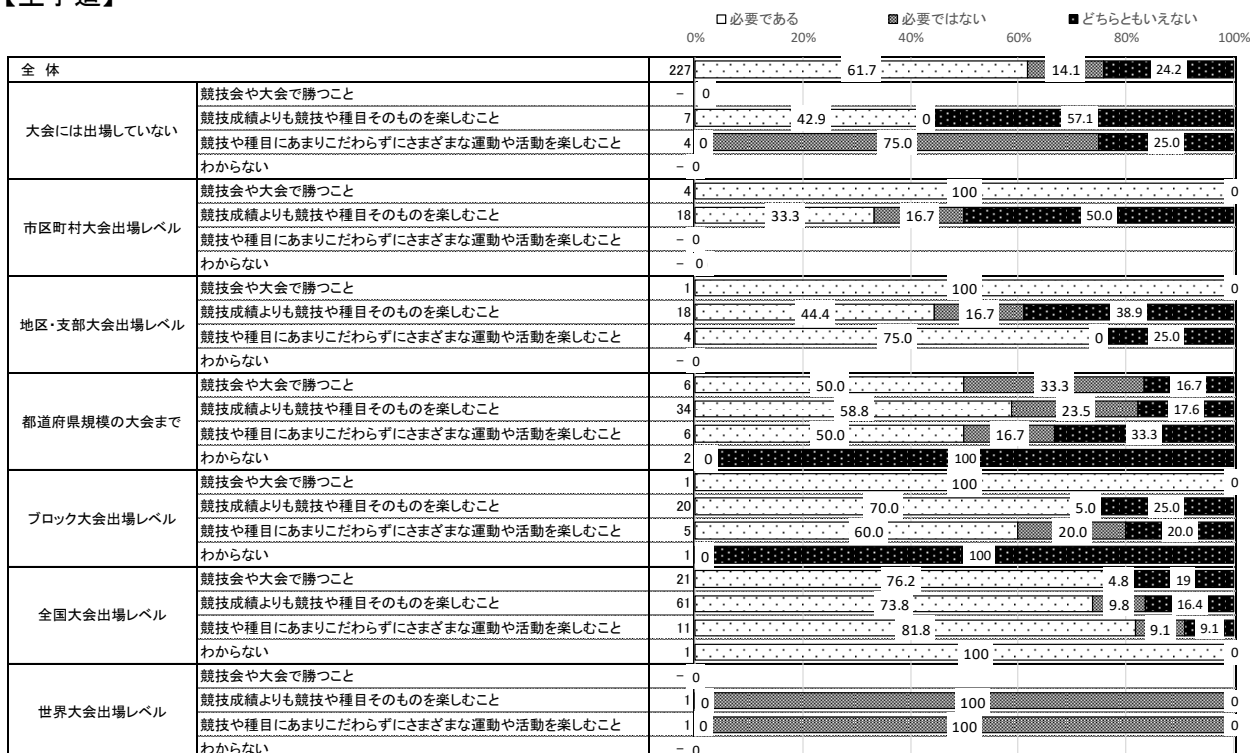
【バスケットボール】



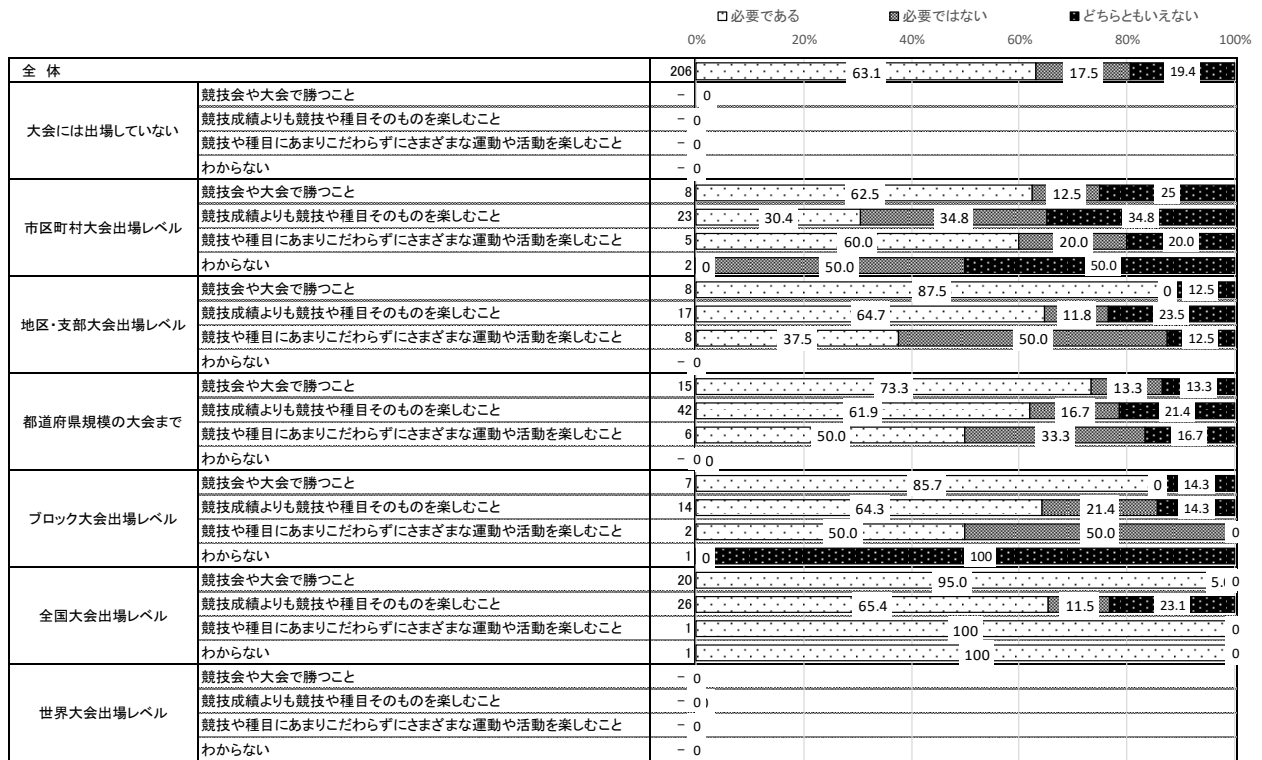
【剣道】



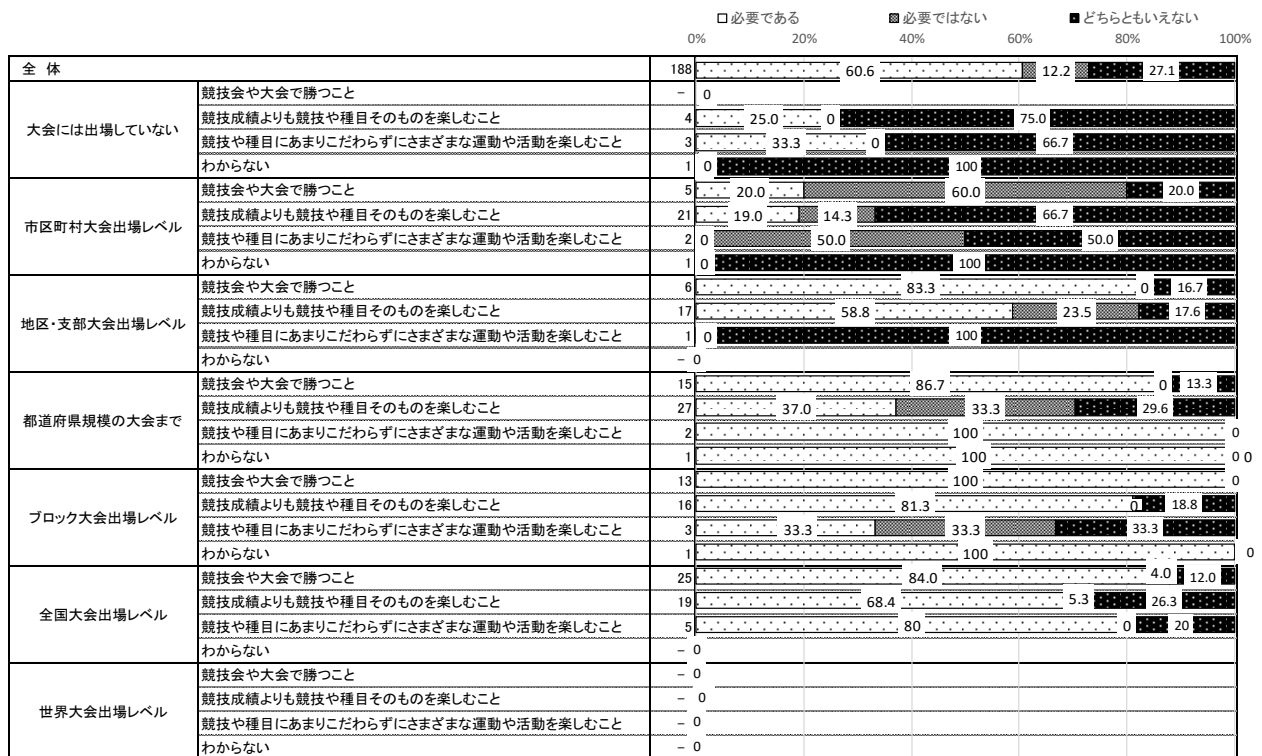
【空手道】



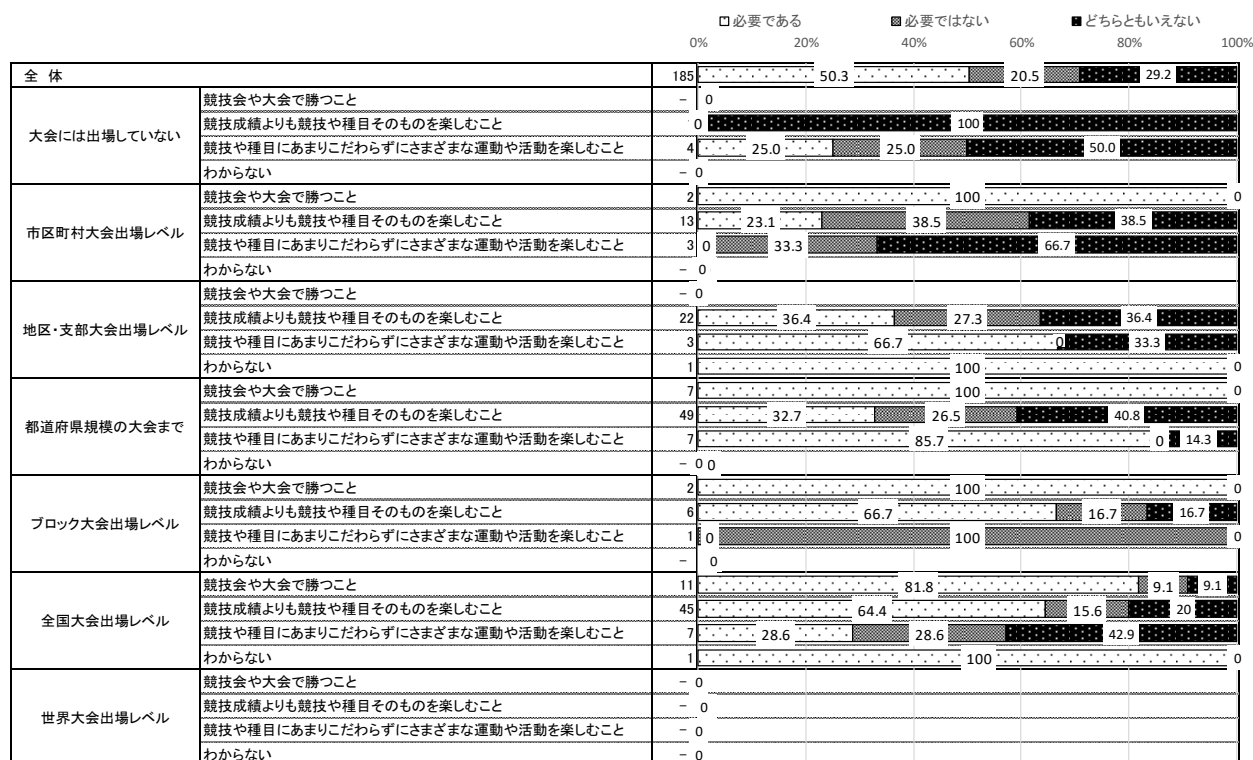
【ソフトボール】



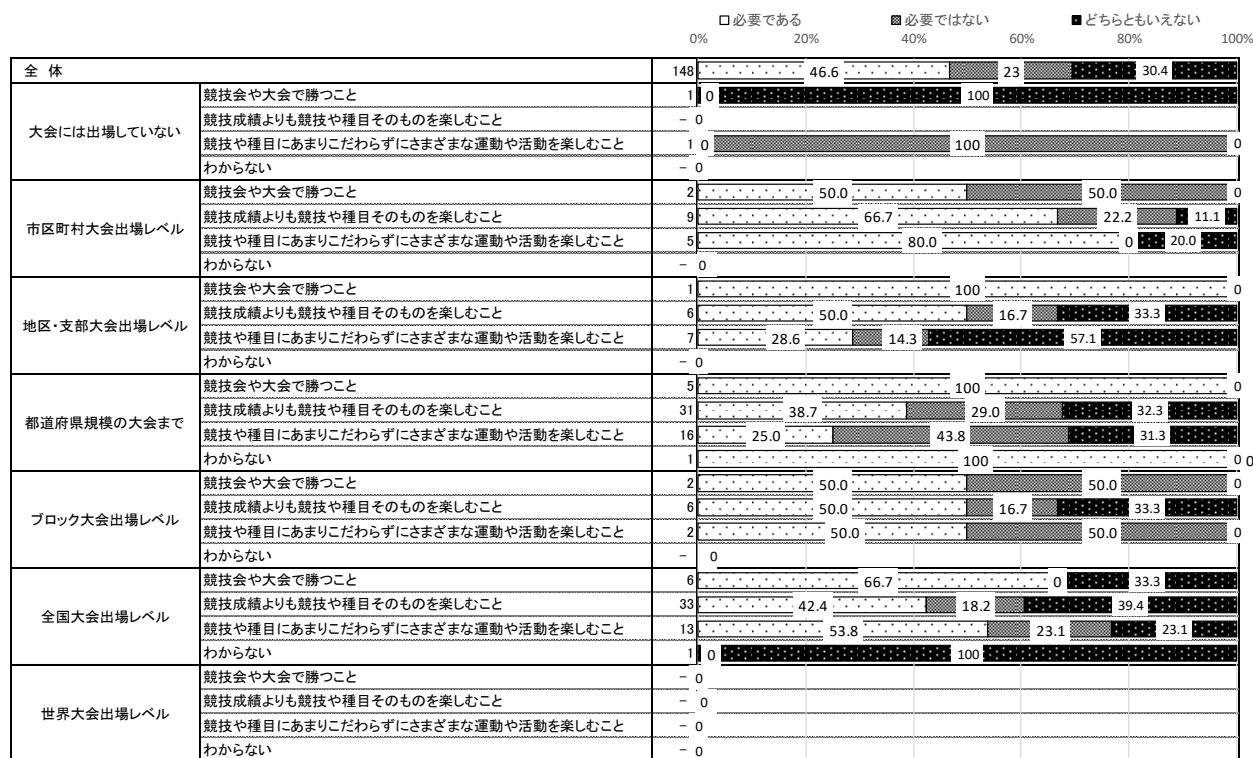
【バドミントン】



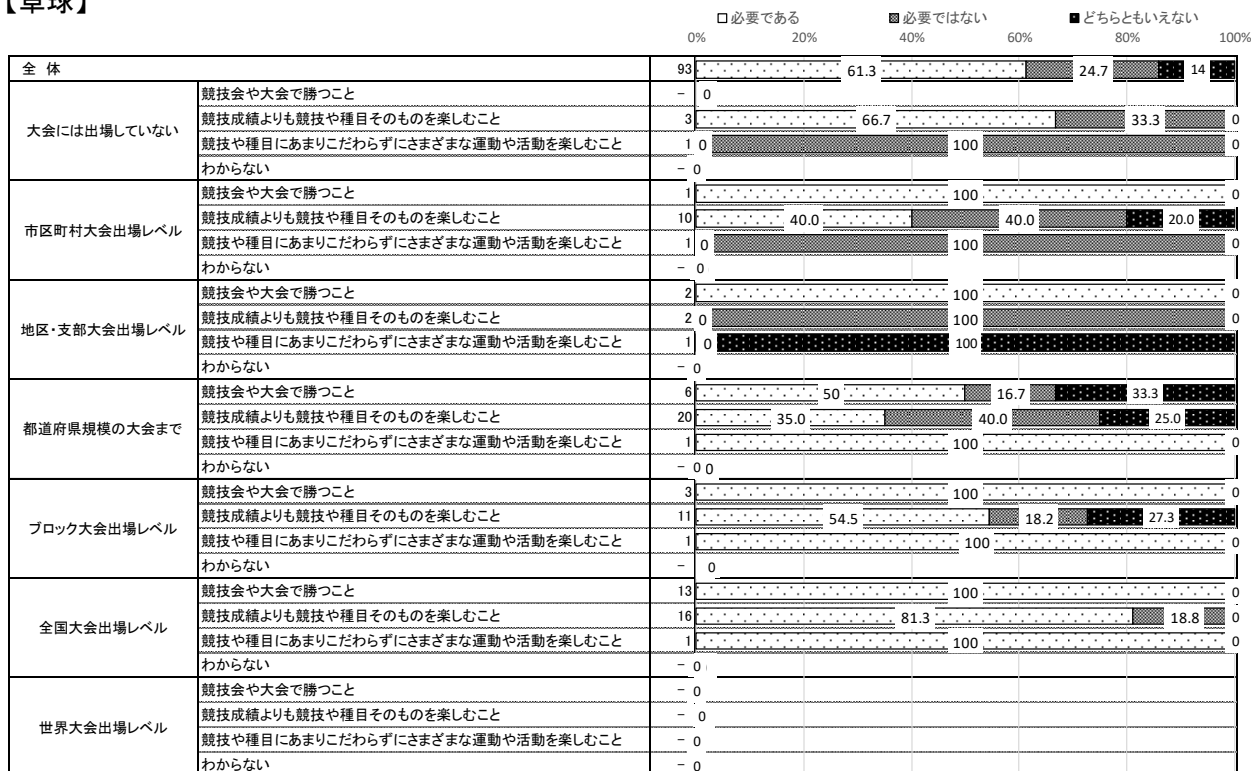
【柔道】



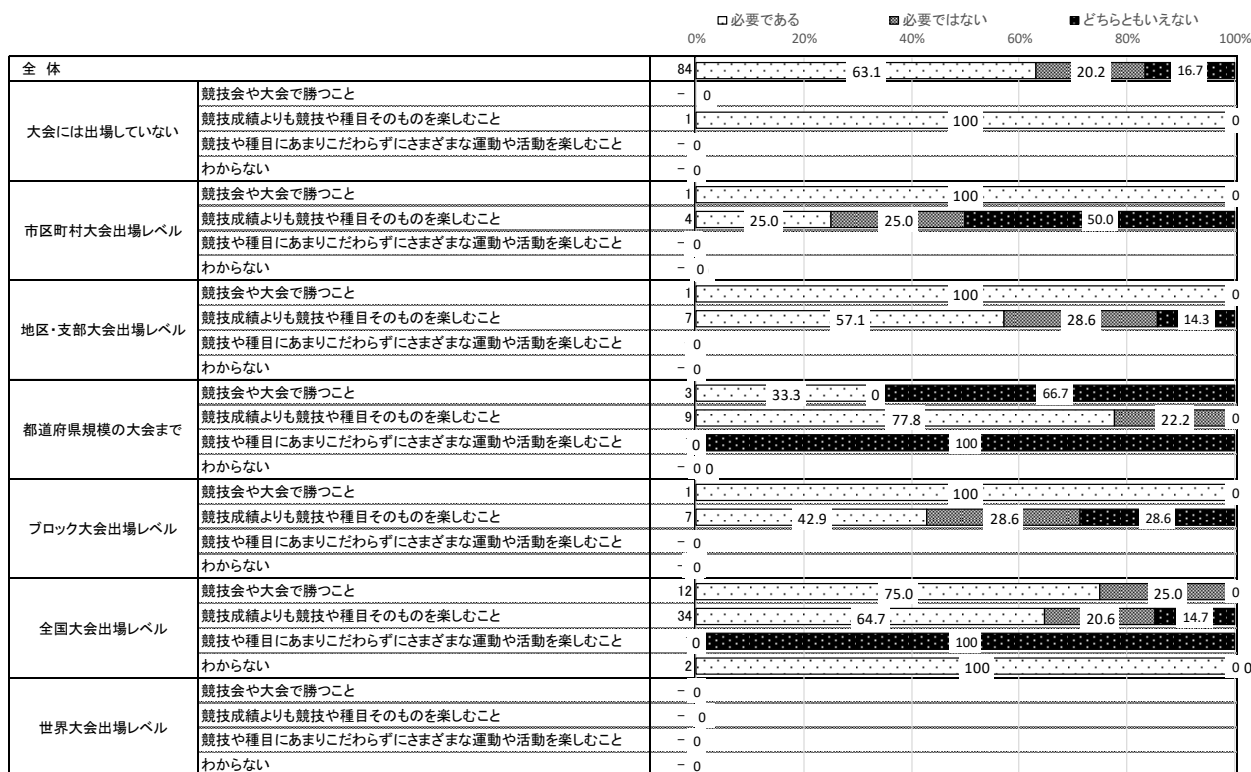
【陸上競技】



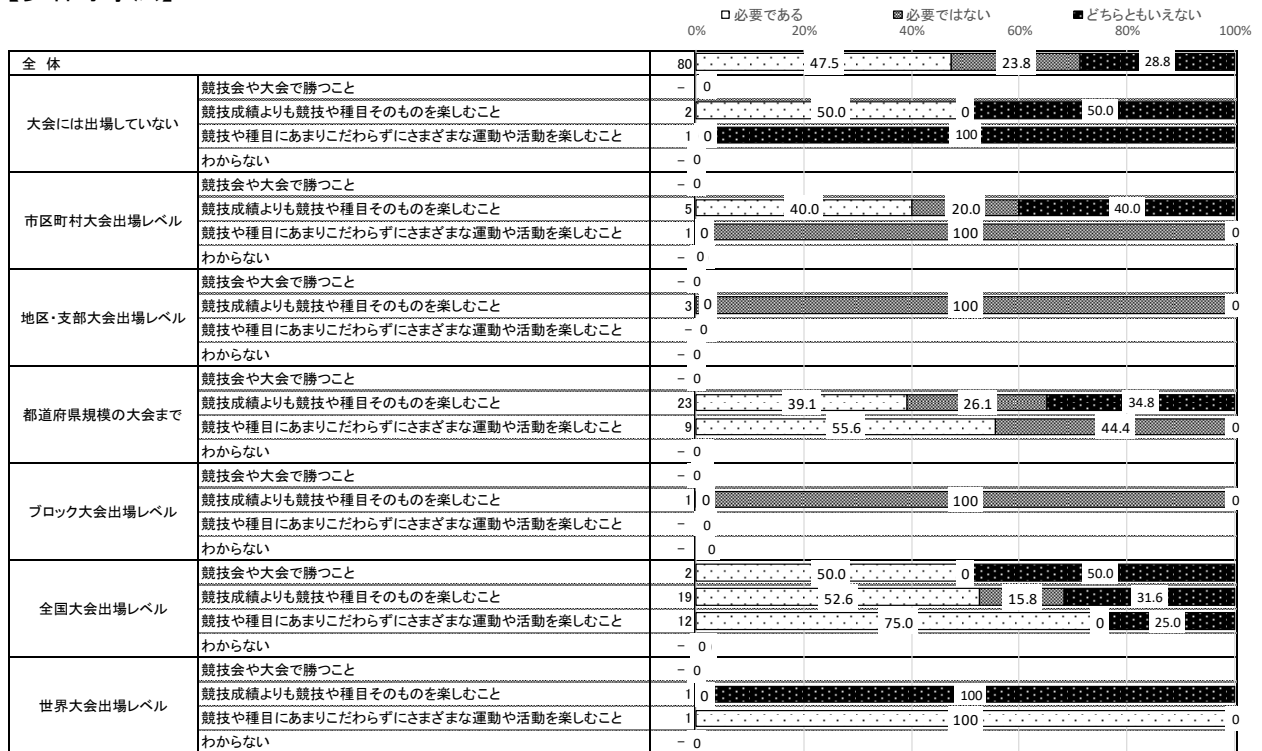
【卓球】



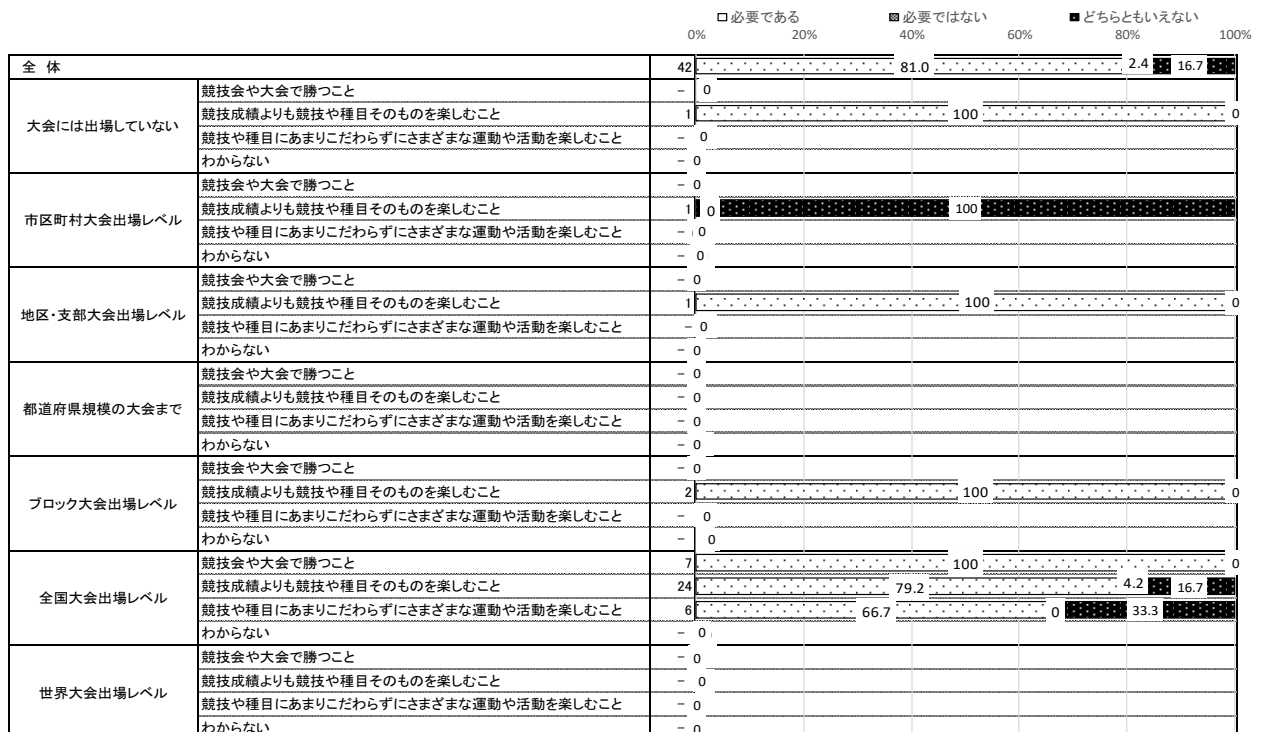
【ソフトテニス】



【少林寺拳法】

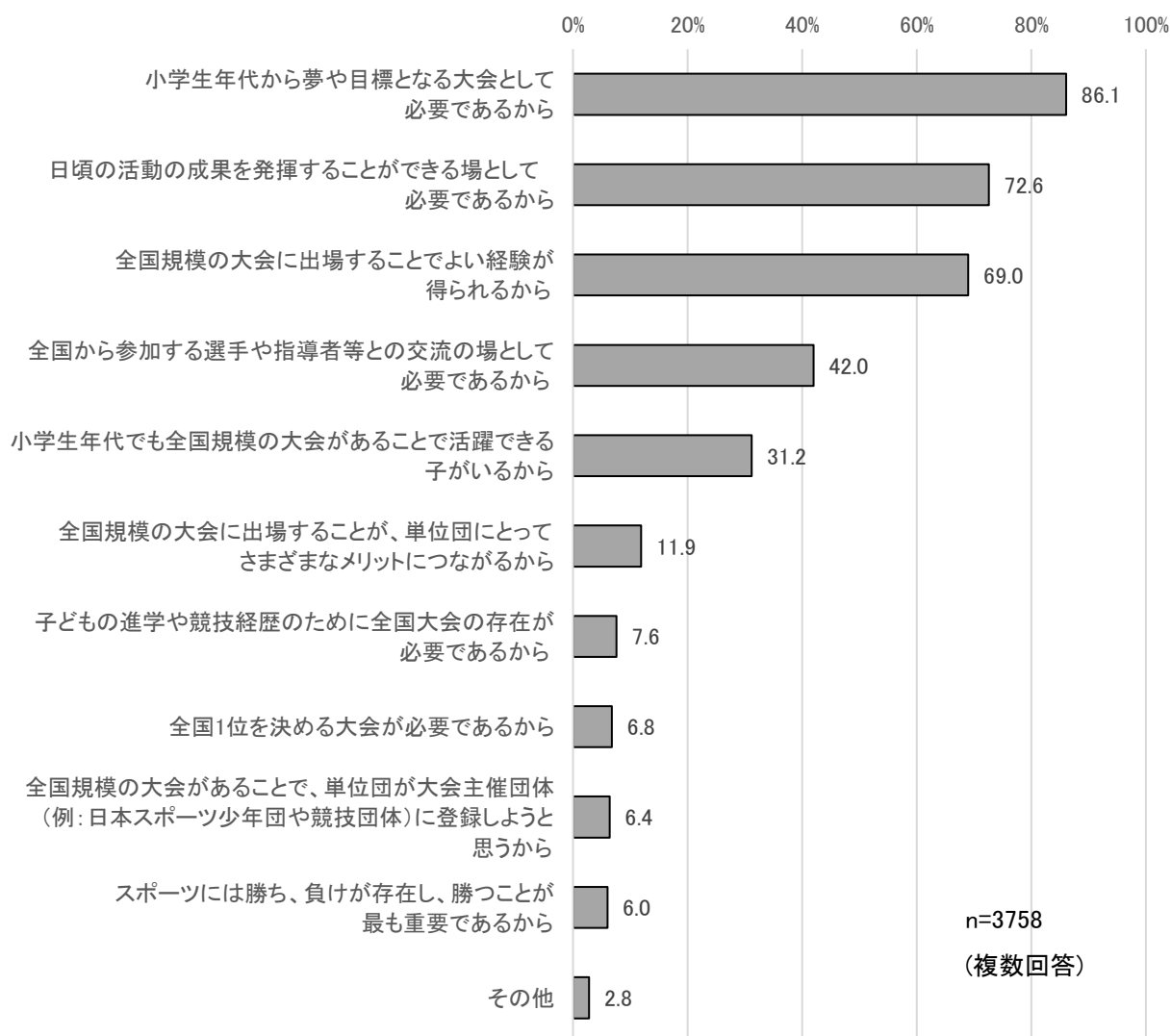


【ホッケー】



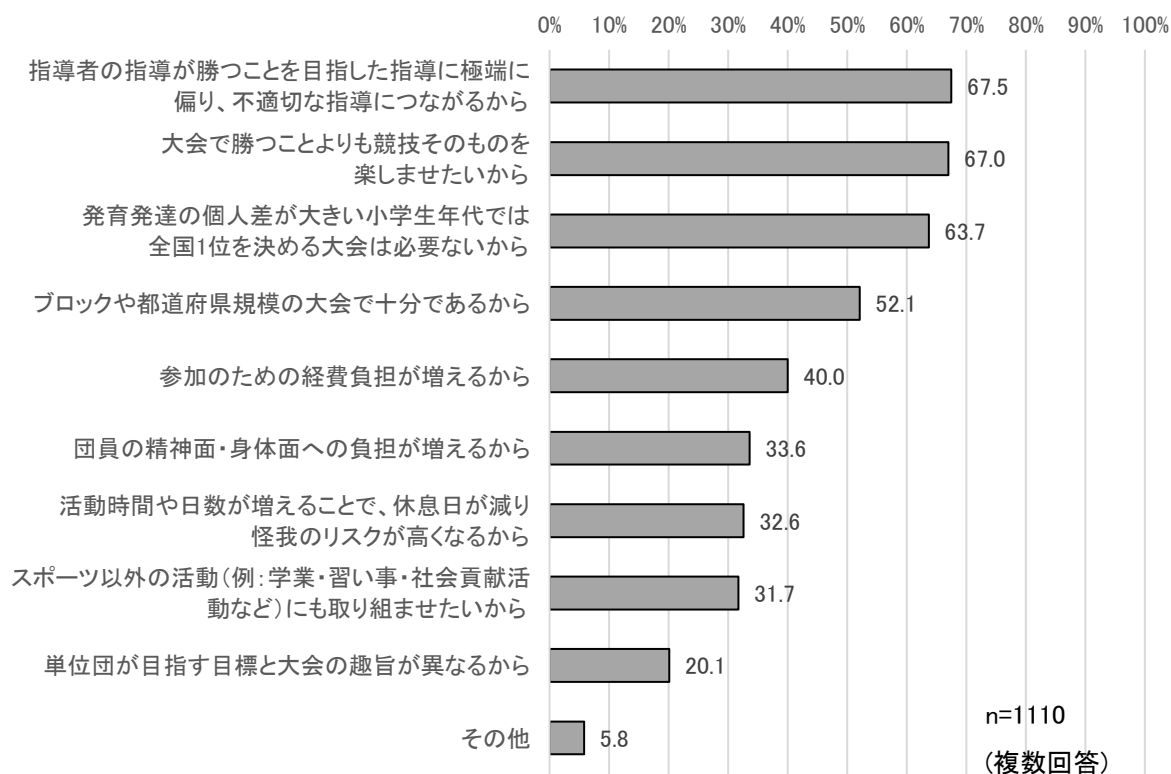
Q29. 小学生年代における全国規模の大会の必要理由

(対象者: Q28=「全国規模の大会の必要有無」: 必要である)



Q30. 小学生年代における全国規模の大会の不要理由

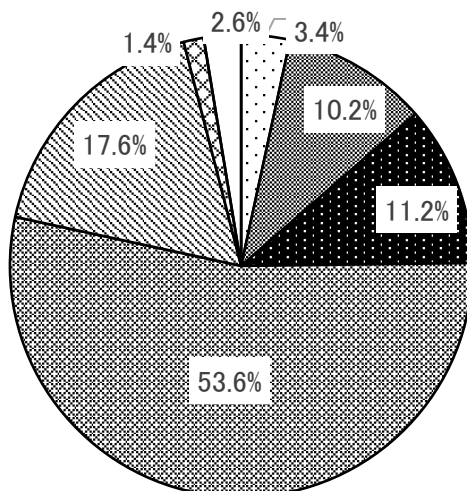
(対象者: Q28=「全国規模の大会の必要有無」: 必要ではない)



Q31. 小学生年代に必要な大会規模の範囲

(対象者: Q28=「全国規模の大会の必要有無」: 必要ではない)

- 大会は必要ない
- ▨ 市区町村規模の大会まで
- 地区・支部規模の大会まで
- ▩ 都道府県規模の大会まで
- ▧ ブロック(東北ブロック、関東ブロックなど)規模の大会まで
- ▦ わからない
- その他



n=1110

[クロス] Q31. 小学生年代に必要な大会規模の範囲 ×

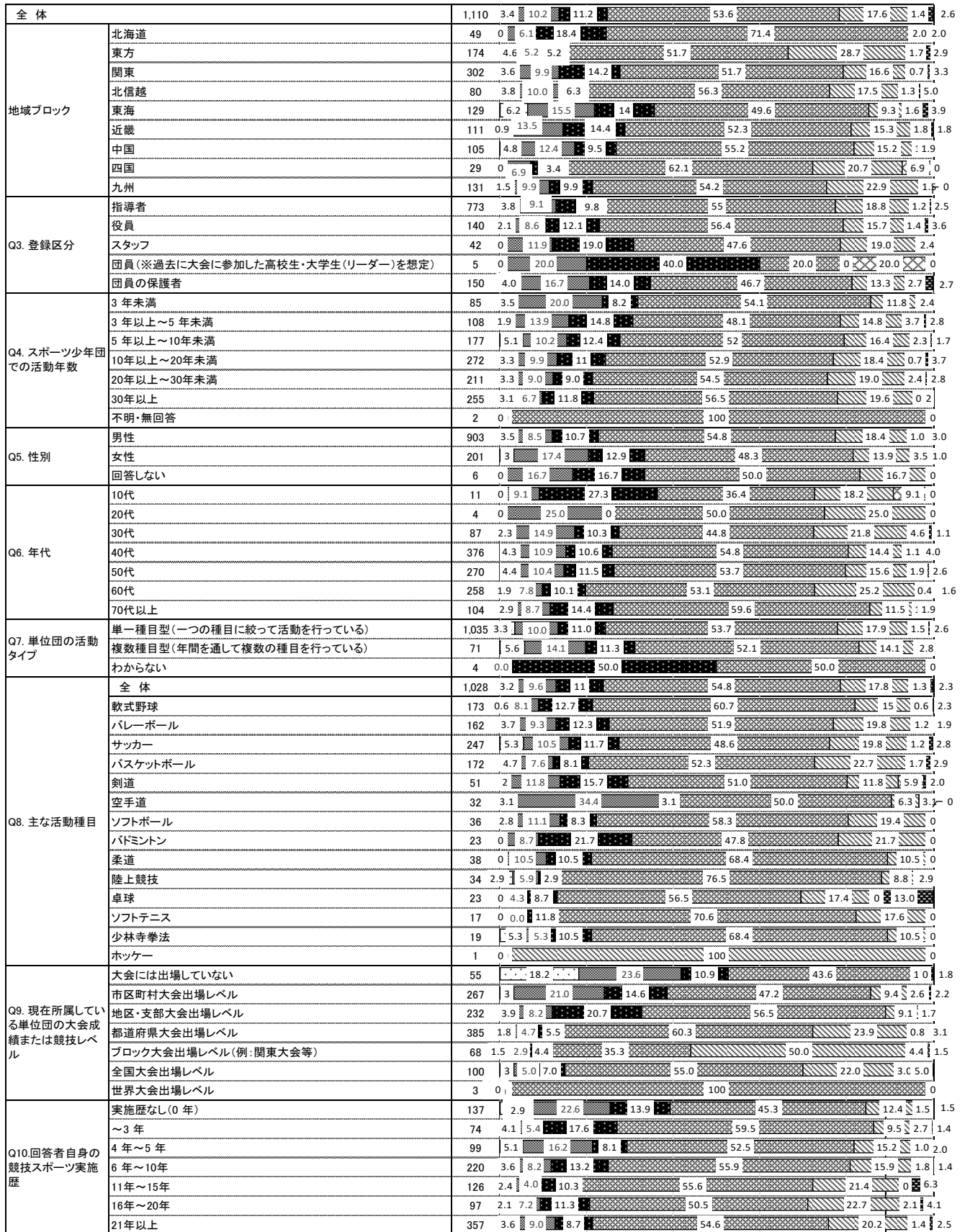
Q1.都道府県(地域ブロック)	Q7.単位団の活動タイプ
Q3.登録区分	Q8.主な活動種目(14種目)*
Q4.スポーツ少年団での活動年数	Q9.単位団の大会成績は競技レベル
Q5.性別	Q10.回答者自身の競技スポーツ歴
Q6.年代	

* 主な活動種目は回答数の多かった上位14種目を分析対象とした

⇒グラフ表は次ページにて記載

□ 大会は必要ない
 ■ 地区・支部規模の大会まで
 ▨ ブロック規模の大会まで
 ▩ その他()
 ■ 市区町村規模の大会まで
 ▨ 都道府県規模の大会まで
 □ わからない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



[クロス] Q31. 小学生年代に必要な大会規模の範囲 ×

Q11.回答者自身の過去最高スポーツ成績	Q16.活動日数について
Q12.単位団の活動日数	Q17.活動時間について
Q13.単位団の1回の平均活動時間	Q18.活動種目
Q14.1 カ月あたりの平均試合日数	(競技別交流大会5種目とそれ以外)
Q15.単位団が活動で目指していること	Q12. × Q13.(日本スポーツ少年団推奨活動範囲の状況)

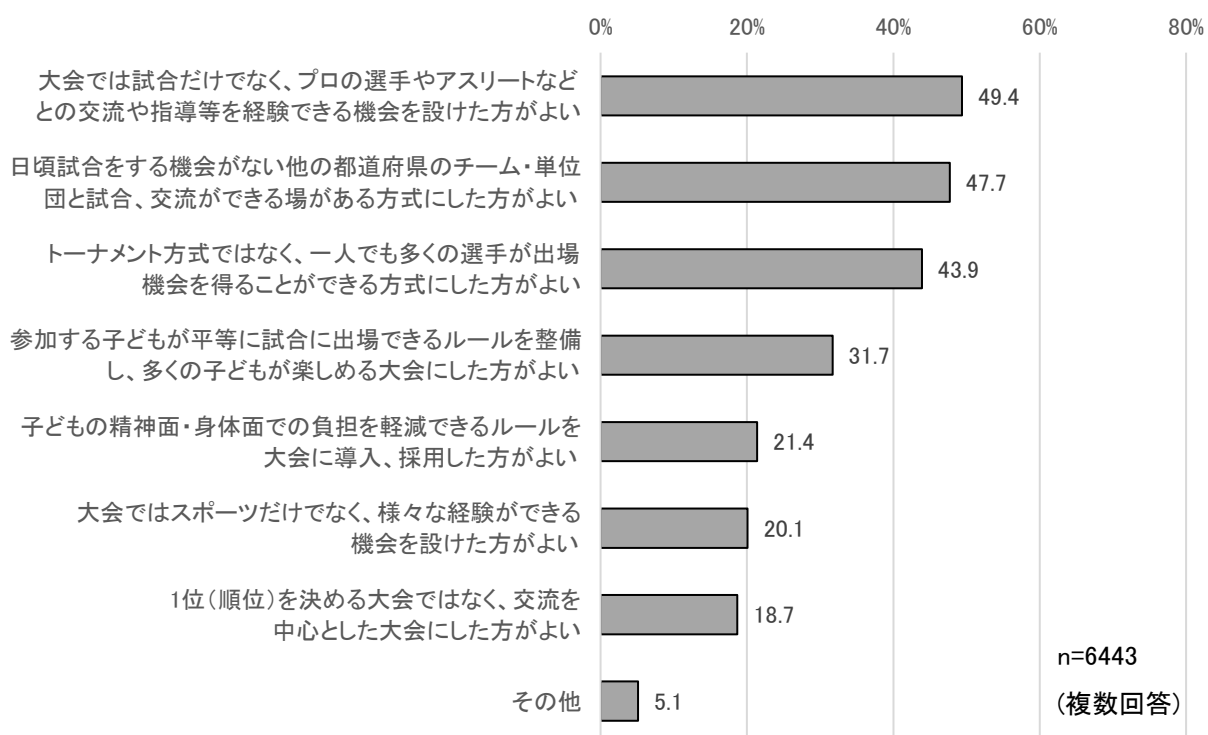
⇒グラフ表は次ページにて記載

□大会は必要ない
 ■大会は必要ない
 ■地区・支部規模の大会まで
 ■ブロック規模の大会まで
 ■その他()
 ■市区町村規模の大会まで
 ■都道府県規模の大会まで
 ■わからない

項目	人数	0%	20%	40%	60%	80%	100%
全体	1,110	3.4	10.2	11.2	53.6	17.6	1.4
Q11.回答者自身の過去最高のスポーツ成績	競技スポーツ実施歴なし	100	6	20.0	12	43	16
	大会には出場していない	24	0	8.3	25	50	12.5
	市区町村大会出場レベル	145	4.8	17.2	15.2	54.5	6.9
	地区・支部大会出場レベル	139	6.5	6.5	20.1	48.2	15.1
	都道府県大会出場レベル	346	1.7	9.2	8.4	56.9	19.9
	ブロック大会出場レベル(例:関東大会等)	121	6.6	5.8	51.2	28.1	4.1
	全国大会出場レベル	226	3.5	5.8	8.4	58.4	18.6
	世界大会出場レベル	9	11.1	44.4	11.1	33.3	0
Q12.単位団の活動日数	月に1~4日	122	7.4	18.9	15.6	41.8	9.8
	月に5~8日	305	4.9	10.5	13.8	56.1	12.1
	月に9~12日	311	1	10.6	10.3	56.6	18
	月に13~15日	153	1.3	7.8	6.5	60.8	19
	月に16~20日	185	4.9	4.3	9.7	48.1	27
	月に20日以上	34	0	14.7	8.8	44.1	32.4
	30分以下	0					
Q13.単位団の1回の平均活動時間	1時間以上2時間未満	373	4.3	11.8	9.9	56	14.2
	2時間以上3時間未満	476	3.8	8.8	10.5	52.5	19.5
	3時間以上4時間未満	165	2.4	10.3	15.2	48.5	19.4
	4時間以上	96	0	10.4	12.5	58.3	17.7
	全体	1,039	3.6	10.1	11.3	53.3	17.6
Q14.1か月あたりの平均試合日数(対外試合のみ)を回答してください	試合開催なし(0日)	133	9	23.3	18	38.3	6
	1日未満	61	4.9	11.5	14.8	59	6.6
	1日以上~2日未満	255	2	9.8	9	59.2	16.9
	2日以上~3日未満	236	2.1	8.1	11.4	52.1	22
	3日以上~4日未満	113	0.9	9.7	6.2	61.9	18.6
	4日以上~5日未満	105	2.9	5.7	11.4	46.7	25.7
	5日以上~10日未満	101	6.9	4.0	12.9	49.5	21.8
	10日以上~15日未満	24	4.2	0	4.2	75	16.7
	15日以上~20日	11	0	18.2	9.1	54.5	18.2
Q15.あなたが単位団活動で目指していること	競技会や大会で勝つこと	107	0.9	3.7	12.1	49.5	28
	競技成績よりも競技や種目そのものを楽しむこと	820	2.9	10.1	10.9	55	17.3
	競技や種目にあまりこだわらずにさまざまな運動や活動を楽しむこと	177	7.3	14.1	11.9	50.3	11.9
	わからない	6	0	16.7	16.7	33.3	33.3
Q16.所属する単位団の現在の活動日数について	もっと増やしたい	28	7.1	10.7	21.4	42.9	10.7
	少し増やしたい	99	5.1	5.1	11.1	54.5	20.2
	丁度良い	827	2.7	9.7	10.5	55.1	18.1
	少し減らしたい	145	5.5	15.2	13.1	46.9	15.2
	もっと減らしたい	11	9.1	27.3	9.1	45.5	0
Q17.所属する単位団の現在の活動時間について	もっと増やしたい	12	0	16.7	33.3	33.3	16.7
	少し増やしたい	103	1.9	7.8	6.8	67	14.6
	丁度良い	856	3.5	9.8	10.9	52.7	19
	少し減らしたい	125	3.2	14.4	14.4	50.4	12
	もっと減らしたい	14	14.3	7.1	14.3	57.1	0
Q18.あなたの所属している単位団の活動種目	軟式野球・剣道・バレーボール・ホッケー・サッカーのいずれか【全国スポーツ少年団競技別交流大会を実施している競技】	670	3	10.4	12.1	53	17.8
	上記に記載の5競技以外の競技【全国スポーツ少年団競技別交流大会を実施していない競技】	440	4.1	9.8	9.8	54.5	17.3
Q12×Q13.「日本スポーツ少年団推奨活動範囲」の状況※	推奨活動範囲内	113	2.7	8.0	10.6	52.2	19.5
	範囲外(それ以外)	997	3.5	10.4	11.2	53.8	17.4

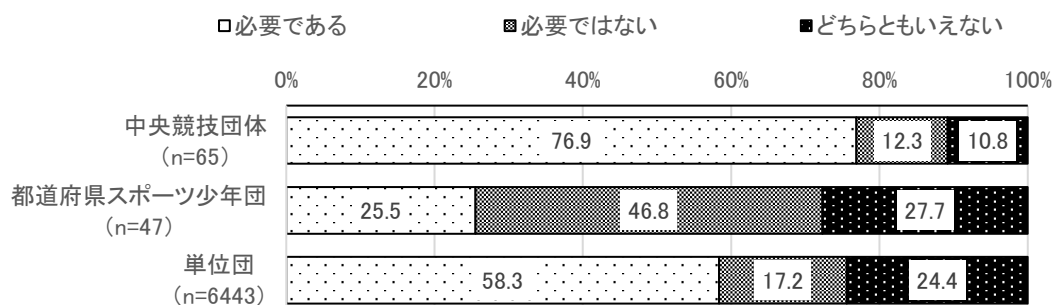
※ Q12×Q13 日本スポーツ少年団推奨活動範囲:1日あたり2~3時間程度、1週間に2~3日

Q32. 小学生年代の全ての大会の在り方に対する考え方

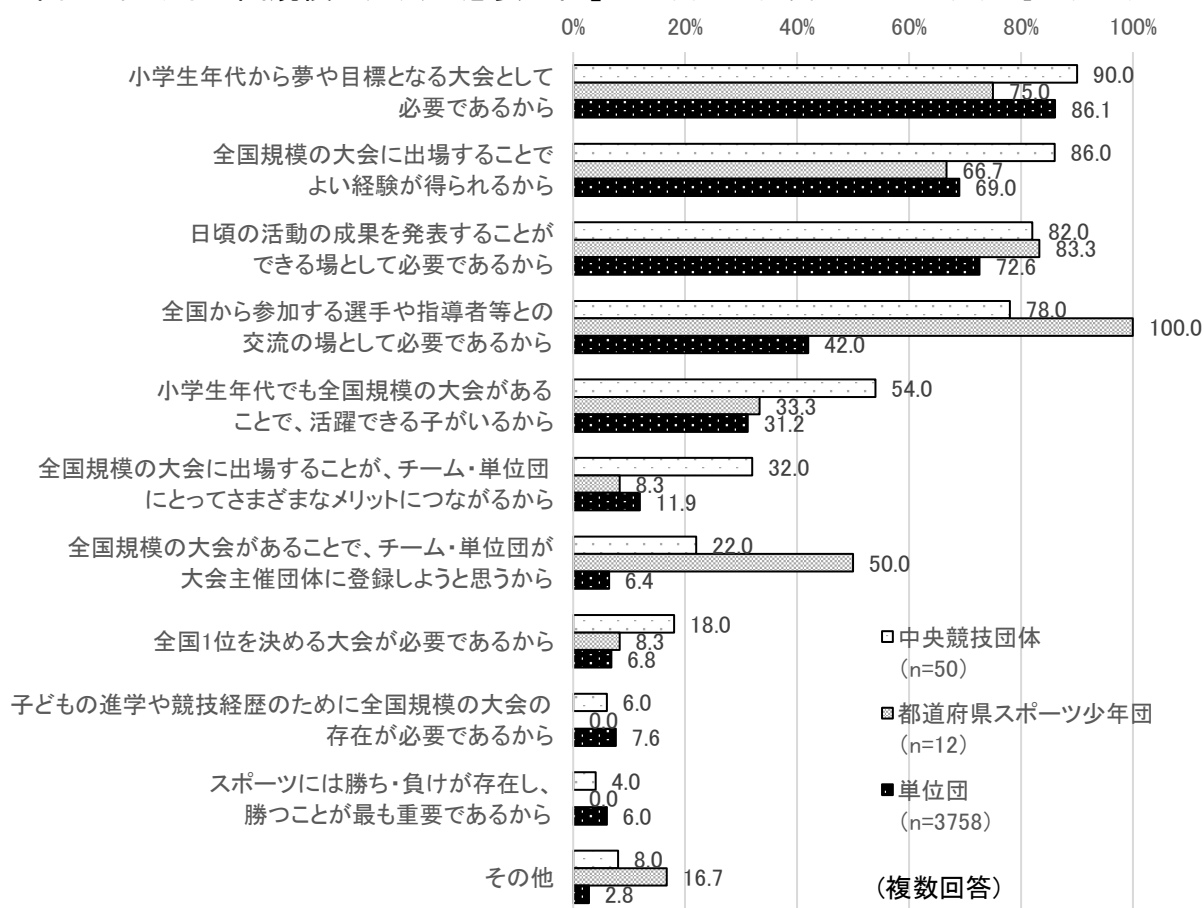


【全対象共通設問比較】 ～ 全国規模の大会の必要性について ～

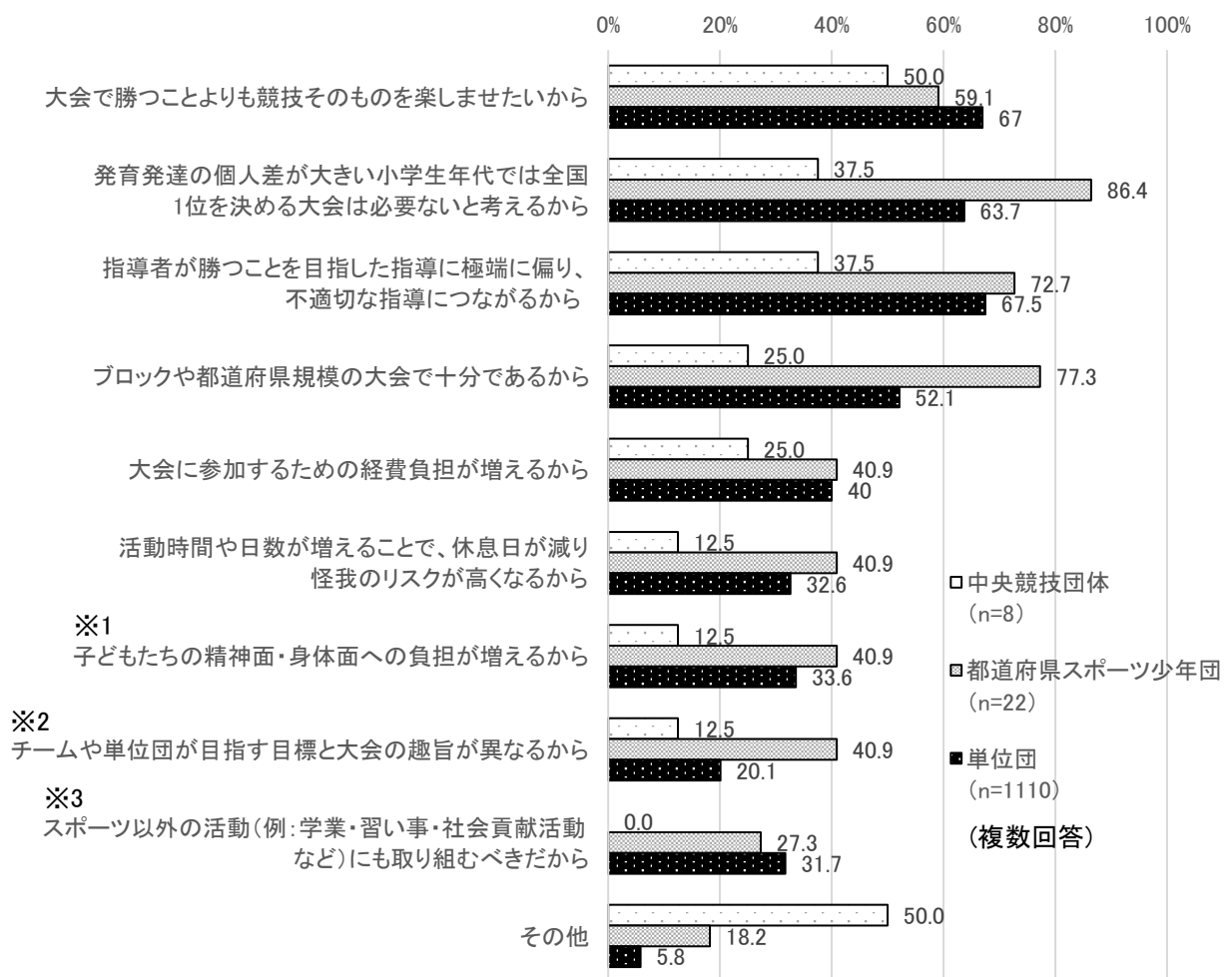
「小学生年代における全国規模の大会の必要有無」



「小学生年代における全国規模の大会の必要理由」 (対象者:「全国規模の大会の必要有無」:必要である)



「小学生年代における全国規模の大会の不要理由」（対象者：「全国規模の大会の必要有無」：必要ではない）



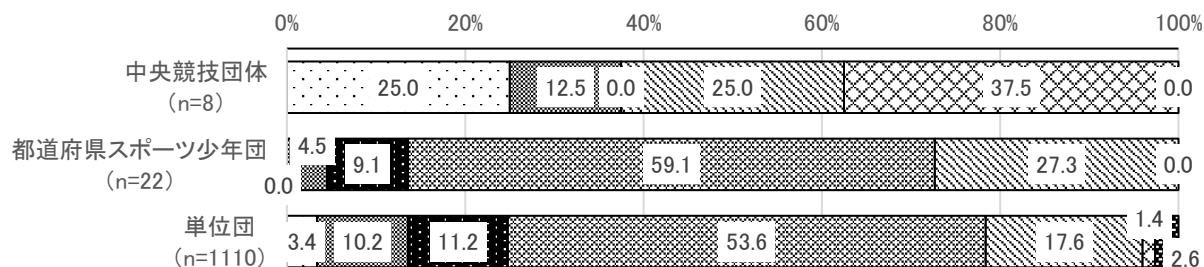
※1 都道府県スポーツ少年団／単位団 「団員の精神面・身体面への負担が増えるから」

※2 単位団 「単位団が目指す目標と大会の趣旨が異なるから」

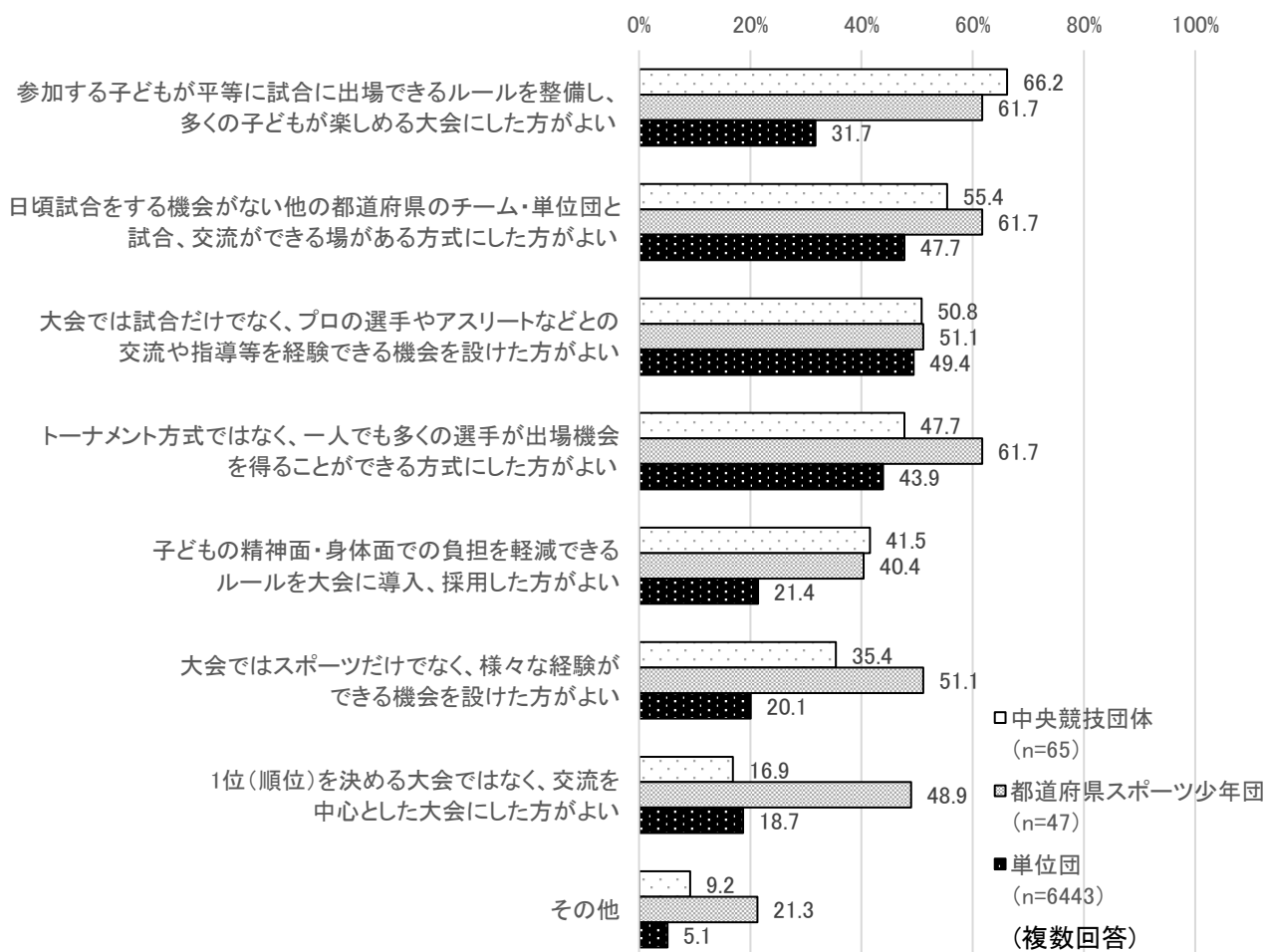
※3 都道府県スポーツ少年団／単位団 「スポーツ以外の活動(例:学業・習い事・社会貢献活動など)にも取り組ませたいから」

「小学生年代に必要な大会規模の範囲」 (対象者:「全国規模の大会の必要有無」:必要ではない)

- 大会は必要ない
- 地区・支部規模の大会まで
- ▨ ブロック(東北ブロック、関東ブロックなど)規模の大会まで
- その他
- ▨ 市区町村規模の大会まで
- ▨ 都道府県規模の大会まで
- ▨ わからない



「小学生年代の全ての大会の在り方に対する考え方」



小学生年代の全国大会に関する調査

(中央競技団体、都道府県スポーツ少年団)

小学生年代の全国大会に関する意識調査

(単位スポーツ少年団)

調 査 票

小学生年代の全国大会に関する調査 -中央競技団体-

■ 基本情報

Q1. 団体名(プルダウン・準加盟団体、加盟団体で五十音順)

Q2. 貴団体が把握している小学生年代の人数(最新の登録者数・会員数・競技者数など)(数字のみ)

※ 分からない場合は「不明」、登録制度がない場合は「なし」と入力してください

Q3. 回答責任者(役職・氏名)

※ 貴団体のお考えを回答いただくことから、JSPO としては役員、担当委員会委員長等を想定しております

Q4. 事務担当者(役職・氏名)

Q5. 事務担当者メールアドレス

※本調査での「全国規模の大会」とは、全国から参加者が集まって試合をする大会(1位を決める大会や競技レベルを問わず交流を目的とした大会等)を意味します

■ 貴団体が主催する全国規模の大会とその実施状況

Q6. 現在、小学生年代を対象とする全国規模の大会を主催していますか(当てはまるもの1つ選択)

(1) 主催している→Q7へ遷移

(2) 過去に主催していたが、現在は主催していない→Q14へ遷移

(3) 実施していない→Q17へ遷移

Q7. 小学生年代を対象とした全国規模の大会を年間いくつ主催していますか

(当てはまるもの1つ選択)

(1) 1つ

(2) 2つ

(3) 3つ

(4) 4つ

(5) 5つ

(6) 6つ以上

Q8. Q7 で回答した主催大会の趣旨を大会(最大 5 つまで)ごとにお答えください

(最も当てはまるものを 1 つずつ選択)

※主催大会を 6 つ以上実施している場合:参加者の多い順に 5 つの大会について回答してください

※主催大会が 5 つ以下の場合:主催している大会以外は「(5)実施していない」を選択してください

<例>主催大会を 3 つ開催している場合は、主催大会 4、主催大会 5 は「(5)実施していない」を選択

大会趣旨	(1)選手間の交流	(2)チャンピオンシップ(1位を決める大会)	(3)チャンピオンシップと選手間の交流を組み合わせた大会	(4)その他	(5)実施していない
主催大会 1					
主催大会 2					
主催大会 3					
主催大会 4					
主催大会 5					

Q9. 大会の参加人数を大会(最大5つまで)ごとにお答えください(最も当てはまるものを1つずつ選択)

[監督・コーチ・出場しない団員など(運営スタッフ・観客)は除く]

※主催大会を6つ以上実施している場合:参加者の多い順に5つの大会について回答してください

※主催大会が5つ以下の場合:主催している大会以外は「(5)実施していない」を選択してください

<例>主催大会を3つ開催している場合は、主催大会4、主催大会5は「(6)実施していない」を選択

参加人数	(1)~50人	(2)51人~100人	(3)101~300人	(4)301~500人	(5)501人以上	(6)実施していない
主催大会 1						
主催大会 2						
主催大会 3						
主催大会 4						
主催大会 5						

Q10. 要項等に定める大会への参加要件を大会(最大5つまで)ごとにお答えください

(当てはまるものをすべて選択)

※主催大会を6つ以上実施している場合:参加者の多い順に5つの大会について回答してください

※主催大会が5つ以下の場合:主催している大会以外は「(5)実施していない」を選択してください

<例>主催大会を3つ開催している場合は、主催大会4、主催大会5は「(6)実施していない」を選択

参加条件	(1)予選会の成績(優勝チーム・上位3チーム・個人など)	(2)希望すれば出場可能	(3)選出する団体(都道府県等)によって異なる(推薦・輪番制など)	(4)特になし	(5)その他	(6)実施していない
主催大会 1						
主催大会 2						
主催大会 3						
主催大会 4						
主催大会 5						

■ 大会の今後について

現在、小学生年代の全国大会の是非について各種メディア等で取り上げられておりますが、貴団体が主催している、小学生年代を対象とした全国規模の大会についてお聞かせください

Q11.大会の今後の実施予定について大会(最大5つまで)ごとにお答えください

(最も当てはまるものを1つ選択)

※主催大会を6つ以上実施している場合:参加者の多い順に5つの大会について回答してください

※主催大会が5つ以下の場合:主催している大会以外は「(5)実施していない」を選択してください

<例>主催大会を3つ開催している場合は、主催大会4、主催大会5は「(7)実施していない」を選択

今後の実施	(1)引き続き実施することが決定している	(2)今後内容を変更のうえ実施することが決定している	(3)将来的に中止または廃止することが決定している	(4)検討を始めている	(5)未定	(6)その他	(7)実施していない
主催大会 1							
主催大会 2							
主催大会 3							
主催大会 4							
主催大会 5							

Q12.Q11で「(1)」～「(4)」を選択した団体に伺います。

選択した経緯・理由等について具体的に教えてください(自由記述/任意回答)

Q13.現在主催している大会において課題があれば教えてください(自由記述/任意回答)

→Q17へ遷移

■ 過去には主催していたが、現在は主催していない

Q6で「過去に主催していたが、現在は主催していない」を選択した団体に伺います。

Q14.過去に主催していた大会の趣旨(最も当てはまるもの1つ選択)

※主催大会を複数実施していた場合は、参加者の最も多い大会について回答してください

- (1) 交流
- (2) チャンピオンシップ(1位を決める大会)
- (3) チャンピオンシップと選手間の交流を組み合わせた大会
- (4) その他

Q15.過去に主催していたが、現在は主催していない理由をお聞かせください(自由記述/回答必須)

Q16.今後新たに全国規模の大会を実施する予定はありますか(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 実施する予定がある
- (2) 検討中
- (3) 実施する
- (4) 予定はない

■ 全国規模の大会について

※本調査での「全国規模の大会」とは、全国から参加者が集まって試合をする大会(1位を決める大会や競技レベルを問わず交流を目的とした大会等)を意味します。

Q17.小学生年代にとって、全国規模の大会は必要であると思いますか(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 必要である→Q18-1へ遷移
- (2) 必要ではない→Q18-2へ遷移
- (3) どちらともいえない→Q20へ遷移

Q18-1.「必要である」と回答した団体に伺います。

「必要である」の理由として、当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)

- (1) 日頃の活動の成果を発表することができる場として必要であるから
- (2) 小学生年代から夢や目標となる大会として必要であるから
- (3) 全国から参加する選手や指導者等との交流の場として必要であるから
- (4) 全国1位を決める大会が必要であるから
- (5) 全国規模の大会に出場することでよい経験が得られるから
- (6) 小学生年代でも全国規模の大会があることで、活躍できる子がいるから
- (7) 子どもの進学や競技経歴のために全国規模の大会の存在が必要であるから
- (8) スポーツには勝ち・負けが存在し、勝つことが最も重要であるから
- (9) 全国規模の大会に出場することが、チーム・単位団にとってさまざまなメリット(※)につながるから
※さまざまなメリット: 所属人数の増加、チーム・単位団の知名度向上、補助金等が受けられる等
- (10) 全国規模の大会があることで、チーム・単位団が大会主催団体に登録しようと思うから
- (11) その他()

→Q20へ遷移

Q18-2.「必要ではない」と回答した団体に伺います

「必要ではない」の理由として、当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)

- (1) 発育発達の個人差が大きい小学生年代では全国1位を決める大会は必要ないと考えるから
- (2) 大会で勝つことよりも競技そのものを楽しませたいから
- (3) 活動時間や日数が増えることで、休息日が減り怪我のリスクが高くなるから
- (4) 指導者が勝つことを目指した指導に極端に偏り、不適切な指導につながるから
- (5) ブロックや都道府県規模の大会で十分であるから
- (6) 大会に参加するための経費負担が増えるから
- (7) 子どもたちの精神面・身体面への負担が増えるから
- (8) チームや単位団が目指す目標と大会の趣旨が異なるから
- (9) スポーツ以外の活動(例:学業・習い事・社会貢献活動など)にも取り組むべきだから
- (10) その他()

Q19.小学生年代に必要な大会規模はどこまでだと思いますか(最も当てはまるもの1つ選択)

- (1) 大会は必要ない
- (2) 市区町村規模の大会まで
- (3) 地区・支部規模の大会まで
- (4) 都道府県規模の大会まで
- (5) ブロック(東北ブロック、関東ブロックなど)規模の大会まで
- (6) わからない
- (7) その他()

Q20.全国規模の大会に限らず、小学生年代の全ての大会の在り方について、貴団体の考えに当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)

- (1) トーナメント方式ではなく、一人でも多くの選手が出場機会を得ることができる方式にした方がよい
- (2) 日頃試合をする機会がない他の都道府県のチーム・単位団と試合、交流ができる場がある方式にした方がよい
- (3) 1位(順位)を決める大会ではなく、交流を中心とした大会にした方がよい
- (4) 参加する子どもが平等に試合に出場できるルールを整備し、多くの子どもが楽しめる大会にした方がよい
- (5) 子どもの精神面・身体面での負担を軽減できるルールを大会に導入、採用した方がよい
- (6) 大会では試合だけでなく、プロの選手やアスリートなどとの交流や指導等を経験できる機会を設けた方がよい
- (7) 大会ではスポーツだけでなく、様々な経験ができる機会を設けた方がよい
- (8) その他()

Q21.貴団体が考える、小学生年代のスポーツにみられる勝利至上主義を助長しないために必要なことは何だと思えますか(自由記述)

※ 勝利至上主義とは：スポーツは勝敗を競うものであり、スポーツにおいて勝利を目指すことは否定されるものではありません。また、子どもたちが試合に勝つために活動することや、よりうまくなりたいといった活動も含め、競技力向上の取組も否定されるものではありません。しかしながら「勝利至上主義」は勝つことのみを至上(この上ないもの)として位置づける考え方であり、勝つためには子どもの発育発達を考慮しない過度な練習を課すことや暴力・暴言等の不適切な指導が容認されるといった様々な弊害をもたらすものです

小学生年代の全国大会に関する調査 -都道府県スポーツ少年団-

■ 基本情報

Q1. 都道府県((1)北海道～(47)沖縄県よりプルダウン)

Q2. 回答責任者(役職・氏名)

※ 貴団体のお考えを回答いただくことから、JSPO としては本部長、副本部長または担当部会長等を想定しております

Q3. 事務担当者(役職・氏名)

Q4. 事務担当者メールアドレス

※本調査での「全国規模の大会」とは、全国から参加者が集まって試合をする大会(1位を決める大会や競技レベルを問わず交流を目的とした大会等)を意味します

■ 貴団体が主催する都道府県規模の大会の実施状況

Q5. 現在、小学生年代を対象とした都道府県規模の大会を主催していますか

(当てはまるもの1つ選択)

(1) 主催している→Q6へ遷移

(2) 主催していない→Q15へ遷移

Q6. 都道府県規模の大会を年間いくつ主催していますか(当てはまるもの1つ選択)

(1) 1つ

(2) 2つ

(3) 3つ

(4) 4つ

(5) 5つ

(6) 6つ以上

Q7. 実施種目(複数回答/五十音順) 該当するもの全てを選択してください

((1)合気道～(84)その他よりプルダウン)

Q8. Q7 で回答した主催大会の趣旨を大会(最大 5 つまで)ごとにお答えください

(大会ごとに最も当てはまるものを 1 つずつ選択)

※主催大会を 6 つ以上実施している場合:参加者の多い順に 5 つの大会について回答してください

※主催大会が 5 つ以下の場合:主催している大会以外は「(5)実施していない」を選択してください

<例>主催大会を 3 つ開催している場合は、主催大会 4、主催大会 5 は、「(5)実施していない」を選択

大会趣旨	(1)選手間の交流	(2)チャンピオンシップ(1 位を決める大会)	(3)チャンピオンシップと選手間の交流を組み合わせた大会	(4)その他	(5)実施していない
主催大会 1					
主催大会 2					
主催大会 3					
主催大会 4					

Q9. 主催している大会における参加人数（大会ごとに当てはまるものを1つ選択）

〔監督・コーチ・団員など（運営スタッフ・観客除く）〕

※主催大会を6つ以上実施している場合：参加者の多い順に5つの大会について回答してください

※主催大会が5つ以下の場合：主催している大会以外は「(5)実施していない」を選択してください

<例>主催大会を3つ開催している場合は、主催大会4、主催大会5は、「(6)実施していない」を選択

参加人数	(1)～50人	(2)51人～100人	(3)101～300人	(4)301～500人	(5)501人以上	(6)実施していない
主催大会 1						
主催大会 2						
主催大会 3						
主催大会 4						
主催大会 5						

Q10. 要項等に定める大会への参加要件(大会ごとに当てはまるものをすべて選択)

※主催大会を6つ以上実施している場合:参加者の多い順に5つの大会について回答してください

※主催大会が5つ以下の場合:主催している大会以外は「(5)実施していない」を選択してください

<例>主催大会を3つ開催している場合は、主催大会4、主催大会5は、「(6)実施していない」を選択

参加条件	(1)予選会の成績(優勝チーム・上位3チーム・個人など)	(2)希望すれば出場可能	(3)選出する団体(都道府県等)によって異なる(推薦・輪番制など)	(4)特にない	(5)その他	(6)実施していない
主催大会 1						
主催大会 2						
主催大会 3						
主催大会 4						
主催大会 5						

■ 大会の今後について

現在、小学生年代の全国大会の是非について各種メディア等で取り上げられております。

全国スポーツ少年団競技別交流大会の今後の開催について検討するにあたり、貴団体が主催している小学生年代を対象とした都道府県規模の大会についてお聞かせください

Q11.大会の今後の実施について(最も当てはまるもの1つずつ選択)

※主催大会を6つ以上実施している場合:参加者の多い順に5つの大会について回答してください

※主催大会が5つ以下の場合:主催している大会以外は「(5)実施していない」を選択してください

<例>主催大会を3つ開催している場合は、主催大会4、主催大会5は、「(7)実施していない」を選択

今後の実施	(1)引き続き実施することが決定している	(2)今後内容を変更のうえ実施することが決定している	(3)将来的に中止または廃止することが決定している	(4)検討を始めている	(5)未定	(6)その他	(7)実施していない
主催大会 1							
主催大会 2							
主催大会 3							
主催大会 4							
主催大会 5							

Q12.Q11で「(1)」～「(4)」を選択した団体に伺います。

経緯・理由等について具体的に教えてください(自由記述/任意回答)

Q13.現在主催している大会において課題があれば教えてください(自由記述/任意回答)

Q14.その他、日本スポーツ少年団へのご質問・ご意見等があればお書きください

(自由記述/任意回答)

■ 全国規模の大会について

※本調査での「全国規模の大会」とは、全国から参加者が集まって試合をする大会(1位を決める大会や競技レベルを問わず交流を目的とした大会等)を意味します

Q15.小学生年代にとって、全国規模の大会は必要であると思いますか(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 必要である→Q16-1へ遷移
- (2) 必要ではない→Q16-2へ遷移
- (3) どちらともいえない→Q18へ遷移

Q16-1.「必要である」と回答した団体に伺います。

「必要である」の理由として、当てはまるもの全てを選択してください(複数選択可)

- (1) 日頃の活動の成果を発表することができる場として必要であるから
- (2) 小学生年代から夢や目標となる大会として必要であるから
- (3) 全国から参加する選手や指導者等との交流の場として必要であるから
- (4) 全国1位を決める大会が必要であるから
- (5) 全国規模の大会に出場することでよい経験が得られるから
- (6) 小学生年代でも全国規模の大会があることで、活躍できる子がいるから
- (7) 子どもの進学や競技経歴のために全国規模の大会の存在が必要であるから
- (8) スポーツには勝ち・負けが存在し、勝つことが最も重要であるから
- (9) 全国規模の大会に出場することが、チーム・単位団にとってさまざまなメリット(※)につながるから
※さまざまなメリット: 所属人数の増加、チーム・単位団の知名度向上、補助金等が受けられる等
- (10) 全国規模の大会があることで、チーム・単位団が大会主催団体に登録しようと思うから
- (11) その他()
→Q18へ遷移

Q16-2. 「必要ではない」と回答した団体に伺います。

「必要ではない」の理由として、当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)

- (1) 発育発達個人の差が大きい小学生年代では全国1位を決める大会は必要ない考えるから
- (2) 大会で勝つことよりも競技そのものを楽しませたいから
- (3) 活動時間や日数が増えることで、休息日が減り怪我のリスクが高くなるから
- (4) 指導者の指導が勝つことを目指した指導に極端に偏り、不適切な指導につながるから
- (5) ブロックや都道府県規模の大会で十分であるから
- (6) 参加のための経費負担が増えるから
- (7) 団員の精神面・身体面への負担が増えるから
- (8) チームや単位団が目指す目標と大会の趣旨が異なるから
- (9) スポーツ以外の活動(例: 学業・習い事・社会貢献活動など)にも取り組ませたいから
- (10) その他()

Q17. 小学生年代に必要な大会規模はどこまでだと思いますか(最も当てはまるもの1つ選択)

- (1) 大会は必要ない
- (2) 市区町村規模の大会まで
- (3) 地区・支部規模の大会まで
- (4) 都道府県規模の大会まで
- (5) ブロック(東北ブロック、関東ブロックなど)規模の大会まで
- (6) わからない
- (7) その他()

Q18. 全国規模の大会に限らず、小学生年代の全ての大会の在り方について、貴団体の考えに当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)

- (1) トーナメント方式ではなく、一人でも多くの選手が出場機会を得ることができる方式にした方がよい
- (2) 日頃試合をする機会がない他の都道府県のチーム・単位団と試合、交流ができる場がある方式にした方がよい
- (3) 1位(順位)を決める大会ではなく、交流を中心とした大会にした方がよい
- (4) 参加する子どもが平等に試合に出場できるルールを整備し、多くの子どもが楽しめる大会にした方がよい
- (5) 子どもの精神面・身体面での負担を軽減できるルールを大会に導入、採用した方がよい
- (6) 大会では試合だけでなく、プロの選手やアスリートなどとの交流や指導等を経験できる機会を設けた方がよい
- (7) 大会ではスポーツだけでなく、様々な経験ができる機会を設けた方がよい
- (8) その他()

Q19. 貴団体が考える、小学生年代のスポーツにみられる勝利至上主義を助長しないために必要なことは何だと思いますか(自由記述)

※ 勝利至上主義とは：スポーツは勝敗を競うものであり、スポーツにおいて勝利を目指すことは否定されるものではありません。また、子どもたちが試合に勝つために活動することや、よりうまくなりたいといった活動も含め、競技力向上の取組も否定されるものではありません。しかしながら「勝利至上主義」は勝つことのみを至上(この上ないもの)として位置づける考え方であり、勝つためには子どもの発育発達を考慮しない過度な練習を課すことや暴力・暴言等の不適切な指導が容認されるといった様々な弊害をもたらすものです

■ 基本情報

Q1. 都道府県((1)北海道～(47)沖縄県よりプルダウン)

Q2. 単位団名称※単位団名称は公開されません(記述)

Q3. 登録区分(当てはまるもの1つ選択)

※複数区分で登録している方は主に活動されている登録区分を選択してください

- (1) 指導者
- (2) 役員
- (3) スタッフ
- (4) 団員(※過去に大会に参加した高校生・大学生(リーダー)を想定)
- (5) 団員の保護者

Q4. スポーツ少年団での活動年数(数字のみ)

<例> 団員として10年・指導者として20年活動されている場合は、30年と回答してください
_____年(記述)

Q5. 性別(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 男性
- (2) 女性
- (3) 回答しない

Q6. 年代(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 10代
- (2) 20代
- (3) 30代
- (4) 40代
- (5) 50代
- (6) 60代
- (7) 70代以上

Q7. 単位団の活動タイプ(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 単一種目型(一つの種目に絞って活動を行っている)
- (2) 複数種目型(年間を通して複数の種目を行っている)
- (3) わからない

Q8. 主な活動種目※複数種目を活動している場合は、主に活動している種目を1つ選択してください

((1)合気道～(84)その他よりプルダウン)

Q9. 現在所属している単位団の大会成績または競技レベル(当てはまるもの1つ選択)

※直近5年間の最高競技成績を1つ選択してください／個人種目の場合も最高競技成績を1つ選択してください

- (1) 大会には出場していない
- (2) 市区町村大会出場レベル
- (3) 地区・支部大会出場レベル
- (4) 都道府県大会出場レベル
- (5) ブロック大会出場レベル(例:関東大会等)
- (6) 全国大会出場レベル
- (7) 世界大会出場レベル

Q10. 回答者自身の競技スポーツ実施歴(当てはまるもの1つ選択)

※現在に至るまで主に競技大会出場を目指して活動していた通算年数で、当てはまるものを1つ選択してください

- (1) 実施歴なし(0年)
- (2) ～3年
- (3) 4年～5年
- (4) 6年～10年
- (5) 11年～15年
- (6) 16年～20年
- (7) 21年以上

Q11.回答者自身の過去最高のスポーツ成績(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 競技スポーツ実施歴なし
- (2) 大会には出場していない
- (3) 市区町村大会出場レベル
- (4) 地区・支部大会出場レベル
- (5) 都道府県大会出場レベル
- (6) ブロック大会出場レベル(例:関東大会等)
- (7) 全国大会出場レベル
- (8) 世界大会出場レベル

■ 普段の単位団活動に関してお答えください

Q12.単位団の活動日数(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 月に1~4日
- (2) 月に5~8日
- (3) 月に9~12日
- (4) 月に13~15日
- (5) 月に16~20日
- (6) 月に21日以上

Q13.単位団の1回の平均活動時間(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 30分以下
- (2) 1時間以上2時間未満
- (3) 2時間以上3時間未満
- (4) 3時間以上4時間未満
- (5) 4時間以上

Q14.1 か月あたりの平均試合日数(対外試合のみ)を回答してください(数字のみ)

※単位団内での紅白戦は含めません

_____日(記述)

Q15.あなたが単位団活動で目指していることは何ですか(最も当てはまるものを1つ選択)

※保護者の方は、単位団の活動に期待していることをお答えください

- (1) 競技会や大会で勝つこと
- (2) 競技成績よりも競技や種目そのものを楽しむこと
- (3) 競技や種目にあまりこだわらずにさまざまな運動や活動を楽しむこと
- (4) わからない

Q16.所属する単位団の現在の活動日数について(当てはまるもの1つ選択)

- (1) もっと増やしたい
- (2) 少し増やしたい
- (3) 丁度良い
- (4) 少し減らしたい
- (5) もっと減らしたい

Q17.所属する単位団の現在の活動時間について(当てはまるもの1つ選択)

- (1) もっと増やしたい
- (2) 少し増やしたい
- (3) 丁度良い
- (4) 少し減らしたい
- (5) もっと減らしたい

Q18.あなたの所属している単位団の活動種目を選択してください

※複数種目を活動している場合は、主に活動している種目を選択してください

- (1) 軟式野球・剣道・バレーボール・ホッケー・サッカー【全国競技別交流大会を実施している競技】
→Q19へ遷移
- (2) (1)に記載の5競技以外の競技【全国競技別交流大会を実施していない競技】
→Q28へ遷移

■ 全国スポーツ少年団競技別交流大会に関する設問

Q19.あなたは全国スポーツ少年団競技別交流大会(以下、「全国競技別交流大会」という。)を知っていますか

(当てはまるもの1つ選択)

- (1) はい→Q20へ遷移
- (2) いいえ→Q28へ遷移

Q20.全国競技別交流大会は次のような趣旨で行われています。(当てはまるもの1つ選択)

「団員にスポーツの喜びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を与え、各競技を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的とする」

あなたは、このような趣旨で行われていることを知っていますか

- (1) はい
- (2) いいえ

Q21.あなたは現在所属する単位団で全国競技別交流大会に参加したことがありますか

※出場権を獲得できる予選会への出場は含まれません(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 参加(帯同)したことがある
- (2) 参加(帯同)したことはない

Q22.あなたは現在所属する単位団の子どもたちを全国競技別交流大会に参加させたいと思いますか

(当てはまるもの1つ選択)

- (1) はい→Q23へ遷移
- (2) いいえ→Q24へ遷移

Q23.「はい」と回答した理由として当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)

- (1) 優勝させたいから
- (2) 良い競技成績を残したいから
- (3) 都道府県代表の単位団と試合ができるから
- (4) 他の団員・指導者・役員・スタッフと交流することができるから
- (5) 地方公共団体等から単位団に対して補助金等が受けられるから
- (6) 試合以外のプログラムが充実しているから(例:交流試合・野球教室等)
- (7) 全国競技別交流大会の趣旨に賛同しているから
- (8) 進学や競技経歴に影響するから
- (9) 所属単位団の競技レベルが高いため
- (10) 練習の成果を発揮する場が必要だから
- (11) 目標・モチベーションにつながるから
- (12) その他()

→Q25へ遷移

Q24.「いいえ」と回答した理由として当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)

- (1)大会で勝つことよりも競技そのものを楽しませたいから
- (2)活動時間や日数が増えることで、休息日が減り怪我のリスクが高くなるから
- (3)指導者の指導が勝つことを目指した指導に極端に偏り、不適切な指導につながるから
- (4)ブロックや都道府県規模の大会で十分であるから
- (5)参加のための経費負担が増えるから
- (6)団員の精神面・身体面への負担が増えるから
- (7)単位団が目指す目標と大会の趣旨が異なるから
- (8)スポーツ少年団活動以外の活動(例: 学業・習い事・社会貢献活動など)にも取り組ませたいから
- (9)その他()

Q25.今後も全国競技別交流大会を継続的に開催してほしいですか(当てはまるもの1つ選択)

- (1)はい→Q26 へ遷移
- (2)いいえ→Q27 へ遷移

Q26.「はい」と回答した方は、今後、よりよい全国競技別交流大会とするために、ご意見・ご感想・ご要望等をお聞かせください(自由記述)

→Q28 へ遷移

Q27.今後、小学生を対象としたどのような大会やイベントがあるといいと思いますか(自由記述)

■ 全国規模の大会に関する設問

※本調査での「全国規模の大会」とは、全国から参加者が集まって試合をする大会(1位を決める大会や競技レベルを問わず交流を目的とした大会等)を意味します

Q28.小学生年代にとって、全国規模の大会は必要であると思いますか(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 必要である→Q29 へ遷移
- (2) 必要ではない→Q30 へ遷移
- (3) どちらともいえない→Q32 へ遷移

Q29.必要であると回答した理由として当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)

- (1) 日頃の活動の成果を発揮することができる場として必要であるから
- (2) 小学生年代から夢や目標となる大会として必要であるから
- (3) 全国から参加する選手や指導者等との交流の場として必要であるから
- (4) 全国1位を決める大会が必要であるから
- (5) 全国規模の大会に出場することでよい経験が得られるから
- (6) 小学生年代でも全国規模の大会があることで活躍できる子がいるから
- (7) 子どもの進学や競技経歴のために全国大会の存在が必要であるから
- (8) スポーツには勝ち、負けが存在し、勝つことが最も重要であるから
- (9) 全国規模の大会に出場することが、単位団にとってさまざまなメリット(※)につながるから
※さまざまなメリット: 所属人数の増加・単位団の知名度向上・補助金等が受けられる等
- (10) 全国規模の大会があることで、単位団が大会主催団体(例:日本スポーツ少年団や競技団体)に登録しよう
と思うから
- (11) その他()
→Q32へ遷移

Q30.必要ではないと回答した理由として当てはまるもの全てを選択してください(複数回答可)

- (1) 発育発達の個人差が大きい小学生年代では全国1位を決める大会は必要ないから
- (2) 大会で勝つことよりも競技そのものを楽しませたいから
- (3) 活動時間や日数が増えることで、休息日が減り怪我のリスクが高くなるから
- (4) 指導者の指導が勝つことを目指した指導に極端に偏り、不適切な指導につながるから
- (5) ブロックや都道府県規模の大会で十分であるから
- (6) 参加のための経費負担が増えるから
- (7) 団員の精神面・身体面への負担が増えるから
- (8) 単位団が目指す目標と大会の趣旨が異なるから
- (9) スポーツ以外の活動(例:学業・習い事・社会貢献活動など)にも取り組ませたいから
- (10) その他()

Q31.小学生年代に必要な大会規模はどこまでだと思いますか(当てはまるもの1つ選択)

- (1) 大会は必要ない
- (2) 市区町村規模の大会まで
- (3) 地区・支部規模の大会まで
- (4) 都道府県規模の大会まで
- (5) ブロック(東北ブロック、関東ブロックなど)規模の大会まで
- (6) わからない
- (7) その他()

Q32.全国規模の大会に限らず小学生年代の全ての大会の在り方として、あなたの考えに当てはまるものを全てを選択してください(複数回答可)

- (1) トーナメント方式ではなく、一人でも多くの選手が出場機会を得ることができる方式にした方がよい
- (2) 日頃試合をする機会がない他の都道府県のチーム・単位団と試合、交流ができる場がある方式にした方がよい
- (3) 1位(順位)を決める大会ではなく、交流を中心とした大会にした方がよい
- (4) 参加する子どもが平等に試合に出場できるルールを整備し、多くの子どもが楽しめる大会にした方がよい
- (5) 子どもの精神面・身体面での負担を軽減できるルールを大会に導入、採用した方がよい
- (6) 大会では試合だけでなく、プロの選手やアスリートなどとの交流や指導等を経験できる機会を設けた方がよい
- (7) 大会ではスポーツだけでなく、様々な経験ができる機会を設けた方がよい
- (8) その他()

Q33.あなたは、小学生年代のスポーツにおいて勝利至上主義を助長しないために必要なことは何だと思えますか(自由記述)

※ 勝利至上主義とは:「勝利至上主義」は勝つことのみを至上(この上ないもの)として位置づける考え方であり、勝つためには子どもの発育発達を考慮しない過度な練習を課すことや暴力・暴言等の不適切な指導が容認されるといった様々な弊害をもたらすものです